かんたん!! ガイド

⇒はじめにお読みください。
巻末ページをご覧ください。

SHARP

取扱説明書

液晶カラーテレビ

形　名

LC-52W9

LC-46W9

AQUOS

テレビ台などは別売りです。

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ご使用前に「安全上のご注意」(**3**ページ)を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、保証書とともにいつでも見ることができるところに必ず保存してください。
- 製造番号は品質管理上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と、保証書に記載されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。
- 基本部のセットイラストは、LC-46W9で記載しています。

もくじ

- 本書に掲載している画面表示やイラストは説明用のものであり、実際の表示とは多少異なります。
- 本取扱説明書では、特に機種名を明示している場合を除いて LC-46W9 を例にとって説明しています。LC-52W9 は外形寸法などは異なりますが使いかたは同じです。
- 本機を廃棄または譲渡する場合には、個人情報の消去（初期化）をお願いします。（⇒ **28** ページ）

もくじ／ご注意／各部のなまえ

ふだんの使いかた

メニュー操作

USBメモリー

USBハードディスク

インターネット／ホームネットワーク

ファミリンクで使う／レコーダーやパソコンをつなぐ

個別設定／放送の種類について

故障かな？／エラーメッセージ

お役立ち情報（仕様や索引）

English Guide

かんたん!!ガイド（巻末）

付録

次の内容は、AQUOSサポートページに掲載しています。

パソコンで本機を操作する
ホームネットワークで写真を印刷する
ホームメニュー項目の一覧
寸法図
壁に掛けて設置する場合は

AQUOS サポートページ
http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html

安全上のご注意

本機をお使いになる前に必ず読み、正しく安全にお使いください。

- この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、つぎのように区分しています。
- 内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

警告 人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

注意 人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味

気をつける必要があることを表しています。

してはいけないことを表しています。

しなければならないことを表しています。

⚠警告

異物を入れない

禁止

- 通風孔（裏ぶたのすき間）などからもの（可燃性・導電性のものを含む）を入れると、火災・感電の原因となります。特にお子様にはご注意ください。

電源プラグの刃や刃の付近に、ホコリや金属物が付着しているときは、プラグを抜いて乾いた布で取り除く

ほこりを取る

- そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

交流 100 ボルト以外の電圧で使用しない

100 ボルト以外禁止

- 火災・感電の原因となります。

電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、無理に曲げたり、加熱したりしない

禁止

- 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線）交換をご依頼ください。そのまま使用すると、コードが破損して、火災・感電の原因となります。

本機の裏ぶたを外したり、改造したりしない

分解禁止

- 内部には電圧の高い部分があるため、さわると感電の原因となります。内部の点検、修理は販売店にご依頼ください。

不安定な場所に置かない

禁止

- 落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。

⚠警告

本機の上に花びん等、水の入った容器を置かない

水ぬれ禁止

- 水がこぼれるなどして中に入ると、火災・感電の原因となります。

台所や屋外など、テレビに水が入るような使いかたをしたり、ぬらしたりしない

水ぬれ禁止

- 火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

電源コードに重いものを載せない

禁止

- 火災・感電の原因となります。

本機を風呂やシャワー室のような湿気の多いところで使用しない

風呂、シャワー室での使用禁止

- 火災・感電の原因となります。

落としたり、キャビネットを破損したときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

- そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店にご連絡ください。

次のページに続く

⚠警告

煙やにおい、音などの異常が発生したら、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

- 異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。修理を販売店に依頼してください。
- お客様自身による修理は絶対におやめください。

内部に水や異物、または虫などが入ったときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

- そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店にご連絡ください。

雷が鳴り出したら、アンテナ線やプラグに触れない

接触禁止

- 感電の原因となります。

使用中に本機を布や布団などで覆ったり包んだりしない

禁止

- 熱がこもって、火災の原因になります。

異常に温度が高くなるところには置かない

禁止

- 特に真夏の車内や車のトランクの中は、想像以上に高温になります。本機を絶対に放置しないでください。火災の原因になることがあります。
- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

本機を長時間使用する場合、特に高温環境では熱くなることがあるので注意する

指示

- 長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどの原因となることがあります。特に肌の弱い方はご注意ください。

⚠注意

免責事項

お客様もしくは第三者がこの製品の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

アンテナ工事は、技術経験が必要ですので販売店にご相談ください

離して配置

- 送配電線の近くに設置してしまうと、アンテナが倒れた際に感電の原因となることがあります。
- BS・110度CSデジタル放送受信アンテナは強風の影響を受けやすいので堅固に取り付けてください。

風通しの悪いところに入れない・密閉した箱に入れない・じゅうたんや布団の上に置かない・布などをかけない

禁止

- 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

重いものを置いたり、上に乗ったりしない

禁止

- 倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。特にお子様やペットにはご注意ください。

液晶画面に衝撃を与えない（物を当てたり、先の尖ったもので突いたりしない）

禁止

- 液晶画面のパネルが割れることがあります。

通風孔に付着したホコリやゴミをこまめに取り除く 内部の掃除は販売店に依頼する

注意

- 内部や通風孔にホコリをためたまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。内部の掃除費用については、販売店にご相談ください。

お手入れのときや長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

- 感電や火災の原因となることがあります。

移動させるときは、接続されている線などをすべて外す

接続線をはずす

- 接続線を外さないで移動させると、電源コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

ぬれた手でコンセントに触れたり、電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止

- 感電の原因となります。

⚠注意

電源プラグはゆるみのあるコンセントに接続しない

禁止

- 発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店に交換の依頼をしてください。

電源プラグは確実に差し込む

確実に差し込む

- 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ホコリが付着して火災・感電の原因となることがあります。

また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

禁止

- 電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

タコ足配線をしない

禁止

- 火災・感電の原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近づけない

禁止

- 電源コードの被覆が溶けて火災・感電の原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たる場所、または調理器具や加湿器の近く、硫化ガス（H_2S、S_2O）が大気中に含まれる温泉地などには設置しない

禁止

- 火災・感電の原因となることがあります。
- 大気中に含まれる硫化ガス（H_2S、S_2O）に長時間さらされると、硫化により金属が腐食し、故障の原因となることがあります。

健康のために、次のことをお守りください

- 連続して使用する場合は、1 時間ごとに 10 分～ 15 分の休憩を取り、目を休ませてください。
- 新聞が楽に読める程度の明るさの場所で使用してください。
- 日光が画面に直接当たる所では使用しないでください。

- この製品を使用しているときに身体に疲労感、痛みなどを感じたときは、すぐに使用を中止してください。使用を中止しても疲労感、痛みなどが続く場合は、医師の診察を受けてください。
- ごくまれに、強い光の刺激を受けたり点滅を繰り返す画面を見ている際に、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす方がおられます。このような経験のある方は、本製品を使用される前に必ず医師と相談してください。また本製品を使用しているときにこのような症状が起きたときは、すぐに使用を中止して医師の診察を受けてください。

⚠注意

アルカリ電池についての安全上のご注意

- 液もれ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

電池は幼児の手の届く所に置かない

禁止

- 電池は飲み込むと、窒息の原因となったり、胃などに止まったりして大変危険です。飲み込んだおそれがあるときは、ただちに医師と相談してください。

電池のアルカリ液がもれたときは素手でさわらない

禁止

- 電池のアルカリ液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。

- 皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症など傷害の症状があるときは、医師と相談してください。

電池は火や水の中に投入したり、加熱・分解・改造・ショートしない。乾電池は充電しない

禁止

- 電池の破裂・アルカリ液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- 電池の外装ラベルをはがしたり、傷つけないでください。発熱事故の原因となることがあります。

電池はプラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れる

表示どおりに入れる

- 間違えると電池の破裂・アルカリ液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

指定以外の電池を使わない。新しい電池と古い電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

禁止

- 電池の破裂・アルカリ液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池を使い切ったときや、長時間使わないときは、電池を取り出す

指示

- 電池を入れたままにしておくと、過放電によりアルカリ液がもれ、故障・火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

保存のしかた

- ⊕、⊖の方向をそろえて、低温で乾燥した涼しい場所及び湿気の少ない風通しのよい場所に保存してください。

廃棄のしかた

- ⊕と⊖をセロハンテープで絶縁して廃棄します。各自治体によって「ゴミの捨てかた」が違います。地域の条例に従ってください。

次のページに続く

使用上のご注意

守っていただきたいこと

キャビネットのお手入れのしかた

- 汚れは柔らかい布（綿、ネル等）で軽く拭きとってください。ベンジン、シンナーなどで拭いたり、化学雑巾（シートタイプのウエット・ドライのものも含め）を使うと、本体キャビネットの成分が変質したり、塗料がはげたり、ひび割れなどの原因となる場合があります。
- 硬い布で拭いたり、強くこすったりすると、キャビネットの表面に傷がつきます。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした柔らかい布（綿、ネル等）をよく絞って拭きとり、柔らかい乾いた布で仕上げてください。
- 殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。プラスチックの中に含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

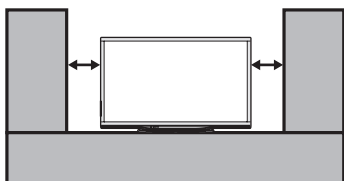
ステッカーやテープなどを貼らないでください

- キャビネットの変色や傷の原因となることがあります。

損害について

- お客さま、または第三者使用によるこの製品の誤った使用、使用中に生じた故障、その他の不具合、この製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

設置時に関して

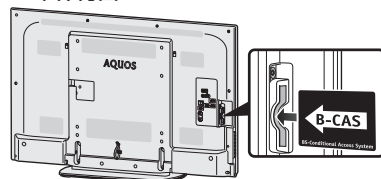
- 本体は電源コンセントの近くに設置し、電源プラグへ容易に手が届くようにしてください。
- 本体の電源ボタンで電源を切っても、電源コードを接続している場合は微少な電力が消費されており、感電や火災の原因となることがあります。
- 本体の左右には、それぞれ 10cm 以上のスペースを空けて設置してください。

液晶ディスプレイパネルのお手入れのしかた

AQUOS クリーニングクロス　推奨品
　24 × 24cm：CA300WH1※
　40 × 30cm：CA300WH2※
　※ 販売店またはシャープホームページ内のシャープいい暮らしストア（ネット販売）でお求めください。

- お手入れの際は、必ず「電源ボタン設定」（⇒ **28** ページ）を「モード 2」にしてから、本体の電源ボタンで電源を「切」にし、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- ディスプレイパネルの表面は、柔らかい布（綿、ネル等）で軽く乾拭きしてください。ディスプレイパネルの保護のため、ホコリのついた布や洗剤、化学雑巾（シートタイプのウエット・ドライのものも含め）などを使わないでください。ディスプレイパネルの表面がはく離することがあります。
- 硬い布で拭いたり、強くこすったりすると、パネルの表面に傷がつきます。
- 汚れがひどい場合は、柔らかい布（綿、ネル等）を軽く水で湿らせて、そっと拭いてください。（強くこすったりすると、ディスプレイパネルの表面に傷が付きます。）
- ディスプレイパネルの表面にホコリがついた場合は、市販の除塵用ブラシ（静電気除去ブラシ）をお使いください。

B-CAS カードは必要なときだけ抜き差しする

- 必要以外に抜き差しすると故障の原因となることがあります。
- B-CAS カードの中には IC チップが内蔵されています。折り曲げたり、大きな衝撃を加えたり、端子部に触れたりしないでください。

▼本体背面

- 本機に差し込むときは「逆差し込み」や「裏差し込み」にならないよう、上図のとおりに挿入してください。

守っていただきたいこと

長期間ご使用にならないとき

・長期間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

電源プラグを抜く

・長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

静止画を長時間表示しないでください

・残像の原因となることがあります。

使用が制限されている場所

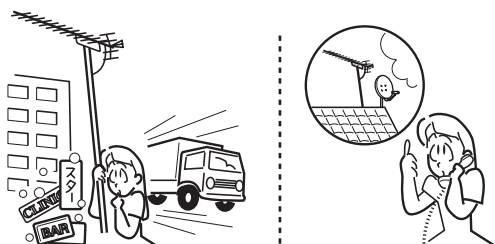
・航空機の中など使用が制限または禁止されている場所で使用しないでください。事故の原因となるおそれがあります。

国外では使用できません

・この製品が使用できるのは日本国内だけです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。(This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.)

電磁波妨害に注意してください

・本機の近くで携帯電話、ラジオ受信機、トランシーバー、防災無線機などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。

アンテナについて

・妨害電波の影響を避けるため、交通のひんぱんな自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所に立ててください。万一アンテナが倒れた場合の感電事故などを防ぐためにも有効です。
・アンテナ線を不必要に長くしたり、束ねたりしないでください。映像が不安定になる原因となりますのでご注意ください。BS・110度CSデジタル放送用のアンテナ線には、必ずBS・110度CSデジタル用アンテナケーブル（市販品）を使用してください。
・アンテナは風雨にさらされるため、定期的に点検、交換することを心がけてください。美しい映像でご覧になれます。特にばい煙の多いところや潮風にさらされるところでは、アンテナが傷みやすくなります。映りが悪くなったときは、販売店にご相談ください。

使用温度について

注意

・周囲温度は0℃～40℃の範囲内でご使用ください。正しい使用温度を守らないと、故障の原因となります。

低温になる部屋（場所）でのご使用の場合

・ご使用になる部屋（場所）の温度が低い場合は、画像が尾を引いて見えたり、少し遅れたように見えることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。
・低温になる場所には放置しないでください。キャビネットの変形や液晶画面の故障の原因となります。（使用温度：0℃～40℃）

結露（つゆつき）について

・本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。結露が起きたときは、結露がなくなるまで電源を入れずにお待ちください。そのままご使用になると故障の原因となります。

注意

・本機を冷え切った状態のまま室内に持ち運んだり、急に室温を上げたりすると、動作部に露が生じ（結露）、本機の性能を十分に発揮できなくなるばかりでなく、故障の原因となることがあります。このような場合は、よく乾燥するまで放置するか、徐々に室温を上げてからご使用ください。

急激な温度差がある部屋（場所）でのご使用は避けてください

・急激な温度差がある部屋（場所）でのご使用は、画面の表示品位が低下する場合があります。

雨天・降雪中でのご使用の場合

・雨天・降雪中でのご使用の場合は、本機をぬらさないようにご注意ください。

直射日光・熱気は避けてください

・窓を閉めきった自動車の中など異常に温度が高くなる場所に放置すると、キャビネットが変形・変色したり、故障の原因となることがあります。
・本体や電池などの部品を、直射日光が当たる場所にさらしたり、火や熱器具などの近くに置かないでください。

本体各部やリモコンボタンのなまえ

本体各部

- LC-46W9 を例に説明していますが、LC-52W9 も端子の配置は同じです。

画面左下に「リモコン番号の設定が異なります。」と表示されたときは、本体のボタンで、本体側のリモコン番号を切り換えることもできます。

1）本体の「入力／放送切換（決定）」ボタンを5秒以上上押す（本体側のリモコン番号メニューが表示されます。）

2）本体の「音量（＋ / −）」ボタンで「1」または「2」を選ぶ

3）本体の「入力／放送切換（決定）」ボタンを押して決定する

前面

本体側面

電源ボタン
⇒**10**ページ

ホーム（メニュー）ボタン
⇒**25**ページ

入力／放送切換（決定）ボタン
⇒**22**ページ
- ホームメニューを操作するときは、決定ボタンとして使います。

選局（∧順／∨逆）ボタン
- ホームメニューを操作するときは、上下カーソルボタンとして使います。

音量（＋／−）ボタン
- ホームメニューを操作するときは、左右カーソルボタンとして使います。

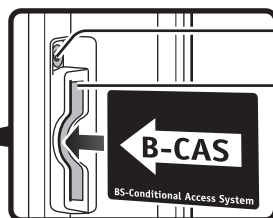
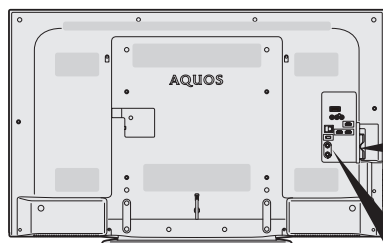
リモコン受光部
⇒**「かんたん!!ガイド」（巻末）1**ページ
- リモコンをここに向けて操作します。

明るさセンサー受光部

POWER（電源）ランプ
- 緑色点灯：動作状態
- 赤色点灯：待機状態
- 消灯：電源オフ状態

形名表示

TIMER/REC（タイマー／録画）ランプ
⇒**20**・**53**・**101～102**ページ
- 市販品のUSB-HDDの録画中に、赤色で点灯します。
- 視聴予約、おはようタイマー、USB-HDD録画予約、ファミリンク録画予約設定時、橙色で点灯します。

背面

ヘッドホン端子

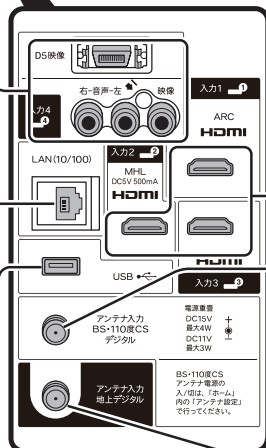
B-CAS カード挿入口
⇒「**かんたん !! ガイド**」**11** ページ

入力 4(D5・映像・音声)
⇒**106**・**108**・**109** ページ
- 工場出荷時は入力端子としてはたらきます。
- D5 映像端子・映像端子は入力のみの端子です。

LAN 端子（10BASE-T ／ 100BASE-TX）
⇒**68**・**80** ページ
- インターネットやアクトビラ、IPTV、デジタル放送の双方向通信、ホームネットワークで使用します。

（LAN：ローカルエリアネットワークの略称）

外付けハードディスクや USB メモリーをつなぐ

USB 端子
⇒**41**・**46** ページ

HDMI 対応機器をつなぐ

入力 1・入力 2・入力 3(HDMI)
⇒**95**・**96**・**104**・**105**・**106**・**107**・**110** ～ **111** ページ

アンテナをつなぐ

アンテナ入力 BS・110 度 CS デジタル
⇒**「かんたん !! ガイド」(巻末)5** ～ **8** ページ

アンテナをつなぐ

アンテナ入力 地上デジタル
⇒**「かんたん !! ガイド」(巻末)5～8 ページ**

リモコンのボタン

リモコン側のリモコン番号を切り換えるには

画面左下に「リモコン番号の設定が異なります。」と表示されたときは、下記の操作を行ってください。

1)「1」または「2」ボタンを押したまま、
2)「電源」ボタンを 5 秒以上押す

・本体側で設定した番号に合わせてください。
・リモコンの乾電池が消耗したときや、乾電池を交換したときは、リモコン番号が「1」に戻る場合があります。

ボタン名	ページ
番組情報	**15**
終了 ・ホームメニュー、文字入力、インターネットを見る画面の操作などに使います。	
カーソル（上／下／左／右）／決定 ・文字入力、インターネットを見る画面の操作などに使います。	**25**
ツール	**25**
戻る ・ホームメニュー、文字入力、インターネットを見る画面の操作などに使います。	
カラー（青／赤／緑／黄）	
・連動データ放送の操作	**18**
・文字入力の操作	**39**
・インターネットを見る画面の操作などに使います。	
ファミリンクパネル表示／機器選択メニュー表示／録画・再生操作	**52・53・58～60・99～102・104**
録画消去	**63**
2 画面 / 操作切換	**13～14・15**
静止	**15**
3 桁入力	**34**
映像切換	**16**
字幕 ・字幕ボタンは、IPTV（ひかり TV）のテレビサービスにも使います。	**16**
音声切換 ・音声切換ボタンは、IPTV（ひかり TV）のテレビサービスにも使います。	**16**
AV ポジション（画質切換）	**29**
画面表示 ・リモコン番号変更画面を表示	**17**
オフタイマー	**19**
時計	**28**

ボタン名	ページ
電源	**10**
ファミリンク	**64・99・104**
セーブモード	**30**
インフォメーション	**33**
放送切換（地上デジタル／BS デジタル／110 度 CS デジタル）	**10**
チャンネル（数字）	
・チャンネルの選局	**10**
・IPTV（ひかり TV）の選局	**83**
・文字や数字の入力、インターネットを見る画面の操作、本機の設定操作にも使います。	
データ連動	**18・83**
消音	**10**
音量	**10**
選局	**10**
インターネット	**72・79・83・84**
入力切換 ・ゲーム機、パソコン、ホームネットワークなどの入力に切り換える操作にも使います。	**22・88・113**
番組表 ・番組表から行う操作に使います。	**12** **53・101**
ホーム（メニュー）	**25**

フタの開けかた
両側の突起部を持ち、引き上げます。

リモコン側と本体側でリモコン番号が異なっている場合、下記の操作で本体側のリモコン番号を変更することもできます。

1）「画面表示」ボタンを5秒以上押す
2）本体側のリモコン番号変更画面が表示されたら、「する」を選ぶ

する　しない

3)「リモコン番号 1」または「リモコン番号 2」を選ぶ

リモコン番号1　リモコン番号2

リモコン番号とは

2 台の AQUOS を近くに設置している場合、リモコン操作で 2 台とも動作してしまうことがあります。

リモコン誤動作の可能性があるこのような使用環境の場合、リモコン番号の設定で、別々の番号に設定しておくと他の AQUOS の誤動作を防ぐことができます。（リモコン番号は、「1」または「2」に設定します。）

ふだんの使いかた

❶ 電源を入れる（本体側面の電源ボタン）

- 本体側面の電源ボタンを押して「入」にすると、電源ランプが緑色になります。
- リモコンの電源ボタンを押すごとにテレビをつけたり、消すことができます。

❷ 放送（地上デジタル放送／BS デジタル放送／CS デジタル放送）を選ぶ

❸ チャンネルを選ぶ

- 選局ボタンまたはダイレクト選局ボタンを使って、見たいチャンネルを選びます。
- ダイレクト選局ボタンは選局番号に対応しています。
- BS デジタル放送視聴中に BS を押すと、表示された BS 新サービスの選局が数字ボタンで行えます。

❹ 音量を調整する

- 画面下部に音量レベルが表示されます。

❺ 音を一時的に消す

- 消音ボタンを押すと音量が 0 になります。
- もう一度押すと元の音量に戻ります。
- 消音となってから 30 分経過すると自動的に音量 0 になります。この状態から音声を聞くには、音量＋ボタンで音量を調節してください。

❻ BD/DVD プレーヤー・ゲーム機・PC（パソコン）などの画面に切り換える

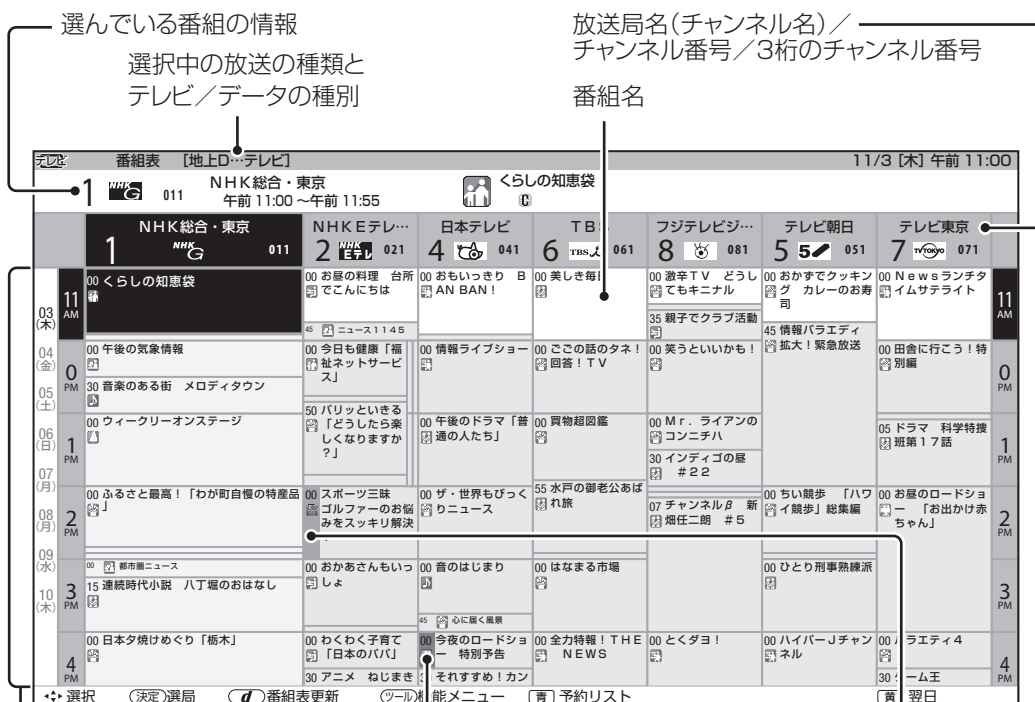
- 選択した入力に切り換わります。(⇒ **22** ページ)
- 上下カーソルボタンでも選べます。

❼ 番組表で番組を探す

- ⇒**次**ページをご覧ください。

番組表の使いかた

- テレビ画面に番組表を表示して、その中から番組を選べます。

番組表の画面例

ジャンルを示すアイコン

番組情報を示すアイコン

アイコン	項目
	視聴予約している番組
	ファミリンク録画予約している番組
	USB-HDD録画予約している番組
	有料放送
	デジタルコピーが禁止されている番組
	デジタルコピーが制限されている番組

表示される情報の期間

- テレビ放送……8 日分
- データ放送……最低 1 日分
- 表示時間………3 時間または 6 時間
  (「文字サイズ設定」により変わります。⇒ **12** ページ)

◇**おしらせ**◇

番組表の表示のしかたについて

- 「文字サイズ設定」⇒ **12** ページ
- 「サブチャンネル設定」⇒ **12** ページ
- 「表示色」⇒ **24** ページ

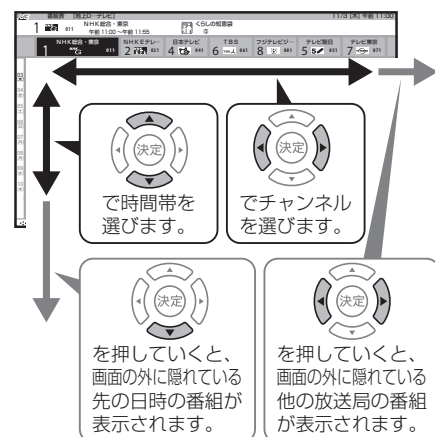
番組表で番組を選ぶ

1 番組表(予約) を押す

番組表を表示する

- 地上 BS CS を押して、放送の種類（番組表の表示内容）を変更できます。
- 「チャイルドロック」(⇒ **31** ページ) をかけているとき、「地デジ限定設定」（⇒ **31** ページ）を「有効」にしているときなど、放送を切り換えることができない場合があります。

2 で選ぶ

見たい番組を選ぶ

- 現在の時間帯より前の番組表は表示できません。
- 番組内容が表示されないチャンネルがあるときは、「番組表の更新について」（⇒**下記**）をご覧ください。

3 決定 を押す

決定する

- 放送中の番組を選んだときは、選んだ番組が選局されます。
- 放送予定の番組を選んだとき USB ハードディスクを接続している場合は、録画予約になります。USB ハードディスクを接続していない場合は、予約選択画面になります。（予約については ⇒ **53**、**101** ～ **102** ページをご覧ください。）

番組表の機能メニューの使いかた

- 番組表の文字を大きくしたり、見たい番組の検索、放送の切り換えなどが、番組表の「機能メニュー」で行えます。
- 機能メニューは、番組表を表示させている状態で ツール ボタンを押します。

番組表の機能メニューからできること

機能	説明
日時移動	• 番組表で表示する日時を素早く選べます。
予約リスト	• 予約した番組の設定や情報を表示します。
ジャンル検索	• ジャンルで番組を検索できます。
番組詳細検索	• 特徴やキーワードで番組を検索できます。
見つかる検索	• 特徴・ジャンル・キーワードを組み合わせた詳しい条件で、番組を検索できます。
放送切換	• 地上デジタル放送、BS デジタル放送、CS デジタル放送に切り換えます。
テレビ／ラジオ／データ	• 番組表の、テレビ放送／ラジオ放送／データ放送を切り換えます。
文字サイズ設定	• 番組表の文字の大きさを変えられます。
サブチャンネル設定	• 番組表にサブチャンネルを表示する／表示しないの設定ができます。
表示順設定	• 番組表のチャンネルの並び順を変えられます。
番組表取得設定	• 番組表をスムーズに表示させるために、番組表を電源待機中に自動取得するよう設定できます。

番組表の更新について

- 番組表は、チャンネルを選び データ連動 d を押すと更新できます。ただし、地上デジタル放送の番組表は、各チャンネルを個別に更新する必要があります。
- 番組表を更新しているときは、一時的に音声が停止します。
- 検索画面を表示したり、番組表の表示を終了したときは、番組表の更新は停止します。
- 番組表は、電源待機中に自動で取得することもできます。「番組表取得設定」（⇒**上記**）
- 外部入力で番組表を表示しているときは、番組表の更新はできません。
- BS／CSデジタル放送録画中は、BS／CSデジタル放送の番組表は更新できません。

視聴中の便利な機能

2 画面で見る

• 本機は 2 つの異なる映像を同時に表示できます。

1 2画面メニューを表示する

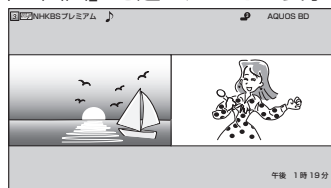
2画面 を押す

2 表示のしかたを選ぶ

で選び 決定 を押す

2画面
- 1画面
- 2画面
- P in P
- サイズ切換
- 左右入換

• ２画面表示になります。
•「サイズ切換」、「左右入換」は、２画面表示のときに選べます。

「２画面」を選んだときの表示例

• 2 画面のとき、「♪」マークのある操作画面は、チャンネルや入力の切り換え、音量調整ができます。

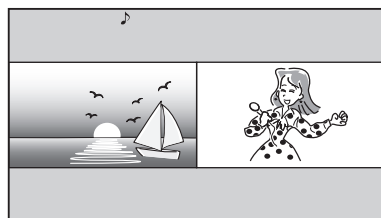
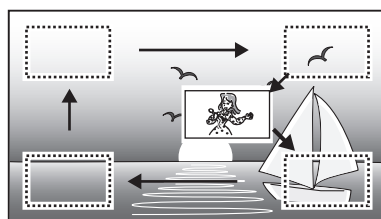
◇**おしらせ**◇

• 2 画面表示しているとき、次の操作はできません。
  • ホームメニューの表示
  • 番組表の表示
  • 画面サイズの切り換え
  • AV ポジションの切り換え
  • 画面の静止
• 2 画面機能を入／切すると、まれに映像が一瞬途切れた状態になることがあります。
• ハイビジョンの映像（1080i、720p、1080p）を 2 画面にしたときは 16：9 表示になります。
• 2 画面表示中に視聴予約が開始されたときは、1 画面に戻ります。

2 画面表示の種類

❶ 1画面

❷ 2画面

❸ PinP

• ❷のときは、「左右入換」を選ぶと左右の画面が入れ換わります。
• ❸ PinP のときは、上下左右のカーソルで子画面の位置を移動できます。
決定ボタンで、上図のように子画面が移動します。
• ❸のときは、「左右入換」を選ぶと大きく表示されている画面と小画面が入れ換わります。

◇**おしらせ**◇

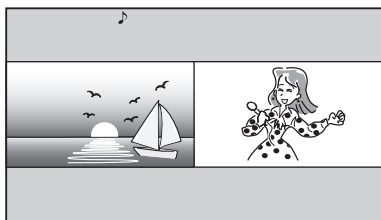
•「左右入換」をした場合、「♪」マークは入れ換わりません。操作画面（⇒ **14** ページ）は入れ換わります。
• 複数の映像／音声のあるデジタル放送を大小 2 画面、PinP 表示しているときに左右の画面を入れかえると、映像／音声はそれぞれ映像 1 ／音声 1 に戻ります。（「♪」マークのついている側の音声が出力されます。）
• PinP のとき、子画面にデジタル放送の字幕放送を選局しても字幕は表示されません。
• 決定ボタンによる子画面の移動は、場合によっては、四隅のみの移動になります。

次のページに続く

画面のサイズを変える

1 2画面またはPinP表示にする

2画面 を押す

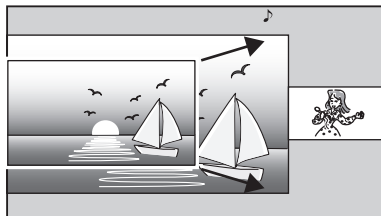
で選び 決定 を押す

2 2画面メニュー中の「サイズ切換」を選択し、決定する

3 画面のサイズを変える

を押す

2 画面にしている場合

- 右カーソルボタンで、左側画面のサイズを大きくできます。戻すときは左カーソルを使います。

を押す

PinP にしている場合

- 左右カーソルボタンで画面のサイズが変化します。

を押す

終了 を押す

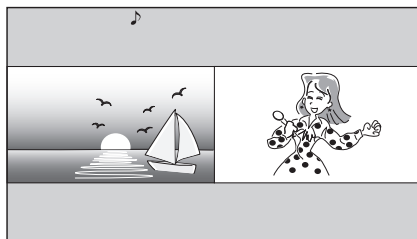
- 操作を終了する場合は、決定ボタンを押します。
- 1 画面に戻すには、終了ボタンを押します。

2 画面のうち操作する画面を選ぶ

1 2画面表示中に操作画面を切り換える

操作切換 を押す

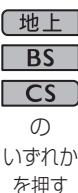
- 操作切換ボタンを押すたびに、「♪」マークが左／右に移動して、操作画面が切り換わります。

2 画面の表示例

2 「♪」マークのある操作画面の音量を調整するには

＋ 音量 － を押す

- 音量ボタンを押して音量を調整します。

選局するには

地上 BS CS のいずれかを押す

- 放送切換ボタンを押して放送を選びます。
- 操作画面の番組は、数字ボタン（チャンネルボタン）または選局（∧順／∨逆）ボタンで選局できます。
- 入力切換ボタンを押すたびに、操作画面の入力が切り換わります。

1画面に戻すには

終了 を押す

- 「♪」マークのある画面が 1 画面表示されます。
- 右画面は、最後に右画面で選局していたチャンネルまたは外部入力が保持されます。

2画面表示ができる組み合わせ

・2 画面機能で表示できる画面は、画面の左右、放送や入力によって異なります。

（地上 D ＝地上デジタル）

		右画面（小画面）			
		地上 D	BS/CS	外部入力	USB-HDD再生
左画面（大画面）	地上D	×	×	○	×
	BS／CS	×	×	○	×
	外部入力	○	○	×	○
	USB-HDD再生	×	×	○	×

・ホームネットワーク、インターネットサービスのうち、アクトビラ ビデオ／アクトビラ ビデオ・フルなど 2 画面表示ができないサービスがあります。

・テレビとインターネットを同時に表示することもできます。（⇒ **72** ページ）

◇**おしらせ**◇

・PinPのときは一部のボタンは操作できません。

・テレビを営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等にて、2画面機能を利用して表示を行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

・2 画面表示しているとき、表示される放送番組／接続機器の解像度により、映像補正の関係で、右側の画面や PinP 子画面の映像がちらつく場合がありますが、故障ではありません。ちらつきが気になる場合は、全画面でご視聴いただくか、左右入換操作（⇒ **13** ～ **14** ページ）により、左側画面でご視聴いただくことをおすすめします。

画面を静止させる

1 視聴中に映像を静止させる

静止 を押す

2 元に戻す

静止 を押す

・視聴中のチャンネルの現在の映像に戻ります。

次の場合は、静止画が解除されます。

・録画予約が実行されたとき

・選局や入力切換の操作をしたとき

・ホーム（メニュー）／ツール／ファミリンクボタンを押したとき

・映像を静止してから 30 分経過したとき

静止画表示中は、次のことができません。

・画面サイズの切り換え（⇒ **150** ページ）

・AV ポジションの切り換え

・番組表、番組情報の表示

・連動データ放送の表示

テレビ画面に大きく時計を表示する

・外部入力、放送、録画済み番組の視聴中にリモコンの時計ボタンを押すと、画面に大きく時計が表示されます。もう一度時計ボタンを押すと、時計表示が終了します。

・時計設定の「時計タイプ」により、デジタル時計とアナログ時計を選択できます。（⇒ **28** ページ）

◇**おしらせ**◇

・2 画面表示中（⇒ **13** ページ）は、テレビ画面に大きく時計を表示することはできません。

番組の詳細を知りたいときは

・デジタル放送の番組視聴中に、番組情報が表示できます。

番組情報の画面例

■番組内容
大好評の「知りたい!あなたの一曲」。今回はなんと3時間の拡大版でお送りします。
全国の視聴者による電話リクエストで1位から20位に輝いた名曲の数々を、歌手の皆さんが曲にちなんだ各地の名所にお邪魔して歌ってしまおうという、ゴージャスにしてユニークな企画です。あの歌を歌うのは誰?あ
北は阿寒湖、南は石垣島まで。歌手の皆さんが歌の心を求めて旅します。素晴らしい景色と温かな人情でいっぱいの「名曲リクエスト20」をどうぞお楽しみに!

他にも情報がある場合に表示されます。

1 番組情報の画面を表示する

番組情報 を押す

・番組情報が表示されます。番組情報の右側に◀▶マークがある場合は、左右カーソルボタンで表示を切り換えられます。

・終了ボタンを押すと、番組情報が消えます。

音声・映像・字幕を切り換える

- 複数の映像（最大４つ）または音声（最大８つ）がある番組をご覧のとき、映像および音声を切り換えて楽しめます。
- 字幕のある番組をご覧のとき、字幕を表示できます。複数の字幕がある番組の場合は、字幕を切り換えて楽しめます。

▼テレビ画面のチャンネルサイン

複数の映像を楽しむ

映像切換 を押す

映像を切り換える

- ボタンを押すたびに映像※が切り換わり、テレビ画面右上のチャンネルサインに映像表示が出ます。

※ 番組によって映像の数は異なります。

複数の音声を切り換える

音声切換 を押す

音声を切り換える

- ボタンを押すたびに音声が切り換わり、テレビ画面右上のチャンネルサインに音声表示が出ます。
- デジタル放送は「モノラル」への切り換えができません。

マルチ音声番組のとき

音声１ → 音声２～８※

※ 番組によって、音声の数は異なります。

二重音声番組のとき

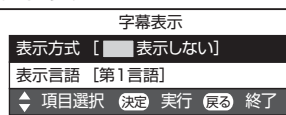
◇**おしらせ**◇

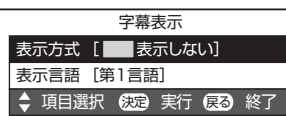
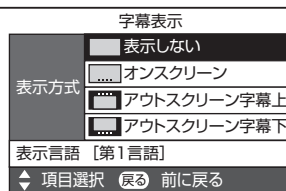
- マルチ音声番組を受信したときは、前回の選択にかかわらず、「音声１」が選択されます。
- 二重音声番組を受信したときは、前回選択されていた音声が選択されます。
- 二重音声やマルチ音声（ステレオ二重音声）のときの言語表記は、放送からの情報による表示であり、必ずしも表記どおりでないことがあります。

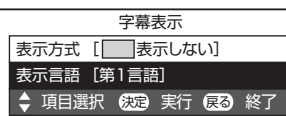
字幕を表示する／複数の字幕を切り換える

1 字幕メニューを表示する

字幕 を押す

- 画面右上に字幕メニューが表示されます。

◆字幕の表示方式を変えたいとき

2 「表示方式」を選び、決定する

3 表示させたい字幕の種類を選び、決定する

◆字幕の表示言語を変えたいとき

2 「表示言語」を選び、決定する

3 表示させたい言語を選び、決定する

- 字幕が１種類しかない場合は、「第２言語」（副）に設定しても「第１言語」（主）の字幕が表示されます。

「表示方式」の設定について

- 「アウトスクリーン字幕上」または「アウトスクリーン字幕下」に設定している場合は、字幕放送でない番組に放送局から字幕情報が送られてくると、自動的に映像が縮小される場合があります。

工場出荷時の設定

表示しない

- 字幕放送でも、字幕を表示しません。

字幕非表示

字幕表示の種類

	字幕放送のとき	字幕放送ではないとき
オンスクリーン ・字幕放送では、映像に重なって字幕が表示されます。	わぁ、楽しそう！	
アウトスクリーン字幕上 ・字幕放送では、自動的に映像が縮小され、映像の上側に字幕が表示されます。 ・放送によっては、字幕が映像と重なることがあります。	わぁ、楽しそう！	
アウトスクリーン字幕下 ・字幕放送では、自動的に映像が縮小され、映像の下側に字幕が表示されます。 ・放送によっては、字幕が映像と重なることがあります。	わぁ、楽しそう！	

チャンネルなどの情報を確認する

- 放送の種類やチャンネルなどの情報はテレビ画面のチャンネルサインで確認できます。

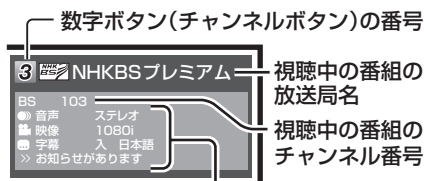
1 チャンネルサインを表示する

画面表示 を押す

▼テレビ画面のチャンネルサイン

数字ボタン（チャンネルボタン）の番号

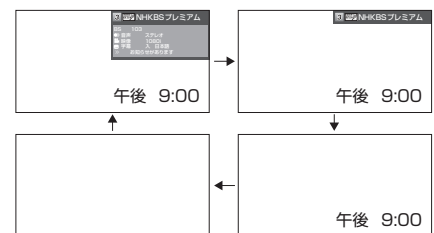
視聴中の番組の放送局名

視聴中の番組のチャンネル番号

その他の情報
他にも情報がある場合に表示されます。
映像の種類と画質について（⇒**149** ページ）

- AQUOS インフォメーション設定を「する」に設定している場合は、同時に画面右下に AQUOS インフォメーションが表示されます。（⇒ **33** ページ）
- 本機を操作しない状態が約 5 秒間続くと、元の表示に戻ります。

2 チャンネルサインの表示を切り換える

約 3 秒以内に 画面表示 を押す

- 手順 **1** から約 3 秒以内に画面表示ボタンを押すと、チャンネルサインの表示が次のように切り換わります。

- 上記は、「時刻表示」（⇒ **28** ページ）を「する」にしている場合です。

データ放送で天気予報や株価などの情報を見る

- データ放送には、テレビ放送に連動した「連動データ放送」と、データ放送専門の「独立データ放送」があります。
- データ放送は放送局側で制作したメニュー画面により操作が異なります。データ放送画面を表示したら、画面の表示に従って操作してください。例えば、カーソルボタン（上・下・左・右）で画面の項目を選んで決定したり、カラーボタン（青・赤・緑・黄）で対応する項目を選んだりして操作します。

連動データ放送を表示する

データ連動 d を押す

連動データ放送を含む番組の視聴中に、連動データ放送の画面を表示する

（例）

- テレビ放送に戻すときは、もう一度データ連動ボタンを押します。

◇おしらせ◇
- 電源を入れた直後やチャンネルを切り換えた直後は、データ連動ボタンを押しても連動データ放送画面が表示されないことがあります。この場合は、約 20 秒待ってからもう一度データ連動ボタンを押してください。（表示されるまでの時間は、放送内容によって異なります。）
- BS ラジオ放送も、⇒**右記**の手順で切り換えられます。

独立データ放送の番組から選ぶ

1 BSデジタル放送を選ぶ

- 「チャイルドロック」(⇒ **31** ページ）をかけているとき、「地デジ限定設定」（⇒ **31** ページ）を「有効」にしているときなど、放送を切り換えることができない場合があります。

2 ホームメニューを表示して、「設定」－「(機能切換)」－「視聴操作」を選び、決定する

3 「テレビ／ラジオ／データ／ポータル」を選び、決定する

- 放送の種類をデータ放送に切り換えます。

4 天気予報や株価のチャンネルを選ぶ

選局 を押す

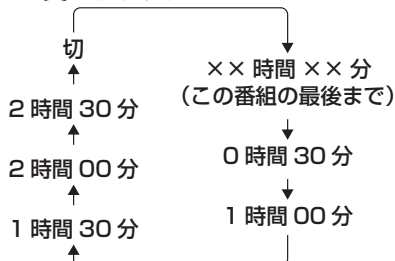
タイマー機能を使う

指定した時間後に電源を切る（オフタイマー）

• テレビを見ながらお休みになるときなどに便利です。

オフタイマー
を押す

繰り返し押してオフタイマーを設定する

• 押すごとに次のように画面の表示が変わります。

• オフタイマーの残り時間が 5 分になると、残り時間が画面左下に表示されます。
• オフタイマーを解除するには、「切」を選びます。

オフタイマーの残り時間を確認するには

オフタイマー
を押す

オフタイマーの残り時間を確認する

• オフタイマーがすでに設定されている場合は、オフタイマーの残り時間が表示されます。
• しばらくすると表示が消えます。
• 残り時間が表示されている間は、オフタイマーボタンを押さないでください。残り時間が変わってしまいます。

時間を指定して電源を切る（おやすみタイマー）

• 指定した時刻に、自動的に電源が切れるように設定できます。

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「(機能切換)」－「おやすみタイマー」を選び、決定する

2 「おやすみタイマー」で「設定」を選ぶ

で選ぶ

設定に従い自動で電源を切ります。

おやすみタイマー	解除	設定
時刻（時）	午前00	
時刻（分）	00	
モード	サンセット	
表示設定	アイコン+文字	

• 「解除」を選ぶと、おやすみタイマー機能が働かなくなります。

3 それぞれの項目（⇒次ページ）を設定する

①上下カーソルボタンで項目を選ぶ

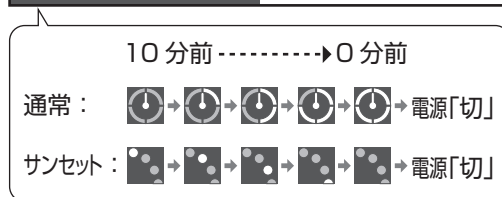
②左右カーソルボタンで項目の値を選ぶ

• 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

▼ おやすみタイマー「通常」の画面例
（表示設定：「アイコン＋文字」）

10 分前 ‥‥‥→ 0 分前

通常：→→→→→電源「切」

サンセット：→→→→→電源「切」

• 表示設定が「アイコン+文字」の場合は、1 分ごとに大きなアイコンが表示され、その後小さなアイコンが表示されます。
• 表示設定が「文字のみ」の場合は、1 分ごとに残り時間が表示されます。

次のページに続く

おやすみタイマーの設定項目

項目	内容	
おやすみタイマー	• タイマーの設定／解除を選択します。	
時刻（時）	• タイマーで電源を切りたい時刻（時）を設定します。	
時刻（分）	• タイマーで電源を切りたい時刻（分）を設定します。	
モード	**通常**	• 毎日同じ設定時刻に電源を切ります。
	サンセット	• 設定時刻の 10 分前から徐々に画面を暗くし、音量を下げて※、設定時刻に電源を切ります。
表示設定	**アイコン＋文字**	• 画面にアイコンと残り時間を表示します。
	文字のみ	• 画面に残り時間を表示します。

※ 何らかの操作をすると、画面の明るさ・音量は元に戻りますが、設定時刻に電源は切れます。

目覚ましとして使うなど タイマーで電源を入れる（おはようタイマー）

- 指定した時刻に、自動的に電源が入るように設定できます。（ヘッドホンをつないでいても、本体のスピーカーから音声が出ます。）
- おはようタイマーを設定すると、本体の TIMER/REC（タイマー／録画）ランプ（⇒ **8** ページ）が橙色に点灯します。
- 異なる設定のタイマーを 7 種類までセットできます。

1 **ホームメニューを表示して、「設定」－「（機能切換）」－「おはようタイマー」を選び、決定する**

2 **設定したいタイマーを選び、決定する**

設定した時間に電源を入れます。

	曜日	時刻	入力	CH	音量	アラーム音	モー
⏰	毎週日曜	午前 0時00分	地上D	1	30	鳩時計	サンラ
	毎週日曜	午前 0時00分	地上D	1	30	電子音	サンラ
	毎週日曜	午前 0時00分	地上D	1	30	ベル	サンラ
	毎週日曜	午前 0時00分	地上D	1	30	なし	サンラ
	毎週日曜	午前 0時00分	地上D	1	30	なし	サンラ
	毎週日曜	午前 0時00分	地上D	1	30	なし	サンラ
	毎週日曜	午前 0時00分	地上D	1	30	なし	サンラ

3 **「おはようタイマー」で「設定」を選ぶ**

設定した時間に電源を入れます。

[タイマー 1]

おはようタイマー	解除	⏰ 設定
曜日	毎週日曜	
時刻(時)	午前00	
時刻(分)	00	
入力	地上D	
CH	1 NHK 総合･東京	
音量	20	
アラーム音	なし	
モード	サンライズ	

- 「解除」を選ぶと、そのタイマー機能が働かなくなります。

4 **それぞれの項目（⇒21ページ）を設定する**

（⇒21ページ）

①上下カーソルボタンで項目を選ぶ

で選ぶ

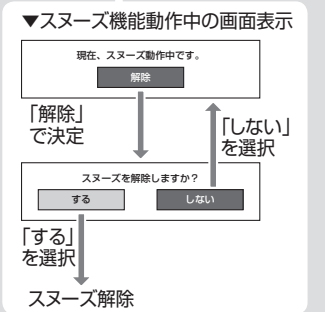
②左右カーソルボタンで項目の値を選ぶ

で選ぶ

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。
- 設定したタイマーには、手順 **2** の画面で時計マークが表示されます。

▼ おはようタイマー「サンライズ（アイコン）」の画面例

- モードが「サンライズ（アイコン）」の場合は、1 分ごとに大きなアイコンとメッセージが表示され、その後小さなアイコンが表示されます。モードが「サンライズ」の場合は、1 分ごとにメッセージが表示されます。
- モードを「通常」または「スヌーズ」に設定した場合は、メッセージのみが表示されます。

タイマーを設定／解除する

• 前頁の手順 **2** の画面で、タイマーの設定／解除を切り換えられます。

1 **「タイマー1」〜「タイマー7」のいずれかを選ぶ**

2 **黄ボタンを押す**

• 押すたびに、選んだタイマーが
「設定」（時計マーク）⇔「解除」（時計マークなし）と切り換わります。
• 設定したタイマーには、左記の手順 **2** の画面で時計マークが表示されます。

おはようタイマーの設定項目

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="2">内容</th></tr>
<tr><td>おはよう
タイマー</td><td colspan="2">• タイマーの設定／解除を選択します。「1 回だけ」に設定されているタイマーが動作した後は、自動的に「解除」になります。</td></tr>
<tr><td>曜日</td><td colspan="2">• タイマーで電源を入れたい曜日を設定します。「毎日」「月－土」「月－金」「毎週○曜」（○は日から土のいずれか）「1 回だけ」の中から選べます。</td></tr>
<tr><td>時刻（時）</td><td colspan="2">• タイマーで電源を入れたい時刻（時）を設定します。</td></tr>
<tr><td>時刻（分）</td><td colspan="2">• タイマーで電源を入れたい時刻（分）を設定します。</td></tr>
<tr><td>入力</td><td colspan="2">• タイマーで電源が入ったとき表示される画面を、放送の種類（地上D、ＢＳ、ＣＳ）、入力または USB メディア、時計から選びます。
•「USB メディア」を選んだときは、USB メモリーの音楽が再生されます。
USB メモリーのいちばん上の階層に「GM」という名称のフォルダを一つだけ作成し、その中に MP3 ファイルを入れておくと、おはようタイマーとして再生できます。
•「時計」を選んだ場合、アラーム音「なし」は選択できません。</td></tr>
<tr><td>CH</td><td colspan="2">• タイマーで電源が入ったとき画面に表示される、数字ボタン（チャンネルボタン）に割り振られた番号を選びます。USB ハードディスクで録画しているときは、録画しているチャンネルでタイマーが起動します。</td></tr>
<tr><td>音量</td><td colspan="2">• タイマーで電源が入ったときの音量を選びます。0 ～ 100 の範囲で選べます。</td></tr>
<tr><td>アラーム音</td><td colspan="2">• タイマーで電源が入ったときに鳴る音声（なし､ベル､電子音､鳩時計､小鳥）を選びます。
• アラーム音の設定中に青ボタンを押すと、設定した音を試聴できます。
•「ベル」「電子音」「鳩時計」「小鳥」は 5 分間鳴り続けます。途中で何か操作をすると、入力の音声に切り換わります。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">モード

▼スヌーズ機能動作中の画面表示
現在、スヌーズ動作中です。
解除
「解除」で決定
「しない」を選択
スヌーズを解除しますか？
する　しない
「する」を選択
スヌーズ解除</td><td>通常</td><td>• 設定した時刻に、設定した音量で電源を入れます。</td></tr>
<tr><td>サンライズ</td><td rowspan="2">• 設定した時刻に電源が入り徐々に音量が大きくなり、同時に画面も徐々に明るくなり、10 分後に設定した音量で画面は最も明るくなります。
•「サンライズ（アイコン)」を選ぶと、画面にアイコンが表示されます。</td></tr>
<tr><td>サンライズ
（アイコン）</td></tr>
<tr><td>スヌーズ</td><td>• いったん電源を切っても、5 分後に再度電源が入るようにします。
• 音量を下げた場合でも、5 分後に元の音量に戻します。
• チャンネルや入力を切り換えても､5 分後に元のチャンネルに戻します。
•「解除」―「する」を選択すると、スヌーズ動作が解除されます。
•「解除」―「する」を選択しないかぎり、7 回（35 分間）スヌーズ動作を繰り返します。
• スヌーズ起動中、他のタイマーは起動しません。
• 決定ボタンを押しただけでは、スヌーズは解除しません。「する」を選択し決定ボタンを押してください。
•「電源ボタン設定」（⇒ 28 ページ）を「モード 2」に設定して本体の電源ボタンで電源を切った場合、もしくは予約開始時にも、スヌーズ動作が解除されます。</td></tr>
</table>

外部機器を接続して使う

BD プレーヤーやゲーム機などの画面に切り換える

・テレビ放送の画面から HDMI 入力の画面に切り換えると、BD や DVD、ゲーム機などの映像が見られるようになります。

灰色で表示した手順は BD プレーヤーなどの外部機器の操作です。

1 BDプレーヤーなどを本機に接続し、電源を入れる

2 再生したいディスクなどをセットする

3 入力切換メニューを表示する

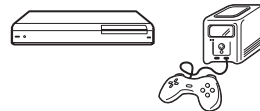
入力切換 を押す

・表示中に次の操作を行います。

4 繰り返し押し、機器を接続した入力名を選ぶ

入力切換 を押す

・上下カーソルボタンでも選択できます。

（例）本機の入力 1 に接続した機器の映像を見るときは、「入力 1」を選ぶ

選べる入力について

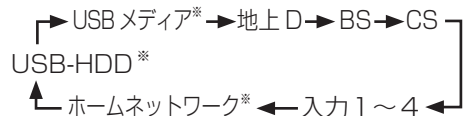
・入力４は、ビデオ機器が接続されているときのみ選択できます。

5 BDプレーヤーなどを再生する

・再生映像が表示されます。
・外部機器によっては、映像を出力するために設定が必要になる場合もあります。設定のしかたについては、接続した BD プレーヤーなどの取扱説明書をご覧ください。

◇**おしらせ**◇

本体の入力／放送切換（決定）ボタンでも入力を切り換えられます。

・ボタンを押すたびに次の順で切り換わります。（放送の種類も切り換えられます。）

※機器を接続していないときは、切り換えられません。

・本体のボタンで入力を切り換えたときは、入力切換メニューは表示されません。

HDMI 端子につないで見られる映像の種類

1080p(24Hz/30Hz/60Hz)、720p(30Hz/60Hz)、1080i、480p、480i、VGA

・対応している音声信号は AAC、ドルビーデジタル、リニア PCM、サンプリング周波数 48kHz、44.1kHz、32kHz です。

映像が表示されない場合は

- 故障かな？と思ったら（⇒ **121** ページ）をご覧ください。

入力切換の表示をお好みのなまえに変えるには

- 入力１～４に接続している機器に合わせ、入力切換メニューなどに表示される機器の名称を変更できます。

1 **入力切換ボタンを押して、表示を変更したい入力（入力1～4）を選ぶ**

2 **ホームメニューを表示して、「設定」－「（機能切換）」－「外部端子設定」を選ぶ**

3 **「入力表示」を選び、表示させたい名称を選ぶ**

- お好みで機器の名称を入力したいときは、「編集」を選んで決定します。（文字を入力する⇒ **38** ページ）

使用していない入力をスキップするには

- 入力１～３、ホームネットワーク、地上D、BS、CSを使用しないときは、入力切換の際に飛ばすことができます。

1 **ホームメニューから「設定」－「（機能切換）」－「外部端子設定」を選ぶ**

2 **「入力スキップ」を選ぶ**

3 **スキップしたい入力を選び、「する」に設定する**

- 入力スキップを解除する場合は、「しない」を選んでください。

ゲーム機をつないで使うときは

- テレビゲームを楽しむときは、画面の明るさを抑えて目にやさしい映像にし、ゲームに最適なAVポジションの「ゲーム」（⇒ **29** ページ）にすることをお奨めします。
- ゲームのキーの操作に対して画面の反応が遅く感じられる場合やカラオケの音声が遅れて感じられる場合は、AVポジションを「ゲーム」に変更してください。

◇**おしらせ**◇

- 光線銃などを使って画面を標的にするようなゲームは使用できません。

ゲームのプレイ時間を30分ごとに表示する（ゲーム時間表示設定）

- ゲームに夢中で時間を忘れてしまうことのないように、経過時間を知らせてくれる機能です。
- ホームメニューから「設定」－「（安心・省エネ）」－「ゲーム時間表示設定」で設定します。（入力１～４を選んでいるときに表示されます。）

項目	内容
する	• 外部入力で30分経過するたびに画面左下にメッセージが表示されます
しない	• 何も表示しません。

◆ **重　要** ◆

- 経過時間を表示させたいときは、ゲームを始める前に、ゲーム機をつないだ入力のAVポジション（⇒ **29** ページ）を「ゲーム」にしてください。
- 外部入力視聴時のみ有効です。

ホームメニューの使いかた

- 本機の設定や操作を行うとき、その入り口となる画面のことを「ホームメニュー」と呼びます。
- ここでは、ホームメニューの見かたや使いかたについて説明します。

ホームメニューの画面例

視聴中の画面／番組タイトル ／番組情報
- 視聴中の画面が縮小表示されます。
- 視聴中の番組タイトルが表示されます。
- 視聴中の番組情報が、テロップとして流れます。

機能別選択・設定項目
- 項目によって、表示や操作のしかたは異なります。それぞれのページをご覧ください。

ホームメニューの文字の大きさを変えるには

- ホームメニューに表示される文字の大きさを変更できます。

1. **ホームメニューから「設定」－「(機能切換)」－「画面表示設定」を選ぶ**
2. **「文字サイズ」を選び、「標準」または「大きな文字」に設定する**

ホームメニューや番組表などの配色を変えるには

- ホームメニュー画面、番組表、裏番組一覧（ホームメニューの「チャンネル」）、番組情報、チャンネル表示画面、入力切換画面、画面サイズメニュー画面などの表示色を変更できます。

1. **ホームメニューから「設定」－「(機能切換)」－「画面表示設定」を選ぶ**
2. **「表示色」を選び、「グレー系」「ブルー系」「レッド系」「グリーン系」のいずれかに設定する**

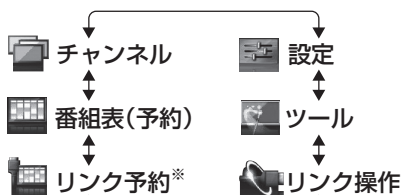
ホームメニューの基本的な操作のしかた

1 ホームメニューを表示する

ホーム を押す

2 ホームメニュー項目を選ぶ

で選び

を押す

※ レコーダーがファミリンク接続されていないときは表示されません。

- ホームメニュー項目を選び直したいときは、戻るボタンを押します。
- リモコンのツールボタンを押して、直接「ツール」を表示することもできます。

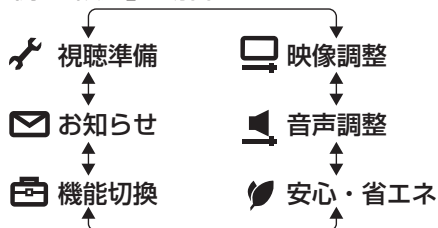
3 機能選択メニューがある場合は、項目を選ぶ

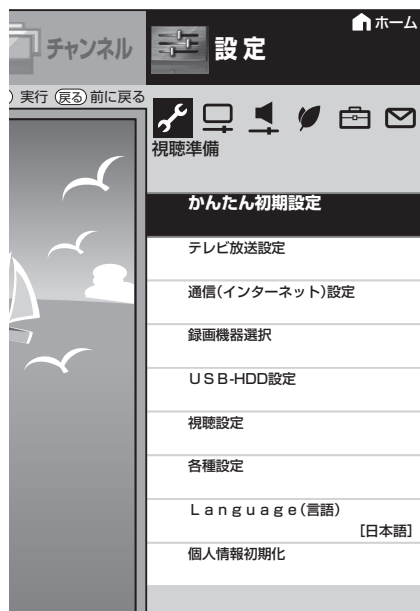
で選ぶ

例：「設定」の場合

4 機能別選択・設定項目を選ぶ

で選び

を押す

- 項目は、状況によって異なります。

▼「視聴準備」の機能別項目例

5 ガイド表示に従って、操作を進める

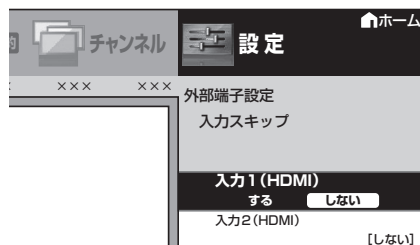
で選び

決定

を押す

- 選んだ項目により、さらに項目を選ぶ操作が続くこともあります。
- 項目により、操作のしかたが異なります。ガイド表示をご覧ください。

▼ガイド表示の例

▼設定画面の例

メニュー項目の一覧と使いかた

メニュー項目名／設定						内容
ホーム 設定 視聴準備	かんたん初期設定	接続確認			次へ	お買いあげ後、B-CAS カードを入れて、初めて電源を入れると「かんたん初期設定」の画面が表示されます。画面を見ながら操作・設定をしてください。受信できる地上デジタル放送のチャンネルが設定されます。(⇒ **「かんたん !! ガイド」(巻末) 12** ページ)
		地域設定				
		郵便番号設定			次へ	
		チャンネル設定			する、しない	
		BS/CS アンテナ設定			する、しない、次へ、手動で再設定	
		LAN 設定			する、しない	
		AQUOS リモート設定			する、しない	
		IPTV 設定			する、しない	
		完了確認			完了、再設定	
	テレビ放送設定	チャンネル設定	地上デジタル	地上デジタル一自動	する、しない	地上デジタル放送のチャンネル設定を再度行う場合に選択します。
				一追加	する、しない	
				一個別	各 CH の設定	
				一選局順	モード1、モード2	
				チャンネル更新設定	自動、手動	
			BS デジタル		各 CH の設定	BS デジタル放送のチャンネル設定を再度行う場合に選択します。
			CS デジタル		各 CH の設定	CS デジタル放送のチャンネル設定を再度行う場合に選択します。
		スキップ設定			地上デジタル	各放送のチャンネルスキップの設定を行います。選局時と番組表、それぞれのスキップ設定ができます。
					BS デジタル	
					CS デジタル	
		アンテナ設定	電源・受信強度表示		オート、入、切、受信状態一覧へ	デジタル放送用のアンテナの接続を変更したときなどは、再度アンテナ設定画面を見ながらアンテナ電源の設定やアンテナの向きを調整します。(初めて設置するときや引っ越したときなどは、「かんたん初期設定」(⇒ **「かんたん !! ガイド」(巻末) 12** ページ) を行ってください。)
			周波数設定			
			信号テストー地上 D			
			信号テストー BS			
			信号テストー CS			
		地域設定			地域選択、郵便番号設定	地上デジタル放送の地域情報(緊急ニュースなどの文字情報やデータ放送などの地域情報)をお住まいの地域に合わせる設定です。
	通信(インターネット)設定	LAN 設定	IPv4 設定	現在の設定(設定確認)	変更する、初期化する	IP アドレスなどを手動で設定する場合に選択します。(⇒ **69** ～ **70** ページ)
				IP アドレス設定	する、しない	
				DNS 設定	する、しない	
				ネットワーク設定確認(テスト実行、完了)	テスト実行、完了	
			IPv6 設定	現在の設定(設定確認)	変更する、初期化する	
				IP アドレス設定	する、しない	
				DNS 設定	する、しない	
				ネットワーク設定確認(テスト実行、完了)	テスト実行、完了	
		IPTV 設定	サービス設定		する、しない	IPTV を視聴するときの設定を行います。(⇒ **80** ページ)
			基本登録		事業者 ID、事業者名	
			チャンネル設定	IPTV 一自動	する、しない	
				一追加	する、しない	
				一個別	各 CH の設定	
			受信状態			

メニュー項目名／設定					内容
ホーム 設定 視聴準備	通信（インターネット）設定	起動モード設定		テレビ、テレビ+インターネット	電源起動時に表示される画面モードの設定です。
		インターネットボタン設定		する、しない	リモコンのインターネットボタンでインターネットに切り換える設定です。
		AQUOS リモート設定	AQUOS リモート設定	する、しない	携帯端末やパソコンを使って本機をリモート操作するときに必要な設定です。(⇒ **94** ページ)
			機器名設定	機器名	
			詳細設定	ログイン ID、パスワード、コントロールポート	
		ホームネットワーク設定	リモート再生設定	許可する、許可しない	本機がリモート再生を許可する設定です。(⇒ **94** ページ)
			タイムアウト設定	しない、10 秒、60 秒	ホームネットワーク経由の映像再生が終了してから、テレビ画面に戻るまでのタイムアウト時間を設定します。(⇒ **94** ページ)
		ネットサービス制限設定	デジタル放送接続制限	禁止する、禁止しない	双方向サービスを行うと回線の利用料金がかかる場合がありますので、デジタル放送の接続を禁止したいときに便利な設定です。(⇒ **71** ページ)
			インターネット接続制限	禁止する、禁止しない	インターネットは回線の利用料金がかかる場合がありますので、接続を禁止したいときに便利な設定です。(⇒ **71** ページ)
			プロキシサーバー設定	利用する、利用しない、アドレス、ポート	プロキシ形式のフィルタリングサービス (インターネットでの有害情報が含まれる特定ページへのアクセスを禁止する機能) を利用する場合や、プロバイダーなどから指定がある場合は、プロキシサーバー設定で入力してください。(⇒ **71** ページ)
			ブラウザ制限	禁止する、禁止しない	有害サイトへのアクセスを防ぐために、URL を入力してページを表示させる機能を禁止することができます。(⇒ **75** ページ)
	録画機器選択				リモコンの録画ボタンを押したときに録画するファミリンク機器を選ぶ設定です。(⇒ **52・98** ページ) ファミリンク機器に録画するには、「ファミリンクレコーダー」を選択の上、「ファミリンクレコーダー選択」で機器を選択してください。
	USB-HDD設定	USB-HDD の選択			使用する USB ハードディスクを選択します。
		機器の初期化		する、しない	USB ハードディスクを使って録画するためには、使うための準備「初期化」が必要です。(⇒ **47** ページ)
		機器の登録解除			本機は USB ハードディスクを 16 台まで登録できます。17 台目以降の USB ハードディスクを登録する場合には、登録済みの USB ハードディスクのいずれかを登録解除してください。(⇒ **49** ページ)
		機器の取りはずし			本機や USB ハードディスクの電源を切ったり、接続している USB ケーブルを抜く前に、必ずホームメニューから「機器の取りはずし」を行ってください。(⇒ **48** ページ)
		長時間対応 HDD 録画モード		標準 (DR)、長時間 (TR)	本機で USB ハードディスクにデジタル放送を録画するときは、録画モード(録画時間)「標準(DR)」または「長時間(TR)」が選べます。録画モード「長時間 (TR)」は、長時間録画対応の USB ハードディスクでのみ使用可能です。
		省エネ設定		する、しない	USB ハードディスクを使わない状態が続いたときに、USB ハードディスクを待機状態にして、消費電力を抑えます。
		オートチャプター設定		しない、10 分、15 分、30 分	録画中に自動的に記録されるチャプターマークの間隔を設定します。 録画した番組にチャプターマークが記録されていると、再生したい場面を探すときに便利です。
		機器名の変更		する、しない	USB ハードディスクを複数台つないだときに識別しやすくするために、各 USB ハードディスクに名前を付けられます。
	視聴設定		壁掛視聴設定	する、しない	この機能は、当社が開発した壁掛け設置に適した音質の設定機能です。

次のページに続く

メニュー項目名／設定					内容
ホーム 設定 視聴準備	各種設定	暗証番号設定		する、しない	視聴の年齢制限など、各種の制限を設定できます。これらの制限を設定するときや変更するときに、暗証番号を使います。
		視聴年齢制限設定		XX 歳、無制限	年齢制限のある番組の視聴を 4 ～ 20 歳の範囲で制限します。この設定には､暗証番号設定(⇒**上記**）が必要です。
		ダウンロード設定		する、しない	本機のソフトウェア更新はダウンロードで行います。自動的に行う方法と、必要に応じ手動で行う方法があります。お買いあげ時は利便性を考えて自動になっています。
		電源ボタン設定			本体の電源ボタンで電源を切ったとき、電源オフになるか待機状態になるかの設定ができます。
				モード 1	本体の電源ボタンで電源を切っても、視聴予約やおはようタイマーは動作します。 リモコンの電源ボタンで電源を切った場合も同様です。
				モード 2	本体の電源ボタンで電源を切ると、電源がオフになり、視聴予約やおはようタイマーが中止されます。
		クイック起動設定			クイック起動設定とは、電源を入れてから画面が出るまでの時間を早くするための設定です。
				しない	クイック起動しません。
				する（常に有効）	電源待機状態からの電源立ち上がりが早くなり、番組表やホームメニューを早く表示させることができます。「しない」のときより待機時の消費電力が増えます。
				する（2 時間のみ有効）	電源切後 2 時間のみクイック起動を有効にします。
		時計設定	時刻設定	年、月、日、時、分	デジタル放送が受信できないなど、内蔵時計の時刻が自動設定されない場合に、時刻設定をします。
			時刻表示	する、する（30 分ごと）、しない	時刻表示のしかたを選びます。
			時計タイプ	デジタル、アナログ	時刻表示するときの、時計のタイプを変えられます。
		リモコン番号設定	リモコン番号 1	する、しない	2 台の AQUOS を近くに設置している場合に、リモコンの操作で AQUOS が 2 台とも動作してしまうことがあります。このとき、リモコン番号の設定を変えると他の AQUOS の動作を防ぐことができます。
			リモコン番号 2	する、しない	
	Language（言語）			日本語、English	Using the Home menu screen, you can switch the on-screen display language to English. ホームメニューなどの画面表示を英語にすることができます。
	個人情報初期化			全ての情報を消去、USB-HDD の情報を残して消去、しない	本機を譲渡したり廃棄したりする際には、個人情報の初期化を行いこれらの情報を消去してください。 お客様が設定した情報内容（チャンネル設定、予約、各調整値、LAN 設定、暗証番号、IPTV の基本登録情報やアクトビラの購入情報、インターネット関連のデータなど）がすべて初期化されます。

メニュー項目名／設定					内容
ホーム 設定 映像調整	AV ポジション（画質切換）			標準、映画、ゲーム、PC、AV メモリー、フォト、ダイナミック、ダイナミック（固定）	映画やゲームなどに適した映像・音声に切り換えます。
	明るさセンサー（OPC）			切、入、入：表示あり	室内の照明状況など周囲の明るさに応じて、画面の明るさを自動的に調整するかを、「入：表示あり」「入」「切」で設定します。
	明るさ			-16 ～ 0 ～ +16	画面をお好みの明るさに手動で調整します。（調整すると、上の項目の「明るさセンサー（OPC）」は「切」になります。）
	映像			0 ～ +40	映像の強弱を調整します。
	黒レベル			-30 ～ 0 ～ +30	画面を見やすい明るさに調整します。
	色の濃さ			-30 ～ 0 ～ +30	映像の色の濃さを調整します。
	色あい			-30 ～ 0 ～ +30	色を調整します。
	画質			-10 ～ 0 ～ +10	画面をお好みの画質に調整します。AQUOS 純モード対応レコーダーが接続されているとき、レコーダーによっては、番組表示時やモードによって選択できない場合があります。
	プロ設定	カラーマネージメント - 色相 カラーマネージメント - 彩度 カラーマネージメント - 明度	R	-30 ～ 0 ～ +30	色の構成要素となる 6 つの系統色を調整し、色相・彩度・明度を変化させます。
			Y	-30 ～ 0 ～ +30	
			G	-30 ～ 0 ～ +30	
			C	-30 ～ 0 ～ +30	
			B	-30 ～ 0 ～ +30	
			M	-30 ～ 0 ～ +30	
			リセット		
		色温度	色温度	高、中、低	青みがかった白（色温度:高）にするか、赤みがかった白（色温度：低）にするかを調整します。また、色温度ごとに R ゲイン、G ゲイン、B ゲインの値を変えて、ホワイトバランスを微調整することができます。
			Rゲイン（低）	-30 ～ 0 ～ +30	
			Gゲイン（低）	-30 ～ 0 ～ +30	
			Bゲイン（低）	-30 ～ 0 ～ +30	
			Rゲイン（高）	-30 ～ 0 ～ +30	
			Gゲイン（高）	-30 ～ 0 ～ +30	
			Bゲイン（高）	-30 ～ 0 ～ +30	
			リセット		
		QS 駆動（120Hz）		する、しない	通常 60 コマ／秒で表示される映像を 120 コマ／秒に補間し、動きの速い映像をくっきりと、より見やすくします。
		アクティブコントラスト		する、しない	シーンに応じて映像のコントラストを自動的に調整します。「する」「しない」の 2 つの中から選べます。
		ガンマ設定		-2 ～ 0 ～ +2	映像の明るい部分と暗い部分の階調の差を調整できます。
		I/P 設定		動画より、静止画より	「動画より」の設定（通常のテレビ放送やビデオなどをきめ細かい映像で楽しむモード）と「静止画より」の設定（静止画やグラフィックなどの画像を、チラツキのない滑らかな映像で楽しむモード）を切り換えます。
		フィルムモード		する、しない	フィルム収録のDVDなど、元信号が 24 コマ／秒の映像を高画質で再生するための設定です。
		デジタル NR		オート、強、中、弱、しない	映像に乗ったノイズを減らし、すっきりさせる機能です。
		モノクロ		する、しない	白黒映像にします。
		明るさセンサー（OPC）設定	最大値設定	-16 ～ 0 ～ +16	明るさセンサー（OPC）「入」時の、動作範囲の最大値と最小値をお好みの値に設定できます。周囲の明るさにもよりますが、設定範囲がせまい場合は、明るさセンサーが働きません。
			最小値設定	-16 ～ 0 ～ +16	
	リセット			する、しない	映像調整をすべて工場出荷時の設定に戻します。

次のページに続く

メニュー項目名／設定				内容
ホーム 設定 音声調整	オートボリューム			チャンネルを切り換えたときやコマーシャルに切り換わったときなど極端に音量が変わるとき、自動的に音量を調整して不快感を軽減できます。撮影した映像や他の機器で録画した番組の音量が小さすぎるときは、自動的に聞こえやすい音量になります。
			強	音量変化を強く抑え、音量差を最も小さくします。
			中	音量変化を中くらいに抑えます。
			弱	音量変化をわずかに抑えます。
			切	この機能を無効にします。元の音の音量変化を保ちます。
	高音		-15 ～ 0 ～ +15	高音を調整できます。
	低音		-15 ～ 0 ～ +15	低音を調整できます。
	バランス		左 30 ～中央～右 30	左右のスピーカー音声のバランスを調整できます。
	サラウンド		自動、入、切	内蔵のスピーカーで臨場感あふれるサラウンド空間を擬似的に実現します。
	音質補正			選択している AV ポジションの音質を設定します。
			標準	標準設定です。
			ダイナミック	メリハリのきいた設定です。
	リセット		する、しない	音声調整をすべて工場出荷時の設定に戻します。（「声の聞きやすさ」は除きます。）
	声の聞きやすさ			ドラマや映画のセリフが聞き取りにくいとき、人の声に関する音域を強調させて聞き取りやすくすることができます。
			標準	音の大きさをそろえた標準的な音質にします。
			マイルド	標準よりもマイルドな音質にします。 セリフ以外の効果音や雑音を小さくし、セリフを聞きとりやすくします。
			くっきり	標準よりもくっきりした音質にします。 セリフの音質をくっきりさせて、聞きとりやすくします。
			しない	この機能を無効にします。
ホーム 設定 安心・省エネ	照明オフ連動	照明オフ連動	解除、設定	照明オフ連動機能の「設定」「解除」を設定します。
		電源切（待機状態）移行時間	0 分、15 分、30 分、60 分	部屋の明るさがある程度の暗さに変わってから、画面の明るさと 音量を徐々にさげ、何分後に本機の電源を「切」にするかを設定します。
		表示設定	アイコン＋文字、文字のみ	画面にアイコンとメッセージを表示するか、メッセージのみ表示するかを選択します。
	セーブモード設定	セーブモード映像オフ	する、しない	セーブモードボタンを押すと映像が消えるように設定できます。（音声は消えません）
		セーブモード画質	する	画面の明るさを最小にして消費電力を抑えつつ、見やすい画質にします。
			しない	画面の明るさを控えめ（最小にはしない）にして、消費電力を抑えます。
		セーブモード無信号オフ	する	セーブモードにすると、「無信号オフ」（⇒**下記**）が「する」に自動で設定されます。
			しない	「無信号オフ」（⇒ **下記**）の設定に従います。
		セーブモード無操作オフ（3 時間）	する	セーブモードにすると、「無操作オフ」（⇒ **下記**ページ）が「3 時間」に自動で 設定されます。
			しない	「無操作オフ」（⇒ **下記**）の設定に従います。
		一日の累計視聴時間表示	する	視聴中に一定の時間が経過すると画面に経過時間を表示するように設定できます。
			しない	
	映像オフ		する、しない	映像を消して音声だけを聞くことができます。
	無信号オフ		する、しない	放送終了後など、番組が映らない状態になると、約 15 分後に電源が切れるように設定できます。
	無操作オフ		しない、30 分、1 時間、2 時間、3 時間	本機を操作しない状態が続くと、自動的に電源が切れるように設定できます。
	ゲーム時間表示設定		する、しない	ゲームに夢中で時間を忘れてしまうことのないように、プレイ時間を 30 分ごとに表示する機能です。

メニュー項目名／設定					内容
ホーム 設定 安心・省エネ	地デジ限定設定			有効、無効	地上デジタル放送だけを受信している場合に便利な設定です。 「地デジ限定設定」を「有効」に設定すると、誤って地上デジタル放送以外の放送に切り換えてしまうことを防ぎます。（リモコンの「BS」「CS」ボタンを押しても、放送切換ができなくなります。） 「地デジ限定設定」が「無効」になっている場合は、「BS」「CS」を誤って押すと、「地上」を押すまでは「1」～「12」のチャンネルボタンなどを押しても地上デジタル放送が見られません。
	チャイルドロック			しない、リモコン操作ロック、本体操作ロック	リモコンまたは本体の操作をロックするよう設定できます。
ホーム 設定 機能切換	視聴操作			番組情報	デジタル放送の番組視聴中に、番組情報が表示できます。
				画面サイズ	放送によっては、画面の両側や上下に黒帯が出る場合があります。「画面サイズ」の設定で、映像の左右幅や上下幅を変えて黒帯を消すことができます。
				テレビ／ラジオ／データ／ポータル	複数のプラットフォームを受信している場合に、プラットフォームを切り換えられます。
				録画状態	録画場所、録画番組詳細、録画時間·カウンター、録画モード、録画可能時間などを 10 秒程度表示します。
				VOD 操作	VOD 操作パネルで、一時停止や再生などの操作ができます。（⇒ **85** ページ）
				字幕操作	字幕の表示方式や表示言語を変更します。
				静止	画面を静止させます。
				３桁入力	3 桁のチャンネル番号を入力して選局します。
	ファミリンク設定	ファミリンク制御(連動)		する、しない	ファミリンクに対応していない機器をつないでいるときに、その機器の電源が勝手に入ったりチャンネルが変わってしまう場合、「しない」に設定します。
		連動起動設定		する、しない	ファミリンク対応機器を操作すると本機の電源が自動的に入るように設定します。
		ファミリンクレコーダー選択			リモコンの録画ボタンを押したときに録画するファミリンク機器を選ぶ設定です。 ファミリンク機器に録画するには、「ファミリンクレコーダー」を選択の上、「ファミリンクレコーダー選択」で機器を選択してください。
		ジャンル連動		する、しない	デジタル放送のジャンル情報に従って、AQUOS オーディオが適切なサウンドモードに切り換わるように設定できます。
		選局キー	入力１	自動、する、しない	「選局キー」を「する」に設定すると、本機のリモコンで、AQUOS レコーダーの操作が行えます。（⇒ **98** ページ） 「自動」に設定すると、「しない」に設定したときと同じ動作をします。しかし、接続されている機器から要求があった場合のみ、「する」に設定したときと同じ操作ができます。
			入力２	自動、する、しない	
			入力３	自動、する、しない	
		ARC 設定		自動、切	「ARC（オーディオリターンチャンネル）」は、テレビのチューナーの音声を HDMI ケーブルを使って AV アンプなどに伝送する機能です。 「ARC 設定」を「自動」に設定すると、本機と ARC 対応の AQUOS オーディオを HDMI ケーブル一本で接続することができます。この機能は、入力１ 端子に接続したときのみ使えます。

次のページに続く

メニュー項目名／設定				内容
おはようタイマー	おはようタイマー		解除、設定	指定した時刻に、自動的に電源が入るように設定できます。（ヘッドホンをつないでいても、本体のスピーカーから音声が出ます。） おはようタイマーを設定すると、本体のTIMER/REC（タイマー／録画）ランプ（⇒ **8** ページ）が橙色に点灯します。 異なる設定のタイマーを 7 種類までセットできます。 （⇒ **20** ページ）
	曜日		毎日、月－土、月－金、毎週日曜～毎週土曜、1 回だけ	
	時刻（時）		おはようタイマー時刻設定　時	
	時刻（分）		おはようタイマー時刻設定　分	
	入力		テレビ、入力 1 ～入力 4、USB メディア、時計	
	CH			
	音量		0 ～ 100	
	アラーム音		なし、ベル、電子音、鳩時計、小鳥	
	モード		通常、スヌーズ、サンライズ、サンライズ（アイコン）	
おやすみタイマー	おやすみタイマー		解除、設定	指定した時刻に、自動的に電源が切れるように設定できます。（⇒ **19** ページ）
	時刻（時）		おやすみタイマー時刻設定　時	
	時刻（分）		おやすみタイマー時刻設定　分	
	モード		通常、サンセット	
	表示設定		アイコン＋文字、文字のみ	
オフタイマー	変更する		切、この番組の最後まで（次の番組の最後まで）、0 時間 30 分、1 時間 00 分、1 時間 30 分、2 時間 00 分、2 時間 30 分	指定した時間後に電源を切ります。（⇒ **19** ページ）
	変更しない			
外部端子設定	ヘッドホン			ヘッドホン使用中に、スピーカーとヘッドホン端子から出る音声を切り換えます。
		モード1		ヘッドホンだけで音を聞きたいときの設定です。ヘッドホンをつなぐと、スピーカーからは音が出なくなります。
		モード2		ヘッドホンをつないでもスピーカーから音が出ます。スピーカーだけでは聞きづらい方と、スピーカー音量を大きくし過ぎたくない方とが一緒に楽しむときに便利な設定です。
	デジタル音声設定			デジタル音声の信号形式を設定します。
		PCM		AAC ／ドルビーデジタルに対応していない機器につなぐときは、「PCM」に設定します。視聴している番組の音声と同じ音声（主、副、主／副）が出力されます。
		ビットストリーム		AAC ／ドルビーデジタル対応の AV アンプなどをつなぐときは、「ビットストリーム」に設定します。主と副の両方の音声が同時に出力されます。
	入力スキップ	入力 1（HDMI）	する、しない	入力 1 ～ 3、ホームネットワーク、地上 D、BS、CS を使用しないときは、入力切換の際に飛ばすことができます。
		入力 2（HDMI）	する、しない	
		入力 3（HDMI）	する、しない	
		ホームネットワーク	する、しない	
		地上デジタル（本体）	する、しない	
		BSデジタル（本体）	する、しない	
		CSデジタル（本体）	する、しない	
	入力選択		自動、D 端子、ビデオ映像	入力 4 の映像が表示されない場合、「D 端子」または「ビデオ映像」を選びます。
	入力表示		（選択入力で内容変化）ユーザー設定：編集	入力 1 ～ 4 に接続している機器に合わせ、入力切換メニューなどに表示される機器の名称を変更できます。
	HDMI コンテンツタイプ連動		する、しない	HDMI ケーブルを使って本機と接続した機器から、映画、ゲーム、フォト、グラフィックのコンテンツ情報が送られたときに、受け取ったコンテンツ情報に合わせて、本機が自動的に AV ポジションを切り換えます。

メニュー項目名／設定				内容
設定 ホーム 機能切換 画面表示設定	文字サイズ		標準、大きな文字	ホームメニューに表示される文字の大きさを変更できます。
	表示色		グレー系、ブルー系、レッド系、グリーン系	ホームメニュー画面、番組表、裏番組一覧（ホームメニューの「チャンネル」）、番組情報、チャンネル表示画面、入力切換画面、画面サイズメニュー画面などの表示色を変更できます。
	選局効果		する、しない	選局したときに動きの効果がつくよう設定できます。
	番組名表示		する、しない	選局したときに、番組タイトルや放送時間が画面に表示されます。 選局したチャンネルで次の番組が 2 分以内に始まる場合は、次の番組名と時間も表示されます。
	文字スーパー表示		する、しない	デジタル放送では、災害が発生すると同時に文字情報（文字スーパー）を表示する場合があります。 文字スーパーを表示させるかどうかを設定できます。
	画面位置	水平位置	－６～０～＋６	画像が右寄りまたは左寄りの状態にあるときに、左右カーソルボタンで調整します。
		垂直位置	－7～０～+7	画像が上がりすぎまたは下がりすぎの状態にあるときに、左右カーソルボタンで調整します。
		リセット		工場出荷時の状態に戻します。
	オートワイド			オリジナル映像の種類によって、映像を最適な画面サイズで表示することができます。 デジタル放送視聴時は選択できません。
		映像判別	する、しない	入力１ ～ ４ から入力された映像の上下に黒い幕があるとき、画面サイズを自動的に「シネマ」（⇒ **150** ページ）にします。
		D 端子識別	する、しない	入力４ の D 映像端子とビデオ機器との接続に使うケーブルの種類により、画面サイズの判定方法を変えます。D端子ケーブルのときは「する」にすると自動的に最適な画面サイズになります。D- コンポーネント変換ケーブルのときは D 端子識別が動作しないので「しない」に設定します。
		HDMI 識別	する、しない	入力１ ～ ３ から入力された映像に画面サイズ制御信号が含まれているとき、自動的に最適な画面サイズにします。
	AQUOS インフォメーション設定			AQUOS インフォメーションとは、インターネット経由で情報を受信したり、おすすめの番組があるときに番組タイトルの一覧を表示させたりすることのできる機能です。
	インターネット情報		する、しない	インターネット経由でいろいろな情報を受信できます。（インターネット⇒ **72** ページ） 「する」を選んだあと、「AQUOS City へ」を選び、画面に従って設定してください。
	おすすめ番組		する、しない	「見つかる検索」で検索された、今日または明日放送される番組が表示されます。（見つかる検索⇒ **12** ページ） 「する」を選んだあと「見つかる検索へ」を選び、画面に従って設定してください。
	未視聴録画番組		する、しない	USB ハードディスクをつないでいるとき、まだ見ていない録画番組があるとお知らせ表示が出ます。（USB ハードディスクへの録画⇒ **46**・**52** ページ）「する」を選んだあと「戻る」で決定します。

次のページに続く

メニュー項目名／設定			内容
ホーム 設定 お知らせ	受信機レポート		予約の失敗や変更に関するレポート（自動で電源オフになった理由など）やB-CASカードに関する情報など、受信機に関係したレポートを表示します。
	放送局メッセージ		受信契約した放送局から発信されるメッセージを見ることができます。 ダウンロード設定（⇒ **28** ページ）を「しない」に設定した場合、放送局メッセージに「ダウンロードのお知らせ」が届いているときに、手動でダウンロードできます。
	ボード（CS デジタル）	CS1、CS2	現在の放送で送られている、CS 各ネットワークの掲示板（ボード情報）のタイトル一覧を表示して、ご覧になりたいタイトルを選び、メッセージを表示することができます。 ボード情報は、そのとき放送で送られているものを表示しますので、消去はできません。 録画予約実行中は選べません。
	B-CAS カード	実行	受信機レポートで報告された不具合に関して、放送事業者のカスタマーセンターに連絡されるときに、お客様の契約確認のため B-CAS カードの番号を表示するものです。 カード識別…メーカー識別用のアルファベット 1 文字と 3 桁の数字からなります。 カード ID……カード固有の番号です。
	システム動作テスト	テスト実行	B-CAS カードが正しく挿入できているかをテストします。
	ソフトウェアの更新		USB メモリーを使用してソフトウェアの更新ができます。
ホーム ツール ツール	再生機器選択		本機のリモコンを使って、本機と HDMI 接続した AQUOS レコーダーの録画リストから見たい番組を再生します。（⇒ **102** ページ）
	お知らせタイマー	①「分」または「秒」の欄を選び、数字ボタンで時間を入力する •「00 分 01 秒」～「99 分 59 秒」の間で設定できます。 ②「開始」を選び、決定ボタンを押す •残り時間が「00 分 00 秒」になると電子音が 1 分間鳴り続けます。 •カウントダウンを一時停止するには、「ツール」－「お知らせタイマー」を選び、緑ボタンを押します。再度緑ボタンを押すと、カウントダウンが再開します。 •カウントダウン実行中にタイマーを止めたいときは、カウントダウン中に「ツール」－「お知らせタイマー」を選び、「解除」を選んで決定します。 **おしらせ** •消音中は、残り時間が「00 分 00 秒」になっても電子音が鳴りません。 **次のようなときは、電子音が止まります。** •リモコンのボタンを押したとき •視聴予約、録画予約が開始されたとき •本機の電源を「切」にしたとき **アラーム音について** •インターネット･ホームネットワーク･USB メモリーの写真や音楽を視聴しているときなどは、残り時間が「00 分 00 秒」になっても電子音を鳴らさずに画面の表示だけでお知らせすることがあります。	
	テレビ / ラジオ / データ / ポータル		複数のプラットフォームを受信している場合に、プラットフォームを切り換えられます。
	AQUOS インフォメーション		AQUOS インフォメーションとは、インターネット経由で情報を受信したり、おすすめの番組があるときに番組タイトルの一覧を表示させたりすることのできる機能です。
	VOD 操作		VOD 操作パネルで、一時停止や再生などの操作ができます。（⇒ **85** ページ）
	3 桁入力		3 桁のチャンネル番号を入力して選局します。
	画面サイズ		放送によっては、画面の両側や上下に黒帯が出る場合があります。「画面サイズ」の設定で、映像の左右幅や上下幅を変えて黒帯を消すことができます。
	USB-HDD 設定		USB ハードディスクの設定をします。（⇒ **27** ページ）
	お知らせ（受信機レポート）		予約の失敗や変更に関するレポート（自動で電源オフになった理由など）やB-CASカードに関する情報など、受信機に関係したレポートを表示します。
	お知らせ（放送局メッセージ）		受信契約した放送局から発信されるメッセージを見ることができます。 ダウンロード設定（⇒ **28** ページ）を「しない」に設定した場合、放送局メッセージに「ダウンロードのお知らせ」が届いているときに、手動でダウンロードできます。

メニュー項目名／設定					内容
ホーム リンク操作 リンク操作	レコーダー電源入／切				本機とつないだ AQUOS レコーダーの電源を、本機から入／切できます。
	ファミリンクパネル				ファミリンクパネルで、録画や再生などの操作ができます。
	録画リストから再生				録画した番組の中（録画リスト）から見たい番組を選んで再生します。（⇒ **102** ページ）
	スタートメニュー表示				AQUOS レコーダーのセットアップメニューなどを表示することができます。 表示される内容は AQUOS レコーダーによって異なります。
	機器のメディア切換				必要に応じて AQUOS レコーダー側の HDD モード／ BD モード／ DVD モードを切り換えます。
	リンク予約（録画予約）				AQUOS レコーダーの番組表を呼び出して録画予約します。（⇒ **102** ページ）
	音声出力機器切換			AQUOS オーディオで聞く、AQUOS で聞く	AQUOS オーディオで音声が楽しめます。（本機のスピーカーからは音が出ません。） 本機のリモコンで AQUOS オーディオの音量調整、消音、音声切換の操作ができます。
	ファミリンク機器リスト				複数の HDMI 対応のレコーダー（録画機器）をお使いのとき、視聴する HDMI 機器を選びます。
	ファミリンク設定	ファミリンク制御(連動)		する、しない	ファミリンクに対応していない機器をつないでいるときに、その機器の電源が勝手に入ったりチャンネルが変わってしまう場合、「しない」に設定します。
		連動起動設定		する、しない	ファミリンク対応機器を操作すると本機の電源が自動的に入るように設定します。
		ファミリンクレコーダー選択			リモコンの録画ボタンを押したときに録画するファミリンク機器を選ぶ設定です。 ファミリンク機器に録画するには、「ファミリンクレコーダー」を選択の上、「ファミリンクレコーダー選択」で機器を選択してください。
		ジャンル連動		する、しない	デジタル放送のジャンル情報に従って、AQUOS オーディオが適切なサウンドモードに切り換わるように設定できます。
		選局キー	入力 1	自動、する、しない	「選局キー」を「する」に設定すると、本機のリモコンで、AQUOS レコーダーの操作が行えます。（⇒ **98** ページ） 「自動」に設定すると、「しない」に設定したときと同じ動作をします。しかし、接続されている機器から要求があった場合のみ、「する」に設定したときと同じ操作ができます。
			入力 2	自動、する、しない	
			入力 3	自動、する、しない	
		ARC 設定		自動、切	「ARC（オーディオリターンチャンネル）」は、テレビのチューナーの音声を HDMI ケーブルを使って AV アンプなどに伝送する機能です。 「ARC 設定」を「自動」に設定すると、本機と ARC 対応の AQUOS オーディオを HDMI ケーブル一本で接続することができます。この機能は、入力 1 端子に接続したときのみ使えます。

メニュー項目に関するおしらせ

メニュー項目名				おしらせ
ホーム 設定 視聴準備	視聴設定	壁掛視聴設定		•壁掛視聴設定は、一般的な壁に掛けた際の音を設定していますが、壁の材質や設定条件によっては、本設定が適さない場合があります。その場合は、ホームメニューから「設定」−「（音声調整）」で調整してください。 •声の聞きやすさ設定を「標準」「マイルド」「くっきり」のいずれかに設定している場合は、視聴設定は選べません。 •この機能は、本機のスピーカーから出力される音声に対してのみ働きます。ヘッドホンや外部スピーカーの音声に対しては働きません。
	各種設定	暗証番号設定		**暗証番号を忘れたときは** •個人情報の初期化（⇒ **28** ページ）が必要です。個人情報の初期化を行うと、暗証番号以外の情報も消去されます。暗証番号はメモなどをして忘れないようにしてください。
		視聴年齢制限設定		•IPTV の成人向けチャンネルやコンテンツを視聴するためには、視聴年齢制限設定が必要です。視聴年齢制限を「20 歳」または「無制限」に設定すると、番組表などに成人向けチャンネルが表示されます。
		電源ボタン設定		•リモコンの電源ボタンで電源を切ったときは、電源ボタン設定に関わらず待機状態になり、視聴予約やおはようタイマーは継続されます。
		クイック起動設定		•ダウンロード（本機のソフトウェアの受信）時は開始 5 分前になると一時的にクイック起動が解除され、すぐに電源が入らない場合があります。
		時計設定	時刻設定	•時刻が自動設定されている場合、「時刻設定」は選べません。 •設定できる時刻は 12 時間表示です。 •設定できる日付は、2035 年 12 月 31 日までです。 •画面表示ボタンを押すと、現在時刻が確認できます。
			時計タイプ	•「時計タイプ」を「アナログ」に設定していても、ホームネットワークまたは USB で視聴しているときは、「デジタル」の時計が表示されます。 •ホームネットワークまたは USB で視聴しているときは、「時計タイプ」の設定ができません。
ホーム 設定 映像調整				•セーブモード（⇒ **30** ページ）に設定されている場合は、映像調整ができません。 •映像調整をしたい場合は、セーブモードボタンを押し、セーブモードの設定を解除してください。 •AV ポジションが「ダイナミック（固定）」の場合は、明るさセンサーの設定ができません。
	AV ポジション（画質切換）			•入力によっては選択できない AV ポジションがあります。 •接続する機器によっては、「メニュー項目の一覧と使いかた」（⇒ **29** ページ）に記載されていない AV ポジションが表示される場合があります。
	プロ設定	QS 駆動（120Hz）※5※6		※1　AVポジションが「ゲーム」のときは選択できません。 ※2　AVポジションが「PC」のときは選択できません。 ※3　入力信号がプログレッシブ（480p、720p、1080p）のときは選択できません。 ※4　入力信号が PC 信号のときは選択できません。 ※5　・USB メディアのときは選択できません。 　・インターネット、ホームネットワークで動画を再生しているときは選択できます。 ※6　入力信号の種類や映像コンテンツによっては、効果がわからないことがあります。
		アクティブコントラスト※5		
		I／P設定※3※4※5※6		
		フィルムモード※1※3※4※5※6		
		デジタル NR※2※5※6		
ホーム 設定 音声調整				**次の場合は音声調整ができません** •AV ポジションを「ダイナミック（固定）」にしているとき •ヘッドホンを接続しているとき（「ヘッドホン」設定が「モード 2」のときを除く）
	オートボリューム			•声の聞きやすさ設定を「標準」「マイルド」「くっきり」のいずれかに設定している場合、オートボリュームは自動的に設定され、変更できません。 •この機能は、本機のスピーカーから出力される音声に対してのみ働きます。ヘッドホンや外部スピーカーに対しては働きません。 •放送や BD/DVD などのコンテンツによっては、本機能の効果が十分に得られない場合があります。
	声の聞きやすさ			•この機能は、本機のスピーカーから出力される音声に対してのみ働きます。ヘッドホンや外部スピーカーの音声に対しては働きません。
ホーム 設定 安心・省エネ	照明オフ連動			•明るさセンサーの前にものを置いたりすると、部屋の明るさを感知できなくなります。
	セーブモード設定			•セーブモードに設定されている場合は、映像調整ができません。
	映像オフ			•操作により映像が復帰したり、一度電源を切ったりすると、自動的に設定が「しない」になります。 **映像を復帰させたいときは** •選局ボタンを押すなど、「音量調整」、「消音」、「音声切換」以外の操作をしてください。
	無信号オフ			•放送が終了しても、他局の放送やその他の電波が混入するときや、ブルーバックなどのビデオ信号が入力されているときは、正しく動作しない場合があります。 •放送電波の状態などにより、番組を見ているときに無信号オフ機能が働いて電源が切れる場合は、設定を「しない」にしてください。

メニュー項目名			おしらせ
ホーム 設定 安心･省エネ	地デジ限定設定		**「地デジ限定設定」を「有効」に設定した場合は…** •「BS」「CS」「インターネット」ボタンでの操作が制限されます。 •ホームメニューからのチャンネル選局操作が制限されます。 •ホームメニューや番組表などの文字サイズが「大きな文字」に固定されます。 •BS デジタル放送や CS デジタル放送の番組表の表示が制限されます。 •制限される放送の予約が削除されます。 •おはようタイマーの入力設定が「BS」または「CS」に設定されていても、地上デジタル放送で電源が入ります。
	チャイルドロック		•誤ってリモコン操作をロックしてしまった場合は、本体の操作ボタン（⇒ **8** ページ）で操作し、ロックを解除してください。
ホーム 設定 機能切換	視聴操作	画面サイズ	•USB メモリーの画像の表示中は、画面サイズの切り換えはできません。 •字幕表示の「表示方式」（⇒ **17** ページ）を「アウトスクリーン字幕上」または「アウトスクリーン字幕下」にした場合、画面サイズの切り換えはできません。画面サイズを切り換えたい場合は、「表示方式」を「表示しない」または「オンスクリーン」にする必要があります。 •1035i は、本機の画面表示（チャンネルサイン）では「1080i」と表示されます。 •ハイビジョン放送など、画面サイズ「フル 1」でご覧になっているときに、上部にわずかな黒帯が表示される場合は、「フル 2」でご覧ください。
	おはようタイマー		**おはようタイマーを「設定」にすると** •「解除」にするまで、設定した曜日に繰り返しおはようタイマーが働きます。 •おはようタイマーで電源が入ってから2時間操作をしない場合は、電源が切れます。（電源が切れる5分前になると画面左下にメッセージが表示されます。） •タイマー 1 ～ 7 は、日時の早いものが優先して作動し、同じ曜日であれば、7 件別々の時間に別々のモードで作動させることができます。ただし、「おはようタイマー」が「設定」かつ「曜日」が「一回だけ」のタイマーがあるとき、他のタイマーは作動しません。 •タイマー 1 ～ 7 が同じ時間のときは、より番号が若いタイマーの設定が優先されます。 •「曜日」が「1 回だけ」の設定で同時刻のタイマーがある場合は、タイマー番号の小さいものだけが実行されます。（他の「1 回だけ」のタイマーは、「解除」になりません。） **おはようタイマーで外部入力を使用する場合には** •あらかじめ外部入力機器の電源を入れ、視聴できる状態にしておいてください。外部入力機器が視聴できる状態になっていなければ映像や音声は出ませんのでご注意ください。 **おはようタイマーのモードが「サンライズ」または「サンライズ（アイコン）」の場合は** •電源が入ってしばらくは映像が出力されません。 **お出かけになるときなど、おはようタイマーで自動的に電源を入れたくない場合は** •「電源ボタン設定」（⇒ **28** ページ）を「モード 2」に設定して本体の電源ボタンで電源を切るか、おはようタイマーを解除してください。
	おやすみタイマー		•無操作オフや無信号オフ（⇒ **30** ページ）が設定されている場合は、一番早く切れるタイマーで電源が切れます。 •おやすみタイマーのモードの設定が「サンセット」の状態で、「時刻（時）」「時刻（分）」を 10 分以内の時刻に設定した場合、徐々に画面を暗くし、音量を下げる動作は行いません。 •おやすみタイマーとおはようタイマーを同じ時刻に設定すると、本機が電源待機中のときはおはようタイマーが作動し、本機が動作中のときはおやすみタイマーが作動します。 •テレビに全画面表示している番組表の操作中や、一部のホームメニューの操作中は、指定時刻になっても操作を優先しているため、電源が切れません。操作を終了したあとに、画面左下にアイコンや文字が表示され、電源が切れます。 •本機の内蔵時計が正しくないときは、「時刻設定」（⇒ **28** ページ）が必要です。
	オフタイマー		•「この番組の最後まで」は、番組延長には対応していません。 •「この番組の最後まで」は、オフタイマーを設定したときの番組終了時刻で設定されます。 •設定後にチャンネルを切り換えても終了時刻は変更されません。 •番組終了の約 2 分前を過ぎてからオフタイマーの設定をした場合は、「この番組の最後まで」の代わりに「次の番組の最後まで」が表示されます。 •番組の終了時刻の情報が取得できない場合は、「この番組の最後まで」または「次の番組の最後まで」は選べません。
	外部端子設定	ヘッドホン	**「モード 2」の音量調整について** •スピーカーの音量調整はリモコンで行います。 •ヘッドホンの音量調整は本体の音量（＋／－）ボタンで行います。 •リモコンの消音ボタンを押しても、ヘッドホンの音量は「0」になりません。
	画面表示設定	番組名表示	•2 画面で PinP 表示（⇒ **13** ページ）しているときは、子画面に次番組は表示されません。
		文字スーパー表示	•「しない」に設定しても、放送局が強制的に表示する文字スーパーがあります。
		画面位置	•インターネット閲覧時は設定できません。
ホーム ツール ツール	お知らせタイマー		•消音中は、残り時間が「00 分 00 秒」になっても電子音が鳴りません。 •インターネット・ホームネットワーク・USB メモリーの写真や音楽を視聴しているときなどは、残り時間が「00 分 00 秒」になっても電子音を鳴らさずに画面の表示だけでお知らせすることがあります。 **次のようなときは、電子音が止まります。** •リモコンのボタンを押したとき •視聴予約、録画予約が開始されたとき •本機の電源を「切」にしたとき

文字を入力する（ソフトウェアキーボード）

- 本機の操作で文字の入力が必要なときは、画面に表示されるソフトウェアキーボードを使って入力します。

入力できる文字の一覧

- 文字種によって入力できる文字が変わります。

ひらがな（全角）

① あいうえお ぁぃぅぇぉ	② かきくけこ	③ さしすせそ
④ たちつてと っ	⑤ なにぬねの	⑥ はひふへほ
⑦ まみむめも	⑧ やゆよ ゃゅょ	⑨ らりるれろ
⑩ 、。？！ ・「 」	⑪ わをんーゎ （スペース）	⑫ ゛ ゜

カタカナ（全角）

① アイウエオ ァィゥェォ	② カキクケコ	③ サシスセソ
④ タチツテト ッ	⑤ ナニヌネノ	⑥ ハヒフヘホ
⑦ マミムメモ	⑧ ヤユヨ ャュョ	⑨ ラリルレロ
⑩ 、。？！ ・「 」	⑪ ワヲンーヮ （スペース）	⑫ ゛ ゜

半角英字／全角英字

① . / @ : -	② abcABC	③ defDEF
④ ghiGHI	⑤ jklJKL	⑥ mnoMNO
⑦ pqrsPQRS	⑧ tuvTUV	⑨ wxyzWXYZ
⑩ ？！（ ）＿	⑪ （スペース）	⑫ 全角／半角切換

半角数字／全角数字

① 1	② 2	③ 3
④ 4	⑤ 5	⑥ 6
⑦ 7	⑧ 8	⑨ 9
⑩ 0		⑫ 全角／半角切換

半角記号

① . / @	② , : ;	③ _ - ¥
④ $ % &	⑤ # + *	⑥ = | ~
⑦ " ' ^ '	⑧ ( ) < >	⑨ [ ] { }
⑩ ? !	⑪ （スペース）	⑫ 全角／半角切換

全角記号

① ． ／ ＠ ・	② ， ： ；	③ ＿ － ￥
④ ＄ ％ ＆	⑤ ＃ ＋ ＊	⑥ ＝ ｜ ￣ ～
⑦ ” ‘ ＾ ’	⑧ （ ） ＜ ＞	⑨ ［ ］ ｛ ｝
⑩ ？ ！	⑪ （スペース）	⑫ 全角／半角切換

区点コード

- 本機に搭載する全ての全角文字が入力できます。
- 区点入力では、カーソルボタンで文字を選択し、決定することで文字を入力します。

16 進数

- 文字種から「16 進数」は選べません。16 進数専用の入力欄を選んだときに入力できます。

① 1	② 2	③ 3
④ 4	⑤ 5	⑥ 6
⑦ 7	⑧ 8	⑨ 9
⑩ 0	⑪ abc	⑫ def :

◇**おしらせ**◇

- 入力欄によって、選択できる文字種が変わります。
- 入力欄によっては、英字、数字、記号の全角と半角の切り換えができない場合があります。
- インターネットにおいて、区点コード入力で一部の記号文字を入力すると、文字化けなど正しく処理されない場合があります。

文字を入力する
⇒ **39 ～ 40** ページ

文字を入力する

◇**おしらせ**◇

文字入力の制限について

- ホームメニューから「設定」ー「🧰（機能切換）」ー「外部端子設定」ー「入力表示」で「編集」を選んだときや、ホームメニューから「設定」ー「🔧（視聴準備）」ー「通信（インターネット）設定」ー「LAN 設定」で LAN 設定の文字入力をするときは、予測変換されません。
- 1 つの入力欄に入力できる文字数は全角で 128 文字まで、半角で 256 文字までです。
- 文字が入力されている欄を選んだときは、入力済みの文字が入力欄に表示されます。
  このとき、全角で 128 文字（半角の場合は 256 文字）を超える文字は削除されます。

予測変換候補を工場出荷時状態に戻すには

①緑ボタンを繰り返し押し、文字種から「機能」を選ぶ
②数字ボタン（チャンネルボタン）の「3」を押して「履歴削除」を選ぶ
- 予測変換候補が工場出荷時状態に戻ります。

予測変換機能を停止するには

①緑ボタンを繰り返し押し、文字種から「機能」を選ぶ
②数字ボタン（チャンネルボタン）の「4」を押して「予測 OFF」を選ぶ
- 予測変換機能が停止し予測候補の表示欄が消えます。予測変換機能を使用するときは上記と同じ手順で「予測 ON」を選んでください。

「お早うございます」と入力する手順例

1 文字を入力できる欄を選ぶ

で選び
を押す

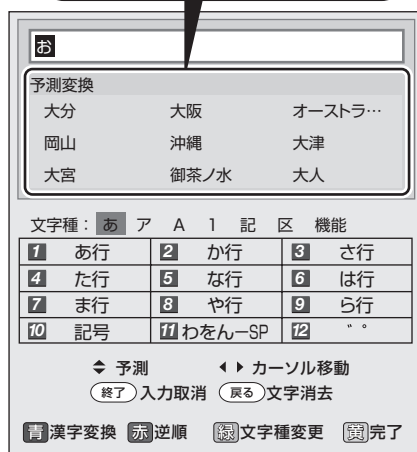
- ソフトウェアキーボードが表示されます。

文字を選ぶ

2 「お」を入力する

あ ./ 1 を押す

- 1 を 5 回押します。
  押すたびに、文字が「あ」「い」「う」「え」「お」と変わっていきます。

入力中の文字に応じた予測変換候補が表示されます。
画面は一例です。予測変換候補は保存された履歴によって変わります。

予測変換候補に入力したい文字が表示されている場合

- 次の手順で語を入力します。
  ①下カーソルボタンを押す
  ②上下左右カーソルボタンで入力したい語を選び、決定ボタンを押す

入力中に文字を消去する場合

- 左右カーソルボタンでカーソルを移動し、戻るボタンを押します。

3 「は」を入力する

を押す

- 6 を 1 回押します。

次のページに続く

もくじ／ご注意／各部のなまえ
ふだんの使いかた
メニュー操作
USBメモリー
USBハードディスク
インターネット／ホームネットワーク
ファミリンクで使う／レコーダーやパソコンをつなぐ
個別設定／放送の種類について
故障かな？／エラーメッセージ
お役立ち情報（仕様や索引）
English Guide

4 同じようにして「よ」、「う」を入力する

「゛」（濁点）や「゜」（半濁点）を入力するときは

- [12] を押します。押すたびに「゛」と「゜」が切り換わります。

「っ」などの小さい文字を入力するときは

- [4] を 6 回押すと「っ」が入力されます。
  「ぉ」の場合は、[1] を 10 回押します。

スペースを入力するときは

- [11] を 6 回押します。

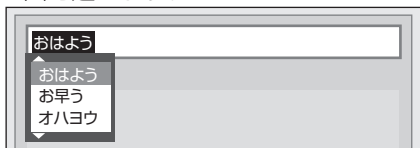
入力できる文字は

- 「入力できる文字の一覧」（⇒ **38** ページ）をご覧ください。

漢字やカタカナに変換する

5 入力欄の文字を変換する

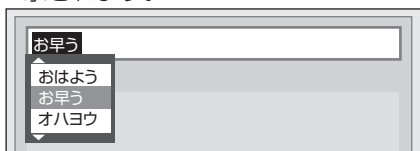
青 を2回押す

- 変換候補が表示されます。
- 左右カーソルボタンで変換する範囲を選べます。

6 入力したい文字を選ぶ

で選び 決定 を押す

- ここでは「お早う」を選びます。
- 次に続く文字の予測変換候補が表示されます。

7 続けて文字を入力する

[1] ～ [12] で入力

- ここでは「ございます」と入力します。

- 変換せずに続けて文字を入力する場合は、決定 を押します。

8 入力中の文字を確定する

黄 を押す

- **39** ページの手順 **1** で選んだ入力欄に文字が入力されます。

改行するとき

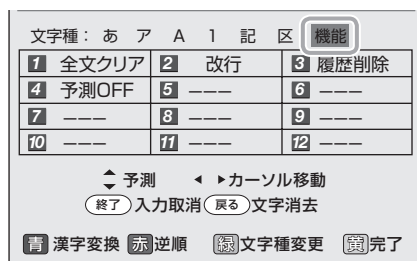
1 改行したい箇所を選ぶ

2 繰り返し押し、文字種から「機能」を選ぶ

緑 を押す

文字種： あ ア A 1 記 区 機能

1 全文クリア	2 改行	3 履歴削除
4 予測OFF	5 –––	6 –––
7 –––	8 –––	9 –––
10 –––	11 –––	12 –––

予測　カーソル移動
終了 入力取消　戻る 文字消去
青 漢字変換　赤 逆順　緑 文字種変更　黄 完了

3 「改行」を選ぶ

[2] を押す

- 「↵」が入力されます。黄 を押して文字を確定すると、「↵」の部分で改行されます。

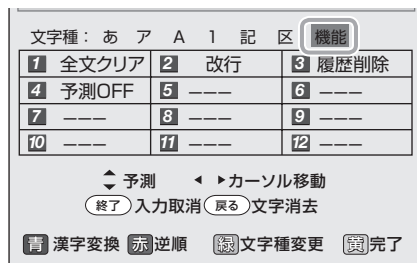
◇**おしらせ**◇

- 入力欄によっては、改行できない場合があります。また、改行以降の文字が消去される場合があります。
- 改行マークは、全角 1 文字として数えられます。

入力中の文字を全て消去するとき

- 入力欄に表示されている文字をまとめて消去することができます。

1 繰り返し押し、文字種から「機能」を選ぶ

緑 を押す

2 「全文クリア」を選ぶ

[1] を押す

- 入力中の文字が全て消えます。
- 続けて文字を入力するときは、緑 を押して、文字種を選んでください。

USB メモリーの写真や音楽を楽しむ

• USB メモリーに保存された写真や音楽を楽しむことができます。

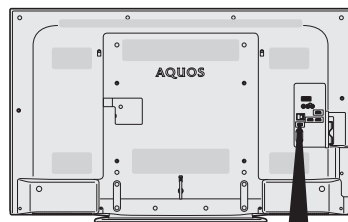
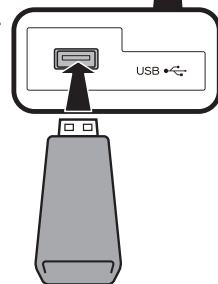
本機で使える USB メモリーとデータ形式について

USB メモリー機器	USB メモリー、USB カードリーダー（マスストレージクラス）
ファイルシステム	FAT、FAT32
写真ファイル形式	JPEG(.jpg)(DCF2.0 準拠)
音楽ファイル形式	MP3(.mp3) ビットレート：32k ～ 320kbps サンプリング周波数：32k, 44.1k, 48kHz

◇**おしらせ**◇

- USB メモリー機器によっては、記録されたデータを本機で認識できないことがあります。
- 80 文字を超えるファイル名は表示されないことがあります。
- ファイル転送中、スライドショー中、画面切り換え中、または入力切換メニューの「USB メディア」を終了する前に、USB メモリーやメモリーカードを本機から取り外さないでください。
- USB メモリーの抜き差しを繰り返さないでください。
- カードリーダーを使う場合は、必ず先にメモリーカードをカードリーダーに挿入し、その後カードリーダーを本機に接続してください。
- USB メモリーを本機の USB メモリー端子に接続する場合、USB 延長ケーブルは使わないでください。USB 延長ケーブルを使うと、本機が正しく機能しないことがあります。
- USB メモリーは、本体の電源を切ってから取り外してください。
- プログレッシブ形式の jpeg ファイルはサポートされていません。
- USB1.1 の装置に入っているファイルは、正しく再生されないことがあります。
- 推奨 USB ハブ以外を使って接続した場合、操作は保証されません。
- 「選局効果」（⇒ **33** ページ）が「する」に設定されている場合、USB メディア画面から「写真を見る」「音楽を聴く」を選択したとき、USB メディア画面に戻るときに動きの効果が付きます。
- 録画予約の準備中、USB-HDD の録画実行中は、USB 機能は利用できません。
- USB 機能を利用中は、画面サイズの切り換え（⇒ **150** ページ）ができません。

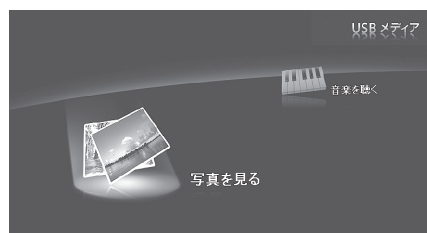
写真や音楽を楽しむ

1 **写真や音楽が記録されたUSBメモリーを、本機のUSB端子に接続する**

• USB メディア画面が表示されます。

USB メディア画面の例

もくじ／ご注意／各部のなまえ
ふだんの使いかた
メニュー操作
USBメモリー
USBハードディスク
インターネット／ホームネットワーク
ファミリンクで使う／レコーダーやパソコンをつなぐ
個別設定／放送の種類について
故障かな？／エラーメッセージ
お役立ち情報（仕様や索引）
English Guide

次のページに続く

2 USBメディア画面が表示されていることを確認する

入力切換 を押す

- USB メディア画面が表示されないときは、入力切換ボタンで入力切換メニューを表示し、入力切換ボタンまたは上下カーソルボタンで「USB メディア」を選びます。手順**4**に進みます。
- カードリーダーなどを使って複数のメモリーカードをつないでいる場合は、使用するメモリーカードを選ぶ必要があります。手順 **3** に進みます。

3 再生したいデータが入っているメモリーカードを選ぶ

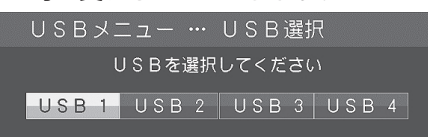
赤 を押す

で選び 決定 を押す

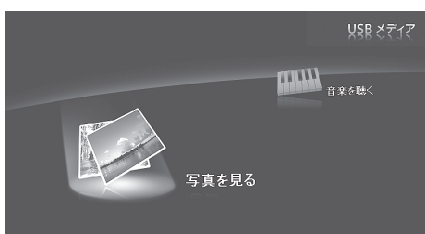
- 最大 16 個の USB が表示されます。
- 本機の電源を「切」にしたあとでもう一度電源を「入」にしたとき、カードリーダーに割り当てられた各メモリーカードのスロットの番号が変わることがあります。

ＵＳＢメニュー … ＵＳＢ選択

ＵＳＢを選択してください

ＵＳＢ１　ＵＳＢ２　ＵＳＢ３　ＵＳＢ４

4 「写真を見る」または「音楽を聴く」を選ぶ

で選び 決定 を押す

USB メディア画面の例

5 再生したいデータが入っているフォルダを選ぶ

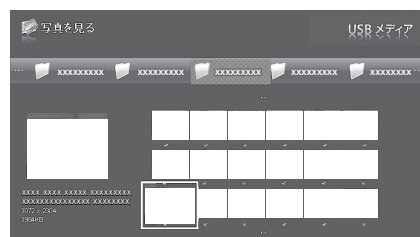
で選び 決定 を押す

6 再生したい写真や音楽を選ぶ

で選び

を押す

- 音楽の操作については⇒ **44** ページをご覧ください。
- 写真の操作については⇒**下記**をご覧ください。

サムネイル（写真一覧画面）の例

サムネイル表示中の操作について

ボタン	説明
決定	• 選んだ写真を表示します。 • 「個別の写真を表示中の操作について」（⇒ **43** ページ）をご覧ください。
決定（上下左右カーソル）	• 写真や、希望の項目を選びます。
戻る	• 一つ前の手順に戻ります。
青	• スライドショーを開始します。 • 「スライドショー表示中の操作について」（⇒ **43** ページ）をご覧ください。
赤	• USB メニュー画面を表示します。 • 「スライドショーの設定をする」（⇒ **43** ページ）をご覧ください。
緑	• スライドショー再生時に再生する BGM 一覧画面を表示します。
黄	• スライドショー再生を行う画像の選択／選択解除を行います。現在選択されている画像に対してのみ有効です。

◇**おしらせ**◇

- 無効な写真ファイルがあると、そのファイルに対して×マークが表示されます。
- 画面の左下に、ファイル名、撮影データ※、ピクセルサイズ、ファイルサイズが表示されます。

※EXIF ファイル形式の写真のみ、撮影データを表示できます。

個別の写真を表示中の操作について

ボタン	説明
決定（上下左右）	• 同じフォルダ内の前の写真に戻ったり、次の写真に進んだりします。
戻る	• サムネイル選択画面に戻ります。
青	• ガイダンスの表示／非表示を切り換えます。
緑	• 写真を左に 90°回転します。
黄	• 写真を右に 90°回転します。

◇**おしらせ**◇

• 写真の回転は一時的に選択された項目に対して適用されるだけであり、設定内容は保存されません。

スライドショー表示中の操作について

• サムネイル選択画面に表示される写真は、スライドショーとして表示されます。

ボタン	説明
戻る	• サムネイル選択画面に戻ります。
青	• ガイダンスの表示／非表示を切り換えます。
赤	• USB メニュー画面を表示します。

◇**おしらせ**◇

• スライドショー表示中は、選択された BGM が繰り返し再生されます。

• スライドショーは、戻るを押すまで続きます。

スライドショーの設定をする

1 **サムネイル表示中に、赤ボタンを押す**

• USB メニュー画面が表示されます。

2 **項目を選び、設定する**

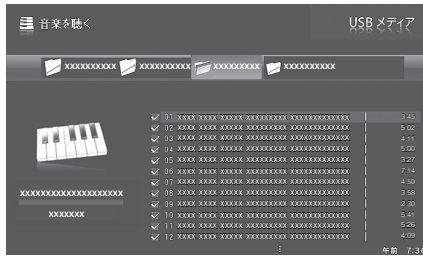
USBメニュー

スライドショー間隔	[約10秒]
スライドショー効果	[しない]
スライドショーBGM選択へ	
スライドショー全選択	
スライドショー全解除	

設定のための項目

項目	内容
スライドショー間隔	• 次の写真に切り換わる時間を変えられます。「約 5 秒」「約 10 秒」「約 30 秒」「約 60 秒」から選びます。 • 設定後に「青」ボタンを押すと、スライドショーが開始されます。
スライドショー効果	• 写真が切り換わるときに動きの効果を付けられます。「しない」「フェード」「ブラインド」「チェッカー」「ワイプ」から選びます。 • 設定後に「青」ボタンを押すと、スライドショーが開始されます。
スライドショー全選択	• 表示される画像を設定します。フォルダ内のすべての画像にチェックマークが付きます。 • 設定後に「青」ボタンを押すと、スライドショーが開始されます。
スライドショー全解除	• 画像の選択を解除します。フォルダ内のすべての画像からチェックマークが外れます。 • 設定後に「青」ボタンを押すと、スライドショーが開始されます。
スライドショーBGM選択へ	• スライドショーの表示中に流れる音楽を、音楽選択画面で選べます。（音楽選択画面での操作⇒ **44** ページ） • 音楽を選び、「黄」ボタンを押します。（選んだ音楽にチェックマークが付きます。） • 設定後に「戻る」ボタンを何度か押してサムネイル表示画面に戻り、「青」ボタンを押すと、スライドショーが開始されます。 • フォルダ内のすべての音楽を BGM にしたいときは、音楽選択画面で「赤」ボタンを押した後、「BGM 全選択」を選びます。BGM を解除したいときは、音楽選択画面で「赤」ボタンを押した後、「BGM 全解除」を選びます。

次のページに続く

音楽の操作について

音楽一覧画面の例

- 音楽一覧画面の表示中は、以下の操作ができます。

ボタン	説明
決定	• 選んだ音楽を再生します。 • 再生中に押すと、曲の先頭に戻って再生します。
決定（上下左右ボタン）	• 音楽を選びます。
戻る	• 一つ前の手順に戻ります。
青	• 音楽の再生を停止します。
赤	• USB メニュー画面を表示します。 • ⇒**右記**をご覧ください。
緑	• 音楽を再生／一時停止します。
黄	• 自動再生をする音楽の選択／選択解除を行います。現在選択されている音楽に対してのみ有効です。チェックマークが付いていない音楽は、自動再生中にスキップされます。

◇**おしらせ**◇

- 無効な音楽ファイルがあると、そのファイルに対して×マークが表示されます。
- 可変ビットレートのファイルでは、表示される再生時間が実際の再生時間と異なることがあります。また、プログレスバーの表示が途中でも、再生が終わることがあります。

フォルダ内の音楽の自動再生を設定／解除する

- 音楽の自動再生を設定または解除します。

1 **音楽一覧表示中に赤ボタンを押し、USB メニュー画面を表示する**

2 **「自動再生全選択」または「自動再生全解除」を選び、決定する**

USBメニュー
自動再生全選択
自動再生全解除

- 「自動再生全選択」を選ぶと、フォルダ内のすべての音楽ファイルにチェックマークが付きます。
- 「自動再生全解除」を選ぶと、フォルダ内のすべての音楽ファイルからチェックマークが外れます。

3 **「緑」ボタンを押し、音楽を再生する**

USB ハードディスク（市販品）の準備をする

USB ハードディスクを使ってできること

- ○ 地上デジタル放送の録画と再生
- ○ BS デジタル放送の録画と再生
- ○ 110 度 CS デジタル放送の録画と再生
- ○ 地上デジタル放送の裏番組録画

USB ハードディスクを使ってできないこと

- × BS デジタル放送／ 110 度 CS デジタル放送の裏番組録画
- × BS デジタル放送／ 110 度 CS デジタル放送録画中のデータ放送視聴
- × YouTube 動画の録画
- × IPTV（ひかり TV）の録画
- × アクトビラ ビデオの録画
- × BD プレーヤーなど、本機につないだ外部入力映像の録画
- × 本機以外につないで録画した USB ハードディスクの再生
- × 本機につないで録画した USB ハードディスクの映像を、他の映像機器で再生・複製
- × 同時接続した USB ハードディスクへの同時録画
- × 同時接続した異なる USB ハードディスクを使った同時録画再生
- × 録画中の YouTube 動画の視聴
- × 録画中の IPTV（ひかり TV）の視聴
- × 録画中のアクトビラ ビデオの視聴
- × 録画中の USB メディアの再生
- × 録画中のホームネットワーク再生
- × 録画中のインターネット
- × 録画中の yahoo 動画再生

◇おしらせ◇

ハードディスクを使うときの制限

- テレビの電源を入れてから、USB ハードディスクの録画・再生が行えるようになるまでしばらく時間が掛かります。

◆ 重　要 ◆

- USB ハードディスクに付属の取扱説明書は、必ずお読みください。

ハードディスクの制約

- 本機でハードディスクに録画した番組は本機でしか再生できません。他のテレビやパソコンでは再生できません。
- 修理等でテレビ内部の主要部品を交換したり、テレビ本体を交換したときは、ハードディスクに録画した番組が再生できなくなります。

USB ハードディスクを使う前に

USBハードディスクと本機をつなぐ

- ⇒ **46** ページ

▼

初めて使うUSBハードディスクの場合は、「機器の初期化」をする

- ⇒ **47** ページ

▼

「USB-HDDの選択」で使用するUSBハードディスクを選ぶ

- ⇒ **48** ページ
- 本機につないでいる USB ハードディスクの中から、録画・再生の操作をしたいものを選びます。

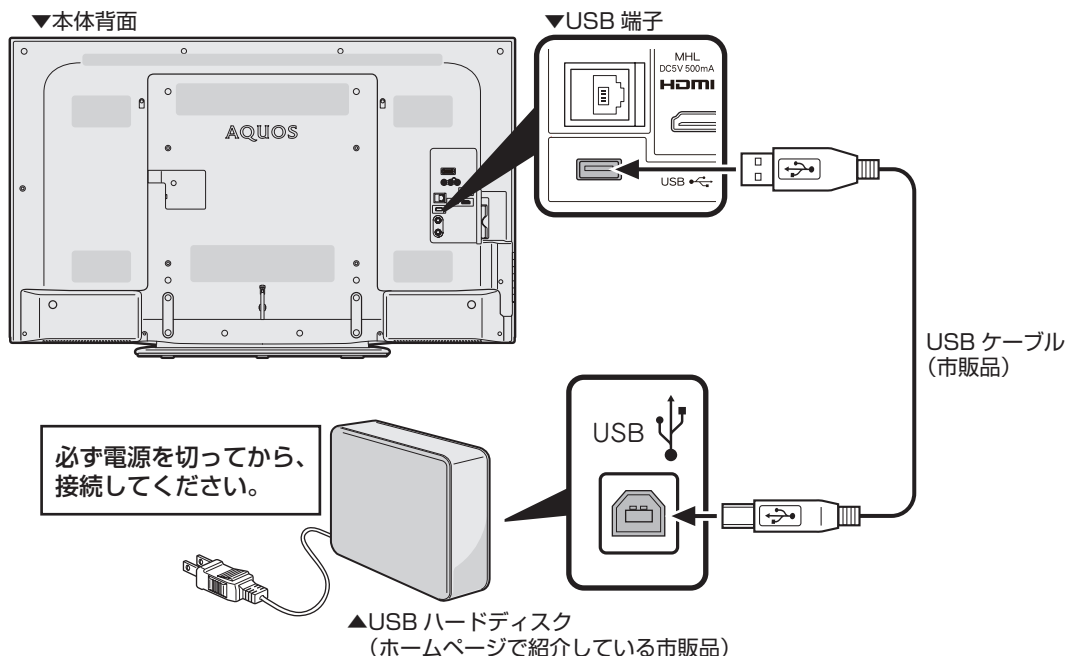
▼

必要に応じて省エネの設定をする

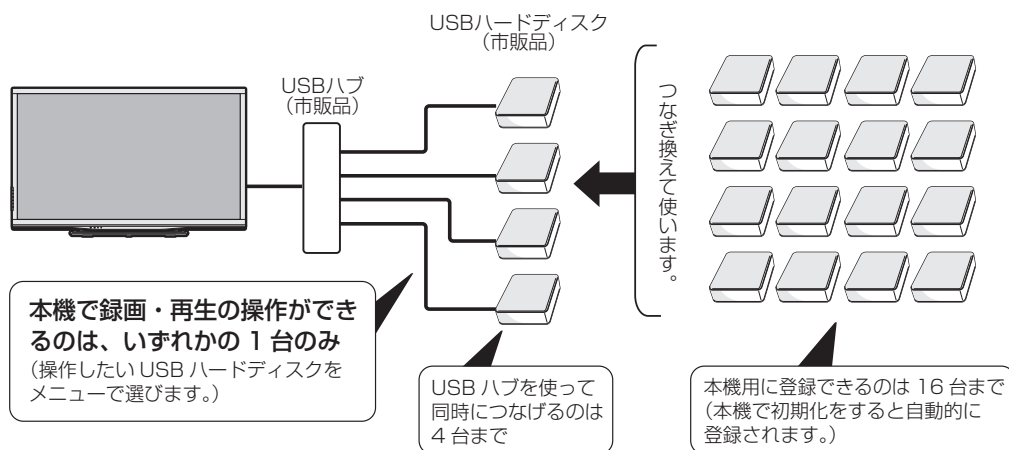
- ⇒ **48** ページ

- 録画の操作
  ⇒ **52** ページをご覧ください。
- 再生の操作
  ⇒ **57** ページをご覧ください。

USB ハードディスクをつなぐ

・本機の USB 端子に、市販の USB ハードディスクをつなぎます。
・市販の USB ケーブルで接続します。
・USB ハードディスクを取りはずすときは ⇒ **48** ページをご覧ください。

動作確認済 USB ハードディスク・USB ハブについて

・ホームページやカタログなどでご確認ください。
　ホームページ　http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html

市販の USB ハブを使って、USB ハードディスクを複数台つなぐ場合には

USB ハブ経由で USB ハードディスクを接続する場合は

・USB ハブは、USB2.0 以降を使用してください。
・USB ハブに AC アダプターを使用し、電源供給をする必要があります。
・USB ハブから USB ハブを接続しての使用はできません。
・USB ハブの種類によっては、USB ハブの中で複数の接続をしているものもあり、使用できない場合があります。

USB ハードディスクを初めて接続するときは

USB ハードディスクを初期化する

・USB ハードディスクを使って録画するためには、使うための準備「初期化」が必要です。
・初期化するときは、USB 端子と USB ハードディスクを 1 台だけ直接接続してください。
・登録できる USB ハードディスクは 16 台です。

◆ 重 要 ◆

・レコーダーやパソコンで録画した USB ハードディスクをつないだときも、本機で使うためには、初期化が必要です。

USB ハードディスクを初期化すると、録画済みのタイトルがすべて消去されます。

・消去されたタイトルは元に戻せませんので、USB ハードディスクの内容をよく確認してください。

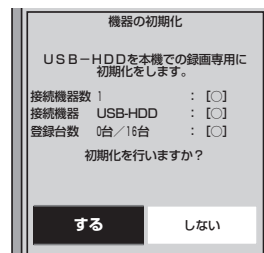
1 USBハードディスクと本機の準備をする

・USB ハードディスクをつなぎます。
(⇒ **46** ページ)
・USB ハードディスクと本機の電源を入れます。

2 ホームメニューを表示して、「設定」–「(視聴準備)」–「USB-HDD設定」を選び、決定する

3 「機器の初期化」を選ぶ

4 「する」を選び、決定する

5 「する」を選び、決定する

◆機器の初期化

6 「する」を選び、決定する

・初期化が実行されます。
・初期化中に USB ハードディスクを取り外したり、USB ハードディスクや本機の電源を切らないでください。故障の原因となります。

7 「確認」で決定する

8 録画先に使う録画機器を選ぶ

・リモコンの録画ボタンを押したときの録画先として使う録画機器を選択します。

◇おしらせ◇

・USB 機器を 2 台以上接続している場合は、初期化できません。
・初期化の完了後は、初期化した USB-HDD が自動的に選択されます。
・初期化の操作が済んだら、必要に応じて「オートチャプター設定」をしておくと便利です。
(⇒ **49** ページ)

使用するUSBハードディスクを選択する

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「（視聴準備）」－「USB-HDD設定」を選び、決定する

2 「USB-HDDの選択」を選び、決定する

3 表示された機器から1台を選択する
- 接続が1台の場合でも選択されていない場合がありますので、選択してください。

USBハードディスクの名前を変えたいときは

1 ホームメニューから「設定」－「（視聴準備）」－「USB-HDD設定」を選ぶ

2 「機器名の変更」を選ぶ

3 名前を変更したいUSBハードディスクを選び、「機器名を変更しますか？」で「する」を選ぶ

4 ソフトウェアキーボード(⇒**38**ページ)で、新しい名前を入力する

5 「この名称に変更しますか？」で「する」を選ぶ

USBハードディスクを省エネで使うには

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「（視聴準備）」－「USB-HDD設定」を選び、決定する

2 「省エネ設定」を選び、決定する

3 「する」を選び、決定する

USBハードディスクを取りはずすときは

- 本機やUSBハードディスクの電源を切ったり、接続しているUSBケーブルを抜く前に、必ずホームメニューから「機器の取りはずし」を行ってください。

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「（視聴準備）」－「USB-HDD設定」を選び、決定する

2 「機器の取りはずし」を選び、決定する

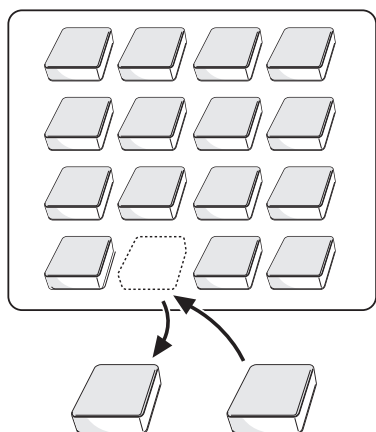
3 「取りはずす」で決定する
- 取りはずし中を知らせるメッセージが表示されます。
- 取りはずしが完了するまで、USBハードディスクの電源を切ったり、接続しているUSBケーブルを抜いたりしないでください。故障の原因となります。

4 「確認」で決定する

5 本機とUSBハードディスクの電源を切り、接続しているUSBケーブルを抜く

USB ハードディスクを解除するときは

- 本機は USB ハードディスクを 16 台まで登録できます。（本機で初期化をすると、自動的に登録されます。）
- 本機に登録していない USB ハードディスクでは、録画・再生できません。
- 17 台目以降の USB ハードディスクを登録する場合には、登録済みの USB ハードディスクのいずれかを登録解除してください。

本機で登録できる USB ハードディスクは 16 台まで

①本機で使わなくなった USB ハードディスクを **登録解除**

②本機で使いたい新たな USB ハードディスクを **初期化（登録）**

1 **ホームメニューを表示して、「設定」－「（視聴準備）」－「USB-HDD設定」を選び、決定する**

2 **「機器の登録解除」を選び、決定する**

3 **登録を解除したいUSBハードディスクを選び、決定する**

- 画面の指示に従って操作をします。

4 **「解除する」を選び、決定する**

5 **もう一度「解除する」を選び、決定する**

- この USB ハードディスクを、本機の登録リストから削除します。登録を解除すると、この USB ハードディスクに録画されている番組は、再生できなくなります。

6 **「確認」で決定する**

- 17 台目の USB ハードディスクを本機で使えるように初期化してください。（⇒**47** ページ）

録画するときに自動的に入るチャプター間隔を変えたいときは（オートチャプター設定）

- 録画中に自動的に記録されるチャプターマークの間隔を設定します。
- 録画した番組にチャプターマークが記録されていると、再生したい場面を探すときに便利です。

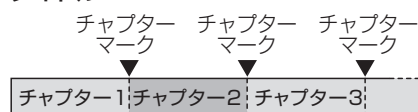
項目	内容
しない	• チャプターが入りません。
10 分	• 10 分間隔でチャプターが入ります。
15 分	• 15 分間隔でチャプターが入ります。
30 分	• 30 分間隔でチャプターが入ります。

チャプターマークとチャプターとは

- チャプターマークは、本にたとえるとしおりのようなものです。
- タイトル（録画した番組）にしおりをはさむように、チャプターマークを記録してタイトルを区切ります。
- チャプターマークで区切られた部分がチャプターになります。チャプターは、本にたとえると章のようなものです。

タイトル

チャプターマーク　チャプターマーク　チャプターマーク

チャプター1	チャプター2	チャプター3	

◇おしらせ◇

- 本機にはチャプターマークを任意の場所に記録する機能はありません。

1 **ホームメニューを表示して、「設定」－「（視聴準備）」－「USB-HDD設定」を選び、決定する**

2 **「オートチャプター設定」を選び、決定する**

3 **「しない」「10分」「15分」「30分」のいずれかを選び、決定する**

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

録画をする前にお読みください

◆ 重 要 ◆

- 「電源ボタン設定」(⇒ **28** ページ)を「モード 2」に変えた場合は、録画予約の待機中や録画実行中に本体の電源ボタンを押して「電源オフ」にしないでください。

  本体の電源をオフにすると…
  - 予約が実行されません。
  - 録画が停止します。
  - 録画中、または録画予約中に電源を切ったり停電になった場合には、録画中の内容が損なわれることがあります。

録画できる番組数と予約件数について

- 1 台の USB ハードディスクには、最大 999 番組まで録画可能です。(USB ハードディスクに空き容量がない場合は、録画できません。)
- 最大 32 件までの予約が可能です。

録画・録画予約実行中の制限について

- 予約が実行中(録画中)の場合は、実行中の予約と時刻の重なる新たな予約は設定できません。すぐに予約を設定したいときは、録画予約を停止させてから設定してください。
- BS/CS 録画中に BS/CS の視聴は録画しているチャンネルのみ視聴可能です。

HDD(ハードディスク)について

- パソコンと同様に、HDD(ハードディスク)は、壊れやすい要因を多分に含んだ特殊な部品です。録画(録音)内容の長期的な保管場所ではありません。あくまでも一時的な保管場所としてご使用ください。
- アンテナの受信状態が悪くなったときは、自動で録画が停止する場合があります。

万一何らかの不具合により、録画されなかった場合の内容の補償、録画されたデータの損失、ならびにこれらに関するその他の直接・間接の損害につきましては、当社は責任を負いません。あらかじめご了承ください。

B-CAS(ビーキャス)カードについて

- 録画・録画予約をするときは、本機に B-CAS カードが入っていることを確認してください。

著作権について

- あなたが録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 番組により、録画・録音が制限されている場合などがあります。

ダビング 10 について

- デジタル放送番組の全てがダビング 10 になるわけではありません。

コピー制御信号について

- デジタル放送のほとんどの番組には録画可能回数を制限するコピー制御信号が加えられています。この信号とともに録画された番組は、他のデジタル機器へのダビングができません。詳しくは録画機器の取扱説明書をご覧になるか、下記へお問い合わせください。

コピー制御お問合せセンター

電話:0570-000-288
(午前 10 時～午後 8 時)

(2012 年 12 月現在)

◆ 重 要 ◆

- 有料放送を視聴・予約する場合は、有料放送を行うプラットフォームや放送局とあらかじめ受信契約を済ませてください。契約していない有料放送は、番組表から予約しても予約どおりに視聴や録画ができません。

録画モードと録画時間

USB ハードディスクの容量と録画時間について

・録画時間は、お使いになる USB ハードディスクの容量によって異なります。以下は、録画時間の目安です。

「標準 (DR)」で録画する場合

容量＼放送の種類	BS・110度CS ハイビジョン放送	地上デジタル ハイビジョン放送	標準放送
3TB	約260時間	約360時間	約520時間
2TB	約174時間	約240時間	約347時間
1.5TB	約130時間	約180時間	約260時間
1TB	約87時間	約120時間	約173時間
750GB	約65時間	約90時間	約130時間
640GB	約56時間	約77時間	約111時間
500GB	約44時間	約60時間	約87時間
400GB	約35時間	約48時間	約70時間
320GB	約28時間	約39時間	約56時間
300GB	約26時間	約36時間	約52時間
250GB	約22時間	約31時間	約43時間

◇おしらせ◇

録画時間の算出について（録画時間は目安です）

・録画時間は、BS/110度CS デジタルハイビジョン（HD）放送は約 24Mbps、地上デジタルハイビジョン（HD）放送は約 17Mbps、標準（SD）放送は約 12Mbps で算出しています。
・録画時間はその性能を保証するものではなく、実際の録画では入力映像の画質、その他の条件により**上記**の時間を下回るまたは上回る場合があります。
・録画した時間と空き時間の合計は、録画時間と一致しない場合があります。
・「標準 (DR)」を選ぶと、放送と同じ画質で録画できます。

「長時間（TR)」での録画について

・本機で USB ハードディスクにデジタル放送を録画するときは､録画モード（録画時間）「標準（DR)」または「長時間（TR)」が選べます。
・録画モード「長時間（TR)」は、長時間録画対応の USB ハードディスクでのみ使用可能です。
・長時間対応ハードディスクをご使用の場合は「長時間 (TR)」を選んで録画すると、録画できる時間が「標準（DR)」に比べて長くなります。「長時間（TR)」で録画する場合の録画時間については該当製品のメーカーホームページ等をご確認ください。
・ビデオテープの標準モードや３倍モードのように録画モードを指定して録画ができます。
・スポーツや歌番組など動きの激しい番組を録画する場合は、なるべく「標準（DR)」画質で録画していただくことをおすすめします。「長時間（TR)」の長時間録画モードで録画するとブロック状に見える画像ノイズが目立つ場合があります。

USB ハードディスクに デジタル放送の番組を録画・録画予約する

録画先として USB-HDD を選ぶ

・リモコンの録画ボタンを押したときに録画先とする機器を選ぶ設定です。

1 **ホームメニューを表示して、「設定」－「（視聴準備）」－「録画機器選択」を選び、決定する**

2 **録画する機器としてUSB-HDDを選び、決定する**

・操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。
・「録画時に選択する」を選んだときは、録画を押したときに録画する機器を選ぶ画面が表示されます。

放送中の番組を録画する

・視聴中のデジタル放送の番組が終わるまで録画し、番組が終了すると自動で録画が停止します。番組の延長にも対応します。

◆ 重 要 ◆
・録画の前に、USB ハードディスクを使ってできること／できないことをご覧ください。（⇒ **45** ページ）
・録画の前に「録画をする前にお読みください」（⇒ **50** ページ）をご覧ください。
・USB ハードディスクの録画可能時間がなくなると録画を停止します。
・録画 で USB ハードディスクに録画するには、事前に「録画機器選択」（⇒**上記**）で「USB-HDD」または「録画時に選択する」を選択しておく必要があります。

1 **録画したい放送の種類を選ぶ**

・地上 BS CS のいずれかを押して選びます。
・「チャイルドロック」(⇒ **31** ページ）をかけているとき、「地デジ限定設定」（⇒ **31** ページ）を「有効」にしているときなど、放送を切り換えることができない場合があります。

2 **選局ボタンで録画したいチャンネルを選ぶ**

3 **録画をはじめる**

録画 を押す

・テレビ画面に録画開始のメッセージが表示されます。

録画開始のメッセージ例

この番組を最後まで録画します（最大6時間）。
ただし、予約があれば、予約を優先します。

・視聴中の番組が終わるより前に録画を止める場合は、録画停止 を押し、メッセージに従って操作してください。

◇おしらせ◇
・デジタル放送は B-CAS カードを挿入しないと視聴・録画できません。
・アンテナの受信状態が悪くなったときは、自動で録画が停止する場合があります。
・「電源ボタン設定」（⇒ **28** ページ）を「モード 2」に変えた場合は、録画予約の待機中や録画実行中に本体の電源ボタンを押して「電源オフ」にしないでください。

本体の電源をオフにすると…
・予約が実行されません。
・録画が停止します

番組情報が取得できていないチャンネルを録画したときは
・デジタル放送で番組表が表示されていないチャンネルを録画したときは、録画停止 を押すまで、最大 6 時間録画が続きます。
・録画終了時刻を設定したいときは⇒**次**ページをご覧ください。

録画終了時刻の設定をやり直すには

1 **録画ボタンを押し､｢録画の終了時刻を変更する｣を選ぶ**

2 **録画中に､終了時刻設定画面を表示させ､決定する**

3 **終了時刻を選び､決定する(1分単位)**

- 終了時刻を選ぶときに、上下カーソルボタンを長押しすると、10 分単位で選べるようになります。(カーソルボタンを押し直すと、1 分単位の動作に戻ります。)

「録画中の番組の最後まで」を設定したとき

- 設定した時点での番組情報に従い、番組終了時刻が設定されます。
- 番組表で番組情報が取得されていないときは、「録画中の番組の最後まで」は設定できません。

録画終了時刻を設定したとき

- 録画終了時刻が設定されます。設定した時刻になると、自動的に録画が停止します。

設定を解除したいとき

- 「設定しない（解除)」を選びます。

「設定しない（解除)」を選んだとき

- 「設定しない（解除)」を選んだときは、録画停止 ■ またはファミリンクパネルを表示して「録画停止」ボタンを選ぶまで最大 6 時間録画が続きます。USB ハードディスクの録画可能時間がなくなると録画を停止します。

録画を途中で停止したいとき

- 「いますぐ録画停止」を選びます。
- 続いて「する」を選ぶと、録画が停止します。

デジタル放送の番組を録画予約する

- 番組表を使って､番組を録画予約できます。
- 7 日先まで録画予約できます。
- 予約の最大件数は、32 番組です。

◆ 重 要 ◆

- 録画予約の前に､USB ハードディスクを使ってできること／できないことをご覧ください。(⇒ **45** ページ)
- 録画予約の前に「録画をする前にお読みください」(⇒ **50** ページ) をご覧ください。

◇おしらせ◇

- 番組の頭切れ防止のため、設定した時刻より数秒早く録画が始まります。
- 時間の連続した予約設定をしている場合、次番組は先頭から録画を開始するため、前番組は予約の終了時刻よりも早く録画が終わります。
- 既存の予約と日時が重なっている場合は、メッセージが表示されます。画面に従って操作をやり直してください。

1 **録画したい放送の種類を選ぶ**

- 地上 BS CS のいずれかを押して選びます。
- 「チャイルドロック」(⇒ **31** ページ) をかけているとき、「地デジ限定設定」(⇒ **31** ページ) を「有効」にしているときなど、放送を切り換えることができない場合があります。

2 **番組表ボタンを押し､番組表を表示する**

3 **予約したい番組を選ぶ**

- 日時やジャンルを指定して番組を選ぶこともできます。(⇒ **12** ページ)

4 **決定ボタンを押し､予約する**

- 「この番組を USB-HDD 録画予約しました｣というメッセージが表示されます。
- 予約した番組には、予約アイコンが表示されます。

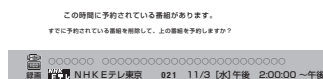
録画禁止の番組を予約したときは

- 視聴予約となります。

USB ハードディスクが接続されていないときは

- 予約方法の選択画面が表示されます。

次のような画面が表示されたときは

新たな予約をとりやめます
予約しない

- ⇒ **141** ページをご覧ください。

5 **番組表ボタンを押し､番組表を消す**

- 予約が設定されると、本体の TIMER/REC（タイマー／録画）ランプが点灯します。

録画予約の取り消し・変更をしたいときは

- ⇒ **55** ページをご覧ください。

◇おしらせ◇

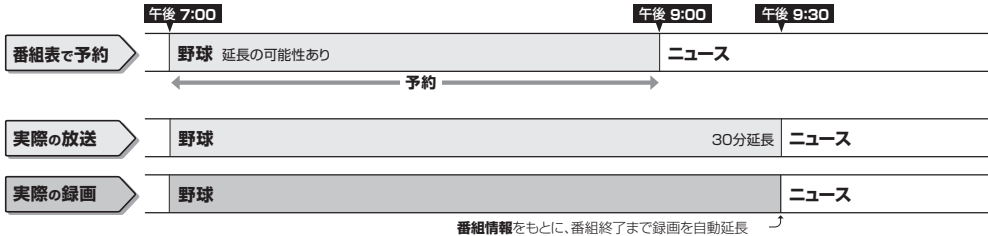
- 「電源ボタン設定」(⇒ **28** ページ) を「モード 2」に変えた場合は、録画予約の待機中や録画実行中に本体の電源ボタンを押して「電源オフ」にしないでください。

本体の電源をオフにすると…

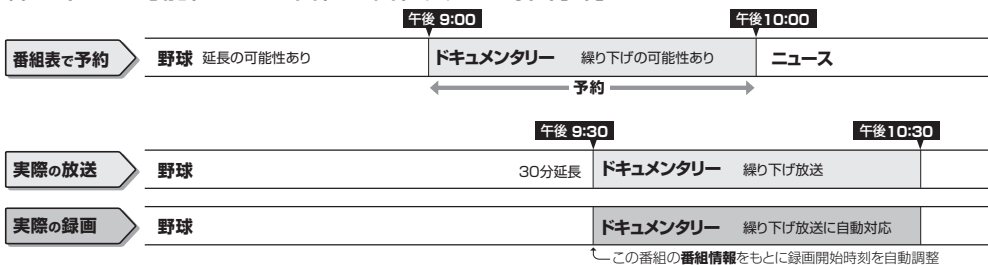
- 予約が実行されません。
- 録画が停止します

デジタル放送の延長予約について

- スポーツ中継など終了時刻が延長される可能性のある番組を番組表で予約すると、録画予約の終了時刻が自動で延長されます。
- 番組が延長されても番組の最後まで録画を行います。
- 前の番組が延長されて録画予約した番組が繰り下げられたときでも、録画予約した番組の最後まで録画します。

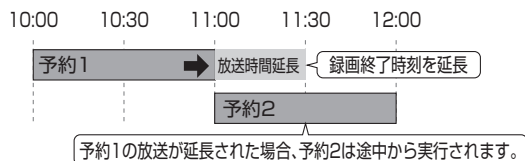
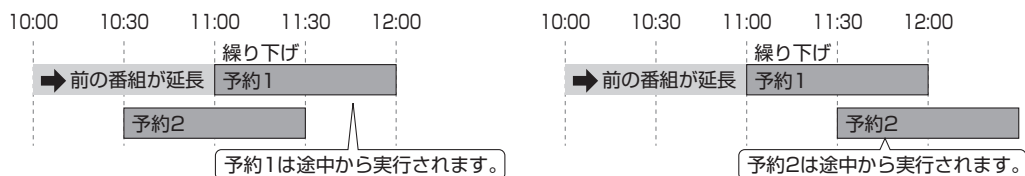
スポーツ番組を番組表から録画予約したとき

◇おしらせ◇

- 予約した番組が延長したり、繰り下げとなった予約と他のチャンネルの予約が重なったときは、重なった予約が実行されない、または番組の途中から予約が実行されます。
- 開始時刻、終了時刻を変更したときは、設定をやり直した時刻で録画されます。（延長に対応しなくなります。）

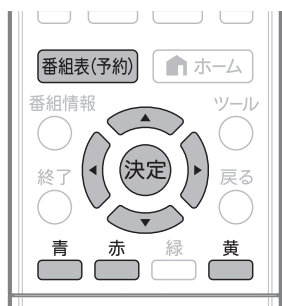
繰り下げの可能性がある番組を番組表から録画予約したとき

◇おしらせ◇

- 開始時刻、終了時刻を変更したときは、設定をやり直した時刻で録画されます。（延長に対応しなくなります。）
- 放送される番組情報によっては、延長に対応できない場合もあります。

番組の延長により、予約が重なった場合

- 先に始まった録画予約が終了したあと、次の重なった録画予約を途中から実行します。

- 番組が繰り下げられた場合も同様です。

- 番組が繰り下げられた結果、開始時刻が他の予約と同じ時刻になった場合は、繰り下げられた予約が取り消されます。

予約の確認・取り消し・変更をするには

- 日時を指定して予約したいときや、視聴予約やファミリンク予約（⇒ **101** ページ）、繰り返し予約は、この手順で予約方法を変更します。

1 番組表を表示して、予約リストを表示する

番組表(予約) を押し

青 を押す

2 確認・取り消し・変更をしたい予約を選ぶ

で選び 決定 を押す

- 決定 で予約されている番組を選びます。
- 決定 でページ 1 ～ 8 のいずれかを選びます。
- 予約リストに表示されるアイコン、番組表に表示されるアイコンについては、**11** ページをご覧ください。
- 予約の設定内容が表示され、確認できます。
- 確認のみで終了する場合は、「変更しない」を選び、番組表または予約リストに戻ります。

◆ 予約を取り消したいとき

3 ①「取り消す」を選ぶ ②「する」を選ぶ

で選び 決定 を押す

［地上Dテレビ番組の予約設定］

予約方法：USB-HDD録画
録画モード：標準(DR)
11月 3日［火］午後 2：00～午後 3：00

この番組の予約を取り消しますか？

する　しない

- 予約が取り消されます。

◆ 予約の設定を変更するとき

つづき

変更したい項目の内容を選ぶ

決定 で項目を
決定 で内容を選ぶ

この番組は予約されています。
予約の取り消し、または予約の内容を変更してください。

番組指定：放送開始時間や終了時間が変更されたときに自動的に対応して録画します。
日時指定：開始時刻／終了時刻を指定して録画します。

録画日	開始時刻	終了時刻	予約方法	録画モード
11/3 ［火］	午後 2 ： 00 ～	午後 3 ： 00	USB-HDD録画	標準(DR)

残時間： ** 時間 ** 分　今回の予約時間： 1 時間 00 分　番組指定予約

設定項目	設定内容
予約方法	• USB-HDD 録画※1 • ファミリンク録画※1※2※3 • 視聴予約
録画日	• 日付※4　• 月ー土 • 毎週○曜※4　• 月ー金 • 毎日
開始時刻／終了時刻	（「番組指定予約」の場合、変更できません。）※4
録画モード※5	• 標準 (DR)　• 長時間 (TR)※6

※１ USB ハードディスクやファミリンク機器が認識できないときは、表示されません。
※２ 予約方法がファミリンク録画の場合、「録画日」「開始時刻」「終了時刻」は変更できません。
※３ 「日時指定予約」の場合、ファミリンク録画には設定できません。
※４ 黄（日時指定予約）を押して変更する場合、「録画日」「開始時刻」「終了時刻」も変更できます。「録画日」は、「今日の日付」～「28 日後の日付」や「毎週○曜日」も選べます。
※５ 録画時間については、⇒ **51** ページをご覧ください。
※６ 「長時間 (TR)」は、長時間録画対応の USB ハードディスクでのみ使用可能です。

4 「変更する」を選び、決定する

5 「戻る」で決定する

［地上Dテレビ番組の予約設定］

予約方法：USB-HDD録画
録画モード：標準(DR)
11月 4日［水］午後 4：00～午後 5：00

この番組をUSB-HDD録画予約しました。

戻る

繰り返し予約をする

1 **53ページの手順1～手順4で繰り返し予約をしたい番組を選び、録画予約を設定する**

2 **上下左右カーソルボタンでもう一度同じ番組を選び、決定する**

- 予約リストからも選べます。

3 **①左右カーソルボタンで「録画日」を選ぶ**

②上下カーソルボタンで「毎週○曜」「毎日」「月－土」「月－金」のいずれかを選ぶ

この番組は予約されています。
予約の取り消し、または予約の内容を変更してください。

番組指定：放送開始時間や終了時間が変更されたときに自動的に対応して録画します。
日時指定：開始時刻／終了時刻を指定して録画します。

録画日	開始時刻	終了時刻	予約方法	録画モード
▲ 毎日 ▼ [火]	午後 2 ： 00 ～	午後 3 ： 00	USB-HDD録画	標準(DR)

残時間：　** 時間 ** 分　　今回の予約時間：　1 時間 00 分　　番組指定予約

- 青 を押すと、「毎日予約」に設定できます。
- 赤 を押すと、「毎週予約」に設定できます。
- 黄 を押すと、「日時指定予約」※1に切り換えられます。

4 **左右カーソルボタンで「変更する」を選び、決定する**

5 **「戻る」で決定する**

予約方法：USB-HDD録画
毎日 午後 2：00～午後 3：00

この番組をUSB-HDD録画予約しました。

戻る

※1 「日時指定予約」の場合は、指定した時間で繰り返し予約を行います。
「番組指定予約」の場合は、初回予約時の前後3時間以内で放送が開始される類似した番組名の番組を検索し、録画します。繰り返し予約が他の予約の時間と重なる場合、繰り返し予約は自動的に「休止」となり、録画予約は行われません。また、該当する番組がない場合は、日時指定予約で録画されます。

◇**おしらせ**◇

- 「日時指定予約」に変更した番組を再度変更するときは、一度予約を取り消してから新しい予約の設定をやり直してください。

USB ハードディスクに録画した番組を再生する

録画リストについて

- 録画リストの表示中に 赤 を押すと、録画リストが全画面で表示されます。
- 録画リストを表示して、USB ハードディスクに録画した番組を一覧表示できます。一覧表示した番組は、小画面で映像を確認しながら選べます。

録画リストの画面例

録画リスト（全画面）の画面例

録画リスト（全画面）でできること

- 録画リスト（全画面）で「ツール」ボタンを押すと、機能メニューが表示されます。
- 機能メニューから、次のことができます。

録画した番組の消去（⇒ **62** ～ **63** ページ）
録画した番組のタイトル名の変更（⇒ **63** ページ）
録画した番組の保護（⇒ **61** ～ **62** ページ）
録画した番組の繰り返し予約（⇒ **61** ページ）

◇おしらせ◇

- 本機以外につないで録画した USB ハードディスクの再生はできません。
- 「USB-HDD の選択」で選ばれた USB ハードディスクに録画した番組が表示されます。

録画リストは、以下の操作でも表示されます。

- ホームメニューから「チャンネル」－「入力切換」－「USB-HDD」を選んで切り換えることもできます。
- ファミリンクパネルを表示して、ファミリンクパネルから選ぶこともできます。⇒ **64** ページ

録画リストから再生する

1 録画リスト を押す

録画リストを表示する

2 で選び 決定 を押す

再生したい番組を選ぶ

- 1ページに10タイトルまで表示されます。11タイトル以上あるときは、(決定)を押すと、ページを切り換えて表示できます。

- 選んだ番組の再生が始まります。
- リモコンの「1」～「10」のボタンを押しても選べます。

◇おしらせ◇

USBハードディスクの録画リストが表示されない場合は

- USBハードディスクが正しく接続されていることを確認してからツールボタンを押して、ツールメニューから「再生機器選択」を選びます。「USB-HDD」を選び、録画リストボタンを押してください。

録画リスト（全画面）のタイトル表示について

- 録画リストを全画面にした場合は、1ページに12タイトルまで表示されます。13タイトル以上あるときは、(決定)を押すと、ページを切り換えて表示できます。
- ホームメニューから「チャンネル」－「USB-HDD」でも再生できます。

ホームメニューから再生する

1 **ホームメニューを表示して、「チャンネル」を選ぶ**

2 **左右カーソルボタンで「USB-HDD」を選ぶ**

USB-HDDを選んだときの画面例

3 **上下カーソルボタンで再生したい番組を選ぶ**

- 9タイトル以上あるときは、黄 または 緑 を押すとページを切り換えて表示できます。
- 選んだ番組の再生が始まります。
- 再生を止めるときは、停止 ■ を押します。

- 手順**3**で、1 ～ 8 のボタンを押しても選べます。

◇おしらせ◇

- 表示の順番を変更する場合は、赤 を押して録画リストで並び換えをしてください。(⇒**61**ページ)

録画中の番組を再生する（追いかけ再生）

- 録画、録画予約に対応しています。

1 **録画中に、リモコンふた内の再生ボタンを押す**

2 **追いかけ再生を選ぶ**

再生時の操作

停止ボタンを押して途中で止めた場合の再生について

- つづけて再生するときは、[再生 ○▶○] を押します。

フタを開けたところ

停止した場所からつづけて再生するときは

1 **を押す**

- つづきから再生できます。

はじめから再生するときは

1 録画リストを表示する

- ⇒ **58** ページ

2 録画リスト(全画面)を表示する

赤 を押す

3 再生したいタイトルを選ぶ

決定 で選ぶ

USB-HDD　検索結果

ぼくとテディのはるやすみ	XX/XX[X]	午
午後のドラマ「普通の人たち」	XX/XX[X]	午
おとうさんもいっしょ	XX/XX[X]	午
きょうのお献立	XX/XX[X]	午
金曜ドラマスペクタクル「執事探偵５」	XX/XX[X]	午
奥様あなたのTVショッピング	XX/XX[X]	午
どうぶつ抱腹絶倒	XX/XX[X]	午
笑ってよ　いいとも	XX/XX[X]	午
SLAP×STICK	XX/XX[X]	午
朝ビバ！	XX/XX[X]	午
情報アリーナ特等席	XX/XX[X]	午
連続時代劇「大奥24時」	XX/XX[X]	午

⋮

4 最初から再生する

赤 を押す

- 選んだタイトルがはじめから再生されます。

再生中に設定をする（視聴メニュー）

- 再生しながら、再生情報を確認したり、リピート再生が行えます。

1

で選び

を押す

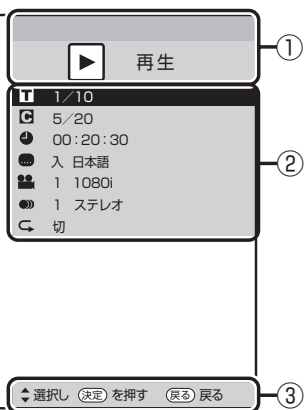
再生中にファミリンクパネルを表示して、「視聴メニュー」を選ぶ

- ファミリンクパネル⇒ **64** ページ

2

で選び

を押す

設定項目を選ぶ

①再生状態表示
　動作状態やディスクの種類
②設定項目（⇒**右記**）
③操作ガイド表示

3

で選び

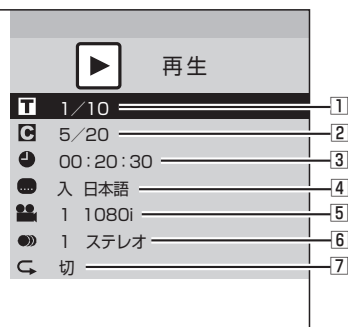
を押す

設定する（⇒**右記**）

- 「戻る」ボタンまたは「終了」ボタンを押して、終了する。

◇**おしらせ**◇

- アングルや字幕などの表示が「－－」と表示される場合は、そのタイトルに選択できるアングルや字幕が記録されていません。

画面表示と各設定項目について

- 再生しているタイトルによって選択できる項目は異なります。

1 タイトル（トラック）選択
- 再生中のタイトル番号が表示されます。番号を選択してタイトルの頭出しができます。

2 チャプター再生表示
- 再生中のチャプター番号が表示されます。番号を選択してチャプターの頭出しができます。

3 再生経過時間表示
- 選択したタイトルのはじめから現在までの経過時間が表示されます。時間を指定して頭出しができます。

4 字幕言語再生表示
- 再生中のタイトルに字幕がある場合に、切り換えられます。

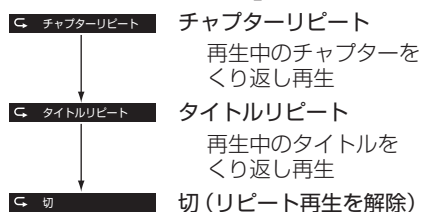
5 映像切換
- 再生中のタイトルに複数の映像がある場合に、切り換えられます。

6 音声切換
- 再生中のタイトルに複数の音声がある場合に、切り換えられます。

7 リピート再生
- 再生中のタイトルまたはチャプターを、くり返し再生できます。
- 上下カーソルボタンで「チャプターリピート」または「タイトルリピート」を選び、決定します。

チャプターリピート
再生中のチャプターをくり返し再生

タイトルリピート
再生中のタイトルをくり返し再生

切（リピート再生を解除）

- リピート再生を開始します。
- 選択画面に戻るには戻るボタンを押します。

USB ハードディスクに録画した番組の管理

録画リストの一覧表示の並びかたを変えるには

1 録画リストを表示する
- ⇒ **58** ページ

2 赤ボタンを押し、録画リスト(全画面)を表示する

3 青ボタンを押し、「並べ換え」をする

4 「新しい順」「古い順」
「未視聴(新しい順)」「既視聴(古い順)」
「タイトル名順」「保護無し(古い順)」
「データ量多い順」のいずれかを選ぶ
- 並べ換えを行うと、録画リストフォルダの中にあるタイトルが選択した順に並べ換えられます。

録画済みのタイトルを次回も録画予約したいときは(毎週予約)

1 録画リストを表示する
- ⇒ **58** ページ

2 赤ボタンを押し、録画リスト(全画面)を表示する

3 毎週予約したいタイトルを選ぶ

4 「ツール」ボタンを押し、機能メニューを表示する

5 「この番組を毎週予約する」を選ぶ

6 「確認」で決定する

録画予約した内容を取り消し・変更したいときは
- ⇒ **55** ページをご覧ください。

タイトル(録画した番組)が消されないように保護する/保護を解除する

タイトルを 1 つ選んで保護/解除する

1 録画リストを表示して、保護/解除したいタイトルを選ぶ
- 録画リストを表示する⇒ **58** ページ

2 赤ボタンを押し、録画リスト(全画面)を表示する

3 「ツール」ボタンを押し、機能メニューを表示する

4 「タイトル保護/解除」を選び、決定する

5 「1タイトル保護/解除」を選び、決定する

機能メニュー … タイトル保護/解除
タイトルを保護/解除します。
1タイトル保護/解除
選択タイトル保護/解除
全タイトル保護/解除

6 「保護する」または「保護解除」を選び、決定する

保護する　保護解除

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

次のページに続く

複数のタイトルを選んで保護／解除する

1 **録画リストを表示し、赤ボタンを押して録画リスト(全画面)を表示し、ツールボタンを押して機能メニューから「タイトル保護／解除」を選び、決定する**

- 録画リストを表示する⇒ **58** ページ

2 **上下カーソルボタンで「選択タイトル保護／解除」を選び、決定する**

3 **カーソルボタンで保護／解除したいタイトルを選び、決定する**

NEW	🔒	ぼくとテディのはるやすみ	10/10
	🔒	午後のドラマ「普通の人たち」	10/11
	🔒	おとうさんもいっしょ	10/10
	🔒	きょうのお献立	10/13
NEW	🔒	金曜ドラマスペクタクル「執事探偵５」	10/15
NEW	‒	奥様あなたのTVショッピング	10/12
	‒	どうぶつ抱腹絶倒	10/16

- 保護したいタイトルに、「🔒」マークを付けます。
- 最大 20 タイトルまで選べます。
- 保護するタイトルには「🔒」マークが付きます。もう一度選ぶと「🔒」マークが外れます。

4 **赤ボタンを押す**

- 「🔒」マークが付いたタイトルが保護されます。
- 「🔒」マークのない（外した）タイトルは保護されません。

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

タイトルを全て保護／解除する

1 **録画リストを表示し、赤ボタンを押して録画リスト(全画面)を表示し、ツールボタンを押して機能メニューから「タイトル保護／解除」を選び、決定する**

- 録画リストを表示する⇒ **58** ページ

2 **上下カーソルボタンで「全タイトル保護／解除」を選び、決定する**

3 **左右カーソルボタンで「保護する」または「保護解除」を選び、決定する**

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

タイトル（録画した番組）を消去する

◇おしらせ◇

- 消去したタイトルは復活できません。

タイトルを 1 つ選んで消去する

1 **録画リストを表示し、赤ボタンを押して録画リスト(全画面)を表示し、消去したいタイトルを選ぶ**

- 録画リストを表示する⇒ **58** ページ
- 消去したいタイトルに「🔒」マークがついている場合は、先に「タイトル保護／解除」(⇒ **61** ページ)を行ってください。

2 **「ツール」ボタンを押し、機能メニューを表示する**

3 **「消去」を選び、決定する**

4 **「1タイトル消去」を選び、決定する**

5 **「する」を選び、決定する**

- 選んだタイトルが消去されます。
- 消去中は、電源を切らないでください。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

複数のタイトルを選んで消去する

1 **録画リストを表示し、赤ボタンを押して録画リスト(全画面)を表示し、「ツール」ボタンを押して機能メニューから「消去」を選び、決定する**

2 **上下カーソルボタンで「選択タイトル消去」を選び、決定する**

3 **カーソルボタンで消去したいタイトルを選び、決定する**

- 最大 20 タイトルまで選べます。
- 選んだタイトルにはごみ箱マークが付きます。もう一度選ぶとごみ箱が消えます。

4 **赤ボタンを押す**

5 **左右カーソルボタンで「する」を選び、決定する**

- ごみ箱マークを付けたタイトルが消去されます。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

USB ハードディスクのタイトルを全て消去する

1 **録画リストを表示し､赤ボタンを押して録画リスト(全画面)を表示し､機能メニューから｢消去｣を選び､決定する**

2 **上下カーソルボタンで｢全タイトル消去｣を選び､決定する**

3 **左右カーソルボタンで｢する｣を選び､決定する**

- すべてのタイトルが消去されます。（保護されたタイトルは残ります。）
- 消去中は､電源を切らないでください。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

リモコンの録画消去ボタンでタイトルを消去する

- 以下のタイトルが消去できます。
  - USB-HDD から再生中のタイトル
  - USB-HDD の録画リストで選択中のタイトル
  - ホームメニューの「チャンネル」－「USB-HDD」で選択中のタイトル
- 録画消去ボタンを押したあと、(決定)で「する」を選び決定します。

◇**おしらせ**◇

- USB-HDD の再生中に、ホームメニューの「チャンネル」－「USB-HDD」でタイトルを選んで録画消去ボタンを押したときの消去対象は、再生中のタイトルではなく、選択中のタイトルになります。

録画した番組の名前を変更する

1 **録画リストを表示する**

- (録画リスト)を押します。

2 **録画リスト(全画面)を表示する**

- (赤)を押します。

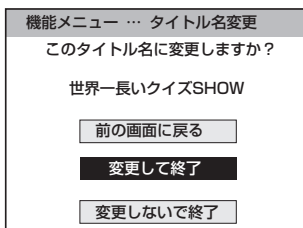
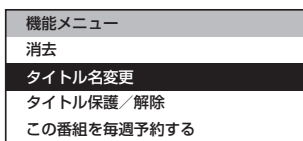
3 **タイトル名を変更したいタイトルを選び､機能メニューを表示する**

- 上下左右カーソルボタンで選び、(ツール)を押します。

4 **｢タイトル名変更｣を選び､決定する**

5 **｢する｣を選び､決定する**

6 **ソフトウェアキーボードを使ってタイトル名を変更する**

7 **｢変更して終了｣を選び､決定する**

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

ファミリンクパネルの操作のしかた

- USB ハードディスクと接続しているときは、ファミリンクパネルで、録画や再生などの操作ができます。

1 ファミリンクパネルを表示する

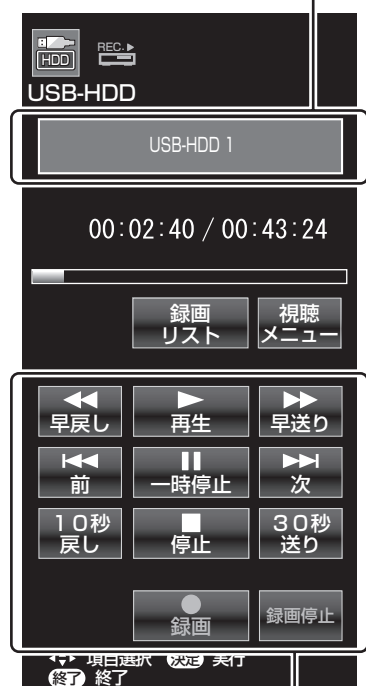
を押す

2 USBハードディスクを選ぶ

で選び 決定 を押す

3 操作したい機能のボタンを選ぶ

で選び 決定 を押す

操作機器名

操作ボタン

双方向通信／インターネット／ホームネットワークの準備をする

- インターネットやホームネットワークを楽しむために、ブロードバンド環境や LAN 環境を用意しましょう。
- 通信端末認定品の市販のルーターなどを使って LAN 接続をしてください。

ブロードバンド環境や LAN 環境を用意すると楽しめること

楽しめること	有料サービスの契約	ブロードバンド環境の用意	LAN環境の用意
AQUOS Cityやインターネットの表示 使いかた ⇒72～77ページ	プロバイダとの契約が必要	必要	必要
アクトビラ ビデオの視聴 使いかた ⇒78～79ページ	プロバイダとの契約が必要	光回線環境が必要	必要
デジタル放送の双方向通信（LAN接続に対応している番組のみ）	プロバイダとの契約が必要	必要	必要
IPTVの視聴 使いかた ⇒80～85ページ	プロバイダとの契約と、IPTVサービスの契約が必要	光回線環境が必要	必要
ホームネットワーク上の写真データの表示･印刷／動画や音楽データの再生 使いかた ⇒86～93ページ	不要	不要	必要

◇おしらせ◇

AQUOS City について

- AQUOS のお客様のためのサイトとして、「AQUOS City」を公開しています。本機の活用のしかたやよくあるお問い合わせなど、お客様にとってお役に立つ情報を提供していますのでご活用ください。

視聴者参加型データ放送の利用について

- 本機には電話回線端子がありませんので、視聴者参加型データ放送など、接続に電話回線が必要となる一部のサービスは、ご利用いただけません。（LAN 接続で利用できるものもあります。）

アクトビラ ビデオ／アクトビラ ビデオ・フルの利用について

- アクトビラ ビデオなどの映像配信サービス（動画）を利用するには、光回線（FTTH）が必要です。
- アクトビラ ビデオ・フルのご利用では､実効速度（常時）12Mbps 以上の光回線（FTTH）が必要です。

IPTV の利用について

- IPTV のご利用には、実効速度（常時）20Mbps 以上の光回線（FTTH）が必要です。

ホームネットワークの利用について

- ホームネットワークを利用するには、LAN 接続が必要です。インターネットプロバイダーとの契約は不要です。

ブロードバンド環境とLAN環境の用意のしかた

1 本機が接続できるブロードバンド環境を確認する

⇒**67〜71**ページ

- 本機をインターネットに接続するには、ブロードバンド環境が必要です。
- IPTVを視聴するためには、IPTVサービス事業者との契約などが必要です。
- ホームネットワーク（⇒**86**ページ）を利用するときは、インターネットプロバイダーへの契約は不要ですが、ブロードバンドルーターの設置と家庭内LANへの本機の接続が必要です。

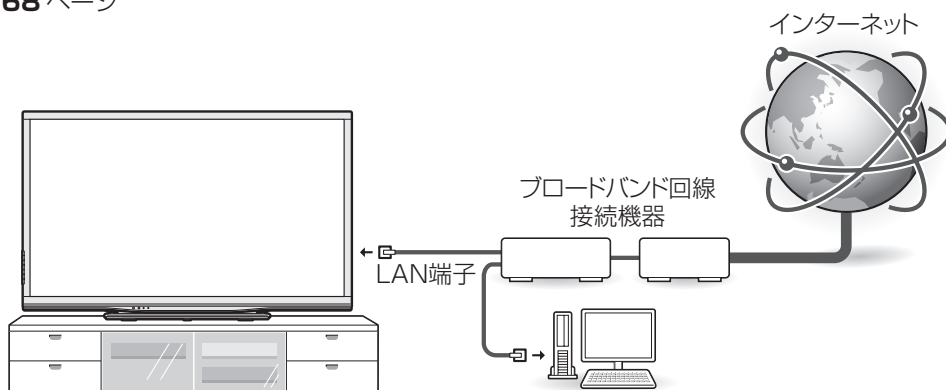
ブロードバンド環境の確認

- ⇒**67**〜**68**ページ

ブロードバンドルーターと本機を接続する

- ⇒**68**ページ

ブロードバンド環境がない場合の用意のしかた

- ⇒**68**ページ

2 AQUOS Cityを表示してみる

⇒**72**ページ

AQUOS Cityの表示内容は一例です。

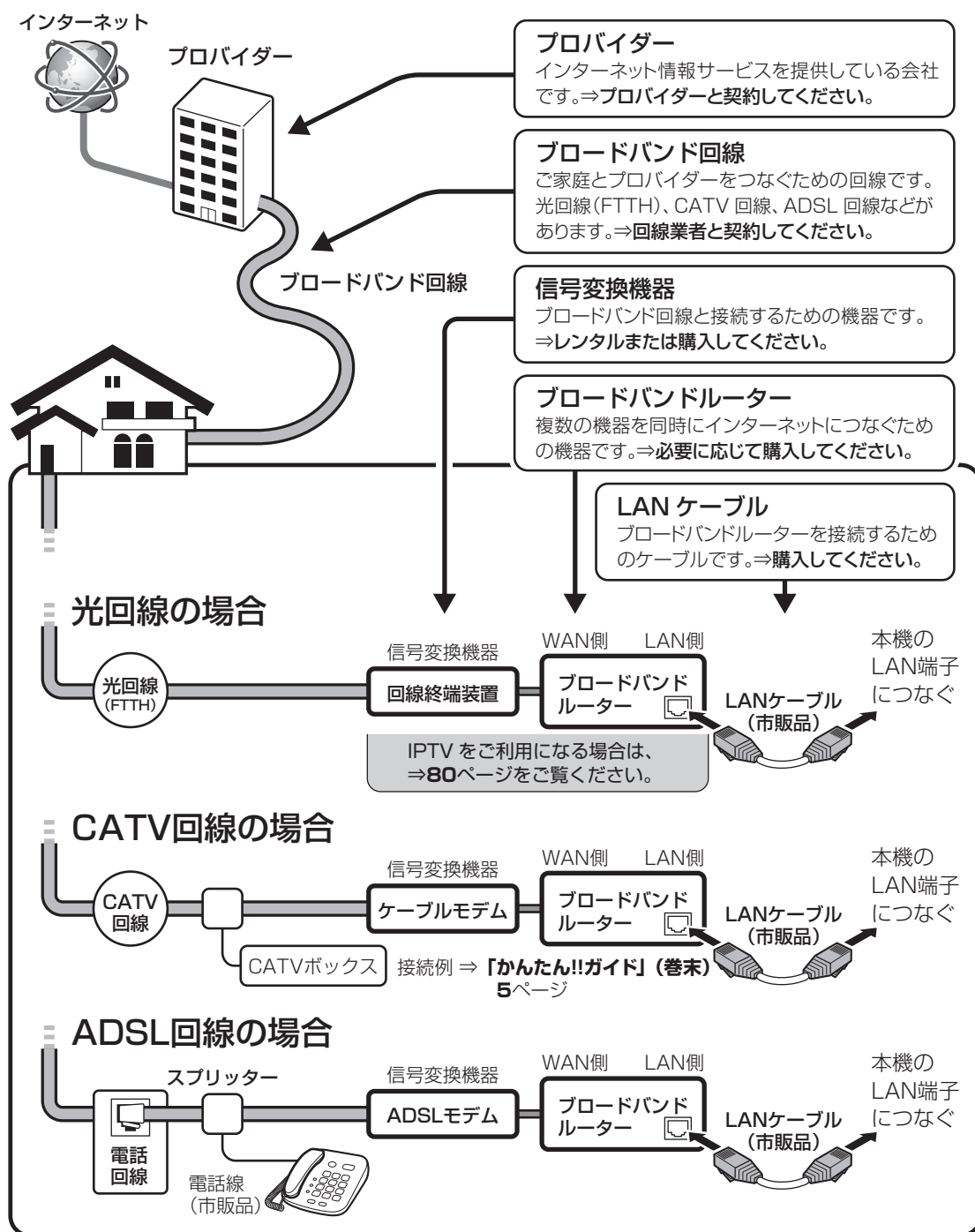
- AQUOS Cityが表示されないときは､「インターネットに接続できない場合は」(⇒**69**ページ）をご覧ください。

3 インターネットへの接続を制限する

- プロキシ形式のフィルタリングサービス(インターネットでの有害情報が含まれる特定ページへのアクセスを禁止する機能)を利用する場合や、プロバイダーなどから指定がある場合は、プロキシサーバー設定を行ってください。（⇒**71**ページ）

ブロードバンド環境を用意する

- 本機をインターネットに接続するためには、ブロードバンド環境が必要です。
- まだブロードバンド環境がない場合は、下記の環境をご用意ください。すでにブロードバンド環境がある場合は、本機をブロードバンドルーターに接続してください。（⇒ **68** ページ）
- IPTV やアクトビラ ビデオなどの映像配信サービス（動画）をご利用いただくには、光回線（FTTH）が必要です。

本機をインターネットに接続するためのブロードバンド環境

次のページに続く

◇**おしらせ**◇

IPTV やアクトビラ ビデオなどの映像配信サービス（動画）をご利用いただくには、光回線（FTTH）が必要です。

映像配信サービス（動画）をご利用いただく場合、本機と回線終端装置は LAN ケーブルで接続してください。LAN ケーブル接続以外では諸条件（ノイズなど）によって通信速度が一時的に低下し、画像の乱れや停止などが発生することがあります。

- IPTV のご利用には、実効速度（常時）20Mbps 以上の光回線（FTTH）が必要です。
- アクトビラ ビデオ・フルのご利用では、実効速度（常時）12Mbps 以上の光回線（FTTH）が必要です。

ブロードバンド環境がない場合

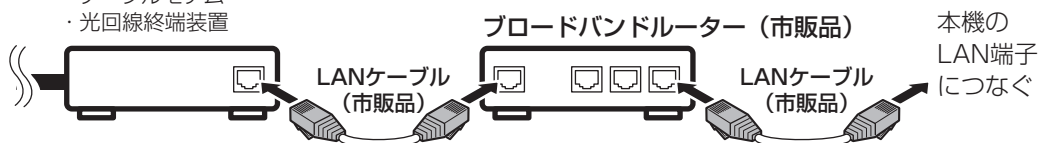
- インターネットの接続サービスを行っている「プロバイダー」や、光回線（FTTH）・CATV 回線・ADSL 回線などを提供している「回線事業者」と契約する必要があります。詳しくはお買いあげの販売店やプロバイダー、回線事業者などにご相談ください。

本機をインターネットに接続するための LAN 環境

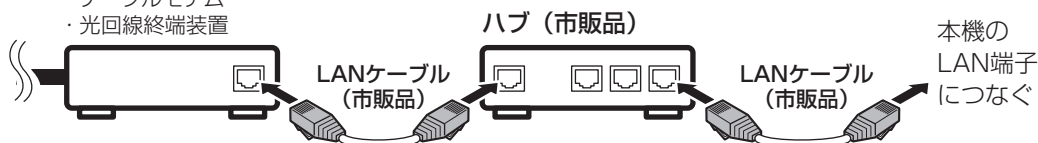
- 本機の LAN 端子とブロードバンドルーターの LAN 側の端子を LAN ケーブルで接続します。

接続例 A

ADSLモデム／ケーブルモデム／光回線終端装置などに、ルーター機能が付いていない場合

信号変換機器（ルーター機能なし）
- ADSLモデム
- ケーブルモデム
- 光回線終端装置

接続例 B

ルーター機能付きADSLモデム／ケーブルモデム／光回線終端装置などに、LAN端子の空きがない場合

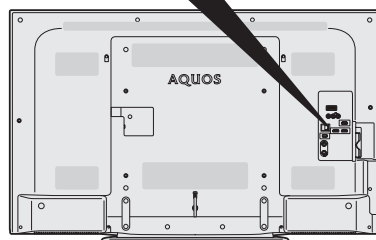
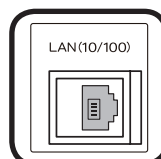
信号変換機器（ルーター機能付き）
- ADSLモデム
- ケーブルモデム
- 光回線終端装置

接続例 C

ルーター機能付きADSLモデム／ケーブルモデム／光回線終端装置などに、LAN端子の空きがある場合

信号変換機器（ルーター機能付き）
- ADSLモデム
- ケーブルモデム
- 光回線終端装置

LANケーブル
（市販品）

本機の
LAN端子
につなぐ

LAN端子
（10BASE-T/100BASE-TX）

インターネットに接続できない場合は

ネットワークの設定を確認する

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「（視聴準備）」－「通信（インターネット）設定」を選び、決定する

2 「LAN設定」を選び、決定する

3 「IPv4設定」を選び、決定する
- 各項目に数値が表示されているか確認します。

各項目が空欄の場合

次のことを確認してください。
- ブロードバンドルーターの電源が入っていますか。ブロードバンドルーターによっては、電源を入れてから使用できるようになるまで少し時間のかかるものもあります。
- ブロードバンドルーターの DHCP 機能（IP アドレスなどを自動で割り当てる機能）が有効になっていますか。DHCP 機能を使用しない場合は、LAN 設定で IP アドレスなどを入力してください。（⇒ **70** ページ）
- 本機の LAN 端子とブロードバンドルーターの LAN 端子が、正しく接続されていますか。

各項目に数値が表示されている場合

LAN 設定を確認しても原因が分からないときは、次のことを確認してください。
- 接続する機器の電源は入っていますか。
- ブロードバンドルーターと、回線終端装置やケーブルモデム、ADSL モデムなどが正しく接続されていますか。
- ブロードバンド回線と、回線終端装置やケーブルモデム、ADSL モデムなどが正しく接続されていますか。
- ブロードバンドルーターのインターネット接続に関する設定は正しく設定されていますか。
- ブロードバンド環境を使ってインターネットを活用しているかたは、パソコンなどがインターネットに接続できるか確認してみてください。
- 「インターネット接続制限」を「しない」に設定してください。（⇒ **71** ページ）

ここに記載している項目をすべて確認しても原因が分からないときは、プロバイダーや回線事業者にお問い合わせください。

ネットワークの設定を変更する

1 **左記の手順1～2を行う**

2 上下カーソルボタンで「IPv4設定」または「IPv6設定」を選び、決定する

IPv4を設定する場合
- 「IPv4 設定」を選んで決定します。

IPv6を設定する場合
- 「IPv6 設定」を選んで決定します。

3 左右カーソルボタンで「変更する」を選び、決定する

4 IPアドレスなどを入力する場合、左右カーソルボタンで「しない」を選び、決定する
- 「IP アドレスなどの入力のしかた」（⇒ **次**ページ）をご覧になり、ブロードバンドルーターの設定に合わせて、IP アドレス、ネットマスク、ゲートウェイを入力し、「次へ」で決定ボタンを押します。

入力する必要がない場合
- 「する」を選び、決定ボタンを押したあと「次へ」で決定ボタンを押します。

次のページに続く

5 **DNSのIPアドレスなどを入力する場合、左右カーソルボタンで「しない」を選び、決定する**

- 「IP アドレスなどの入力のしかた」（⇒**下記**）をご覧になり、プロバイダーから発行された資料をもとに、DNS の IP アドレスを入力し、「次へ」で決定ボタンを押します。
- セカンダリの指定がない場合は、空欄のまま入力を完了してください。

入力する必要がない場合

- 「する」を選び、決定ボタンを押したあと「次へ」で決定ボタンを押します。

6 **「完了」で決定する**

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

IP アドレスなどの入力のしかた

1 **入力欄を選び、決定する**

- ソフトウェアキーボードが表示されます。

2 **文字を入力する**

で入力

- 「0」を入力する場合は 10 を押します。
- IPv6 の場合 11 で「ABC」、12 で「DEF:」を入力できます。

3 **入力した文字を確定する**

黄 を押す

- ソフトウェアキーボード上の文字が入力欄に入力されます。

◇**おしらせ**◇

IP アドレスについて

- TCP/IP ネットワークに接続されたネットワーク機器に個別に割り振られた識別番号です。

ネットマスクについて

- TCP/IP ネットワークを複数の小さなネットワークに分割して識別管理する識別番号です。

ゲートウェイについて

- 異なるネットワークを相互に通信可能にする機器の識別番号です。

プロバイダーから発行された資料で、DNS のアドレスが見つからないとき

- DNS は、ドメインネームサーバーやネームサーバーと記載される場合もあります。

双方向サービス／インターネット／ホームページへの接続を制限する

- いずれの操作も、下記メニューより行います。

1 **ホームメニューから「設定」－「(視聴準備)」－「通信(インターネット)設定」を選ぶ**

2 **「ネットサービス制限設定」を選ぶ**

双方向サービスの利用を制限する

- 双方向サービスを行うと回線の利用料金がかかる場合がありますので、デジタル放送の接続を禁止したいときに便利な設定です。

◇**おしらせ**◇

- この設定には暗証番号の入力が必要です。暗証番号の設定（⇒ **28** ページ）をしていない場合は、先に暗証番号を設定してください。

3 **「デジタル放送接続制限」を選ぶ**

4 **暗証番号を入力する**

5 **「する」を選ぶ**

- デジタル放送の双方向通信の、禁止する／禁止しないを設定できます。

インターネット接続の利用を制限する

- インターネットは回線の利用料金がかかる場合がありますので、接続を禁止したいときに便利な設定です。

◇**おしらせ**◇

- この設定には暗証番号の入力が必要です。暗証番号の設定（⇒ **28** ページ）をしていない場合は、先に暗証番号を設定してください。

3 **「インターネット接続制限」を選ぶ**

4 **暗証番号を入力する**

5 **「する」を選ぶ**

- インターネットの接続を禁止する／禁止しないを設定できます。禁止すると、インターネットの表示や IPTV の視聴ができなくなります。

プロキシ設定機能を利用する（プロキシサーバー設定）

- プロキシ形式のフィルタリングサービス（インターネットでの有害情報が含まれる特定ページへのアクセスを禁止する機能）を利用する場合や、プロバイダーなどから指定がある場合は、プロキシサーバー設定で入力してください。

◇**おしらせ**◇

- この設定には暗証番号の入力が必要です。暗証番号の設定（⇒ **28** ページ）をしていない場合は、先に暗証番号を設定してください。

3 **「プロキシサーバー設定」を選ぶ**

4 **暗証番号を入力する**

5 **「変更する」を選ぶ**

プロキシサーバー(IPv4)を設定します。

[現在の設定]
プロキシサーバー：利用しない

変更する

6 **「する」を選ぶ**

7 **プロキシサーバーのアドレスとポート番号を入力する**

- 各欄を選ぶとソフトウェアキーボードが表示されます。
- 文字を入力し 黄 で確定します。詳しくは「文字を入力する」（⇒ **38** ページ）をご覧ください。

8 **「完了」で決定する**

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

インターネットを楽しむ（AQUOS City）

AQUOS City を表示する

- AQUOSのお客様のためのサイトとして、「AQUOS City」を公開しています。本機の活用のしかたやよくあるお問い合わせなど、お客様にとってお役に立つ情報を提供していますのでご活用ください。

AQUOS City の表示内容は一例です。

- テレビの画面に戻すときは、終了ボタンを押します。インターネットの画面だけを表示しているときは、選局ボタンや放送切換ボタンでも戻せます。

◇**おしらせ**◇

視聴予約しているときは
- 視聴予約した時間になると、予約した番組が表示されます。

接続について
- インターネットに接続するには、ブロードバンド環境が必要です。⇒ **66** ページをご覧になり、接続と設定を行ってください。

AQUOS City が表示されないときは
- 「LAN 接続していません」または、エラーメッセージが表示されます。ホームボタンを押して、テレビの画面に戻してから「インターネットに接続できない場合は」（⇒ **69** ページ）をご覧になって、インターネットに接続してください。

パソコンでインターネットを活用されているお客様へ
- 本機でインターネットを活用するときは、パソコンの一般的なブラウザと比べて動作の異なる場合があります。ご了承ください。
  - ファイルのダウンロードはできません。
  - 表示したページの履歴は表示できません。
  - インターネットボタンを押したあと最初に表示されるページは変更できません。
  - ポップアップウインドウは、別のタブで表示されます。
  - ページによっては、動画や音声が再生されなかったり、文字や画像が正しく表示されなかったりする場合があります。
  - PDF（電子文書）を読み込む機能はありません。
  - メールの送受信機能はありません。

1 「インターネット」メニューを表示する

インターネット を押す

- 表示中に次の操作を行います。

2 インターネットボタンを繰り返し押し、「インターネット」を選ぶ

インターネット を押す

- 上下カーソルボタンでも選べます。

◇**おしらせ**◇

テレビと同時に表示したときは
- テレビの音声が聞こえます。インターネットのページの音声は聞けません。
- テレビのチャンネルは選局ボタンで切り換えてください。数字ボタン（チャンネルボタン）では、選局できません。
- テレビとインターネットの画面の位置は変更できません。
- テレビとインターネットを同時に使用しているときは、ファミリンクでの外部接続の操作はできません。

視聴予約しているときは
- 視聴予約した時間になると、予約した番組が1 画面で表示されます。

インターネットを見る画面（ブラウザ）の使いかた

ブラウザとは
- インターネットのページを表示するためのソフトウェアのことです。

ブラウザで表示されたインターネットのページ例
AQUOS City（表示内容は一例です。）

インターネットのページに番号が割り当てられている場合は、数字ボタン（チャンネルボタン）を押すと、リンク先のページを呼び出せます。

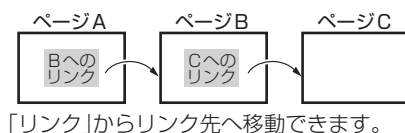
タブ　セキュリティで保護されたページの場合、明るく表示されます。

ページに続きがある場合は、その方向が明るく表示されます。
- 押した方向にリンクのある文字や画像があるときは、先に文字や画像が選ばれます。この場合は数回同じ方向のボタンを押してください。

（決定）でそのページの続きが見られます。

リンクについて
- インターネットのページには、他のページ（サイト）に移動できる「リンク」があります。

ページA（Bへのリンク）→ ページB（Cへのリンク）→ ページC
「リンク」からリンク先へ移動できます。

- 「リンク」の見た目は文章や画像などさまざまですが、選ぶとリンク先へ移動できる働きは同じです。
- 選んでいる項目（リンクや文字入力欄など）が黄色の枠で囲まれます。

 でリンクを選び、

 を押してリンク先のページを呼び出します。

終了 でテレビの画面に戻します。

戻る ○ で一つ前の画面に戻します。

◆ 重　要 ◆
- インターネットの画面を表示しているときに電源プラグが抜けたり、停電などによって電源が切れたりすると、ブックマークや Cookie などの情報が正しく保存されない場合があります。また、ブラウザ動作による不具合があった場合、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

◇おしらせ◇

セキュリティの通知画面が表示されたとき
- 決定ボタンを押すと、画面が消えます。
- この画面は、セキュリティで保護されているページを表示するときや、保護されているページから保護されていないページに切り換わるときに表示されます。
- この画面を表示させるかどうかは、「セキュリティ設定」で設定できます。（⇒ **76** ～ **77** ページ）

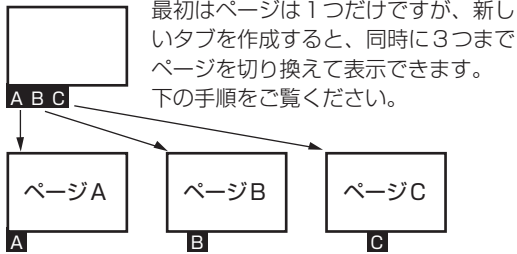
Cookie の確認画面が表示されたとき
- Cookie（⇒ **149** ページ）を受信するかどうかを選び、決定ボタンを押してください。
- この画面を表示させるかどうかは、「Cookie 設定」で設定できます。また、Cookie はまとめて削除することもできます。（⇒ **76** ～ **77** ページ）

ページの中に ☒ が表示されたとき
- ページの読み込みに失敗したか、本機で表示できない形式の画像などに表示されます。ツールバー（⇒ **74** ページ）の ↻（再読み込み）を選んで、ページを表示し直してみてください。

次のページに続く

タブの使いかた

- インターネットのページを、同時に 3 つまで切り換えて表示できます。それぞれのページに「タブ」が付き、「タブ」でページを切り換えます。

最初はページは 1 つだけですが、新しいタブを作成すると、同時に 3 つまでページを切り換えて表示できます。下の手順をご覧ください。

1 タブ操作メニューを表示する

- タブ操作メニューを閉じた状態からリモコンの青で、選択しているリンク先のページを新しいタブで表示することができます。
- すでにタブを 3 つ表示しているときは、一番右のタブに表示されているページが書き換わります。

2 操作したいタブを選び、決定する

3 「このタブを選択」を選び、決定する

ツールバー(便利機能)の使いかた

- ツールバーを使って、ブラウザの操作や設定が行えます。

黄 を押す

ツールバー(便利機能)を表示する

- でボタンを選び決定を押すとその機能が実行されます。
- ツールバー(便利機能)を消したいときは、もう一度黄ボタンを押します。

◇おしらせ◇

- ツールバー(便利機能)を表示中に、インターネットボタンを押して画面を切り換えると、ツールバー(便利機能)が消えます。

URL(アドレス)を入力してページを表示する

- URL を入力してページを表示できます。
- URL(アドレス)は、インターネットの個々のページを家に例えたときの、住所(アドレス)のようなものです。URL は一般的に「http://」から始まります。

◇おしらせ◇

- 「ブラウザ制限」(⇒ **75** ページ)を「する」にすると、(アドレスの入力)は選べません。

URL(アドレス)を入力してページを表示する

1 ツールバー(便利機能)の (アドレスの入力)を選び、決定する(⇒左記)

2 カーソルボタンで入力欄を選び、決定する

- ソフトウェアキーボードが表示されます。

3 表示したいページのURLを入力する

- 文字入力の方法については⇒ **38** ページをご覧ください。

4 カーソルボタンで「開く」を選び、決定する

URL を入力して表示したページを、入力履歴の一覧から選ぶ

- 上記の手順 **2** で「入力履歴」を選び、決定するとカーソルボタンで URL を選べます。

◇おしらせ◇

入力履歴を削除するときは

①入力履歴の一覧で、削除したい URL を選び、青ボタンを押す
- 入力履歴メニューが表示されます。

②上下カーソルボタンで「削除」を選び、決定ボタンを押す
- 入力履歴をすべて削除したいときは「すべて削除」を選びます。

③左右カーソルボタンで「する」を選び、決定ボタンを押す

表示しているページの URL を保存する（ブックマーク登録）

- ページをブックマークに登録しておくと、次に表示するときはブックマーク一覧から選んで、表示できます。

1 **登録したいページを表示する**

2 **黄ボタンを押して、ツールバー（便利機能）を表示する**

3 **左右カーソルボタンでツールバー（便利機能）の（ブックマークに登録）を選び、決定する**

4 **左右カーソルボタンで「する」を選び、決定する**

- ブックマークに登録されます。

◇**おしらせ**◇
- 「ブラウザ制限」（⇒**右記**）を「する」にすると、アドレスの入力およびブックマークの編集は選べません。

ブックマークに登録したページを開く

- よく見るページのブックマークを選ぶと、すばやくページを表示できます。

1 **黄ボタンを押して、ツールバー（便利機能）を表示する**

2 **左右カーソルボタンでツールバー（便利機能）の（ブックマークを開く）を選び、決定する**

- ブックマーク一覧が表示されます。

3 **カーソルボタンで表示したいブックマークを選ぶ**

- ブックマークを 11 以上登録しているときは、左右カーソルボタンでブックマーク一覧の表示を切り換えます。

4 **決定する**

- 選んだページが表示されます。

ブックマークを新しいタブで開くときは

- 決定ボタンの代わりに青ボタンを押し、「新しいタブで開く」を選んで決定ボタンを押します。

ブックマークの便利な使いかた

- ツールバー（便利機能）の（ブックマークを開く）を選んだあと、ブックマークメニューを表示できます。

1 **ブックマーク一覧からブックマークを選び、青ボタンで押す**

- ブックマークを 11 以上登録しているときは、左右カーソルボタンでブックマーク一覧の表示を切り換えます。

2 **ブックマークメニューから選び、設定する**

◇**おしらせ**◇
- 「ブラウザ制限」を「する」にしている場合（⇒**下記**）、ブックマークの編集は選べません。

有害サイトへのアクセスを防ぐ（ブラウザ制限）

- 有害サイトへのアクセスを防ぐために、URL を入力してページを表示させる機能を禁止することができます。

◇**おしらせ**◇
- 「ブラウザ制限」を「する」にすると、アドレスの入力およびブックマークの編集は選べません。

1 **ホームメニューを表示して、「設定」－「（視聴準備）」－「通信（インターネット）設定」を選び、決定する**

2 **上下カーソルボタンで「ネットサービス制限設定」を選び、決定する**

3 **上下カーソルボタンで「ブラウザ制限」を選び、決定する**

- 暗証番号の設定をしていない場合は、先に暗証番号の設定をしてください。（⇒ **28** ページ）

4 **暗証番号を入力する**

- 暗証番号の入力については⇒ **28** ページをご覧ください。

5 **上下カーソルボタンで「する」を選び、決定する**

ブラウザの設定を確認・変更するには

- ブラウザメニューには表示設定メニューとセキュリティ設定メニューがあります。

ブラウザメニューの基本操作

1 **黄ボタンを押して、ツールバー(便利機能)を表示する**

2 **左右カーソルボタンでツールバー(便利機能)の (メニュー)を選び、決定する**

ブラウザメニューが表示されます。

3 **左右カーソルボタンで「表示設定」または「セキュリティ設定」を選び、決定する**

4 **変更する項目を選び、設定の変更や内容の確認をする**

- 各項目の詳しい操作については、表示設定メニュー（⇒**右記**）およびセキュリティ設定メニュー（⇒ **77** ページ）をご覧ください。

5 **変更や確認が終わったら、黄ボタンを押してブラウザメニューを消す**

◇**おしらせ**◇

- ブラウザメニュー表示中に、インターネットボタンを押して画面を切り換えると、ブラウザメニューが消えます。

ブラウザの設定を工場出荷時の状態に戻すときは

1. 上記の手順 **3** で「表示設定」を選び、決定します。
2. 「リセット」を選び、決定します。
3. 確認の画面で「する」を選び、決定します。
4. 操作を終了するときは、黄ボタンを押します。

表示内容に関する設定（表示設定メニュー）

拡大・縮小表示

- 上下カーソルボタンで表示したいサイズを選び、決定ボタンを押します。
- 操作を終了するときは、黄ボタンを押します。

◇**おしらせ**◇

- 文字のサイズだけを大きくすることはできません。

文字コード

- ページ上の文字が正しく表示されないときは、文字コードを変更すると正しく表示される場合があります。
- 上下カーソルボタンで文字コードの種類を選び、決定ボタンを押します。
- 操作を終了するときは、黄ボタンを押します。

◇**おしらせ**◇

- 「リセット」を行っても、各証明書の有効 / 無効（⇒ **77** ページ）および文字コードの設定は戻りません。

ページの情報を確認する

- 情報が途中で切れている場合は、決定ボタンを押すと、上下カーソルボタンで続きを確認できます。
- 操作を終了するときは、黄ボタンを押します。

セキュリティに関する設定
（セキュリティ設定メニュー）

セキュリティ

- セキュリティで保護されたページ（サイト）とされていないページ（サイト）の間を移動するときに、メッセージを表示するかどうかの設定ができます。
- 本機に保存されている証明書※の確認と、証明書の有効・無効の切り換えができます。
  ※ ページを表示しても安全であることを証明するものです。

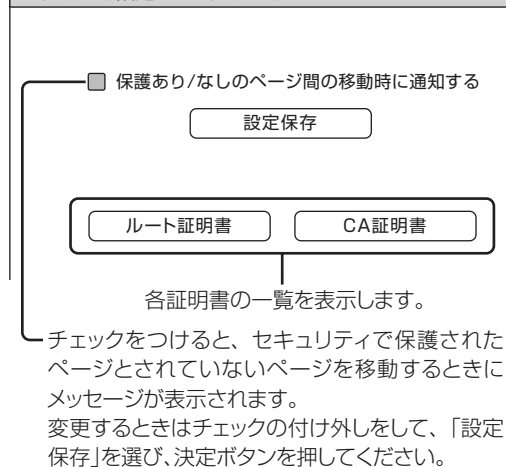
セキュリティ設定 … セキュリティ

□ 保護あり/なしのページ間の移動時に通知する

設定保存

ルート証明書　CA証明書

各証明書の一覧を表示します。

チェックをつけると、セキュリティで保護されたページとされていないページを移動するときにメッセージが表示されます。
変更するときはチェックの付け外しをして、「設定保存」を選び、決定ボタンを押してください。

証明書を確認するとき

1 上記の画面で確認したい証明書の種類を左右カーソルボタンで選び、決定する

- 証明書の一覧画面が表示されます。

2 カーソルボタンで確認したい証明書を選び、決定する

- 選んだ証明書の内容が表示されます。
- 情報が途中で切れている場合は、決定ボタンを押すと、上下カーソルボタンで続きを確認できます。
- 操作を終了するときは、黄ボタンを押します。

証明書を無効にするとき

1 上記の画面で確認したい証明書の種類を選び、決定する

- 証明書の一覧画面が表示されます。

2 カーソルボタンで無効にしたい証明書を選び、青ボタンを押す

- サブメニューが表示されます。
- 選んだ証明書の内容が表示されます。

3 上下カーソルボタンで「無効にする」を選び、決定する

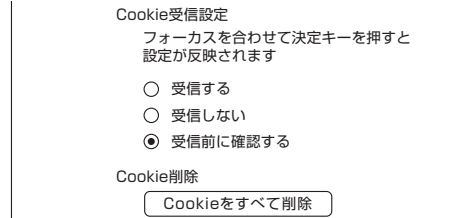
- 無効にした証明書は証明書の一覧画面でチェックがはずれます。
- 操作を終了するときは、黄ボタンを押します。

Cookie（クッキー）の設定を変更する

- Cookie（⇒ **149** ページ）の受信方法の設定と、受信した Cookie の削除ができます。

Cookie受信設定
フォーカスを合わせて決定キーを押すと
設定が反映されます

○ 受信する
○ 受信しない
◉ 受信前に確認する

Cookie削除
Cookieをすべて削除

- 上下カーソルボタンで選びたい設定を選び、決定ボタンを押します。
- 「受信前に確認する」にしておくと、Cookie を使用するページを表示するときに確認のメッセージが表示されます。Cookie を受信するかどうかを選び、決定ボタンを押してください。
- 操作を終了するときは、黄ボタンを押します。

Cookie をすべて削除するときは

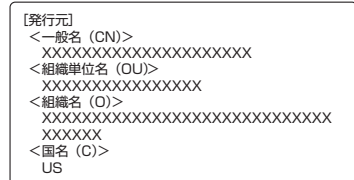
- 上記の画面で上下カーソルボタンで「Cookie をすべて削除」を選び、決定します。
- 左右カーソルボタンで「する」を選び、決定します。
- 操作を終了するときは、黄ボタンを押します。

◇おしらせ◇

- Cookie を削除すると、入力した情報を再度入力する必要があります。

サーバー証明書を確認する

- セキュリティで保護されているページのサーバー証明書を確認できます。

［発行元］
<一般名（CN）>
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
<組織単位名（OU）>
XXXXXXXXXXXXXXXX
<組織名（O）>
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXX
<国名（C）>
US

決定キーを押してからカーソル上下で情報の続きを確認します。

- 情報が途中で切れている場合は、決定ボタンを押すと、上下カーソルボタンで続きを確認できます。
- 操作を終了するときは、黄ボタンを押します。

◆ 重 要 ◆

- 本機には、インターネットのページ閲覧を禁止、もしくは、制限するための機能が複数組み込まれています。お子様などが本機を使ってインターネットをご覧になる場合には、この機能の利用をお勧めします。
- 利用にあたって以下の機能を搭載しています。必要な機能を選び設定を行ってください。なお、全ての設定に暗証番号の入力 (パスワードロック機能) が必要です。
  - インターネット接続を禁止する⇒ **71** ページ
  - アドレス入力機能を禁止する (ブラウザ制限) ⇒ **75** ページ
  - プロキシ設定機能を利用する (プロキシサーバー設定) ⇒ **71** ページ

アクトビラ ビデオ／アクトビラ ビデオ・フルを見る

- アクトビラ ビデオとは、テレビ向けインターネットサイト「アクトビラ」が提供している映像配信サービスです。
- アクトビラ ビデオには「アクトビラ ビデオ」と「アクトビラ ビデオ・フル」があります。

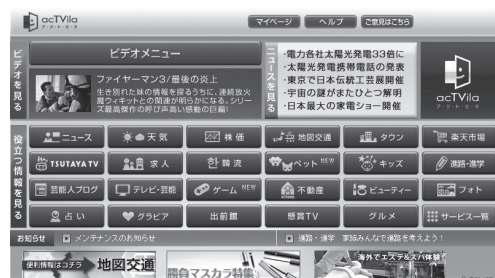
アクトビラ ビデオ

- インターネットのページ上で再生する映像コンテンツです。
- 文字や写真と同時に映像も楽しめます。
- ページ上の項目やリモコンの再生操作ボタン、本機の VOD 操作パネルを使って操作します。

アクトビラ ビデオ・フル

- 全画面で再生する映像コンテンツです。
- 大画面で迫力ある映像を楽しめます。
- リモコンの再生操作ボタンや本機の VOD 操作パネルを使って操作します。

アクトビラを利用するときは

- サービスへの入会などは不要です。ただし、アクトビラ ビデオのコンテンツによっては有料のものもあります。
- リモコンの基本操作は、「インターネットを見る画面（ブラウザ）の使いかた」（⇒ **73** ページ）と同様です。

- 画面に表示される内容は変更になる場合があります。

必要な準備について

- インターネットに接続するためのブロードバンド環境のうち、光回線（FTTH）が必要です。本機を光回線（FTTH）に接続してください。詳しくは「双方向通信／インターネット／ホームネットワークの準備をする」（⇒ **65** ～ **68** ページ）をご覧ください。

◇**おしらせ**◇

アクトビラ ビデオ、アクトビラ ビデオ・フルの視聴について

- コンテンツによっては標準画質のものもあります。この場合は、ハイビジョン放送に比べ画質は粗くなります。

必要な回線速度について

- アクトビラ ビデオをお楽しみになる場合は、実効速度 6Mbps 程度必要です。
- アクトビラ ビデオ・フルの場合は、実効速度 12Mbps 程度必要です。
- 光回線（FTTH）においても、お客様のご利用環境（ハブやルーターの性能など）や回線の混雑状況などにより、時間帯によっては実効速度が低下する場合があります。

アクトビラ ビデオ、アクトビラ ビデオ・フルをご利用になる場合は、次のことにもご注意ください。

- 映像コンテンツの中には、有料のものもあります。映像コンテンツを再生する前に画面上でよく確認してください。
- ほとんどの有料コンテンツには、視聴期間が設定されています。視聴期間が切れると新たに料金がかかります。
- 有料コンテンツを購入後、ビデオが視聴できないなどの不具合があった場合、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

アクトビラ ビデオ／アクトビラ ビデオ・フルのコンテンツを再生する

1 **「インターネット」メニューを表示する**

- インターネット ボタンを押します。
- 表示中に次の操作を行います。

2 **インターネットボタンを繰り返し押し、「インターネット」を選び、決定する**

- 上下カーソルボタンでも選べます。

ブラウザが起動し、AQUOS City が表示されます。

3 **「アクトビラ」を選び、決定する**

- アクトビラのポータル画面が表示されます。

4 **視聴したいアクトビラ ビデオまたはアクトビラ ビデオ・フルのコンテンツを選び、決定する**

- 以降の操作は画面の表示に従って操作してください。例えば、カーソルボタン（上・下・左・右）で「再生」などの項目を選びます。
- 早送りや早戻しの操作は、画面に表示されているボタンを使います。（映像コンテンツによっては早送りや早戻しができないものもあります。）
- VOD 操作パネル（⇒**右記**）で操作することもできます。
- リモコンの再生操作ボタンでも操作できます。
- アクトビラ ビデオ・フルを再生した場合は、全画面で表示されます。このときはリモコンの再生操作ボタンや VOD 操作パネルで操作してください。（⇒**右記**）

テレビの画面に戻すときは

- 終了ボタンを押します。

コンテンツの再生を停止するときは

- VOD 操作パネルで停止ボタンを選びます。

◇おしらせ◇

- 「テレビ+インターネット」の状態で再生操作をすると、自動的にインターネットの 1 画面表示になります。
- 再生中は 2 画面ボタンは使えません。
- 再生中、一部ブラウザ操作に制限があります。（タブ操作やブラウザメニューの「拡大・縮小表示」、文字入力など）

再生中の操作のしかた
（アクトビラ ビデオ／アクトビラ ビデオ・フル）

1 **ホームメニューを表示して、「設定」－「(機能切換)」－「視聴操作」を選び、決定する**

2 **「VOD操作」を選び、決定する**

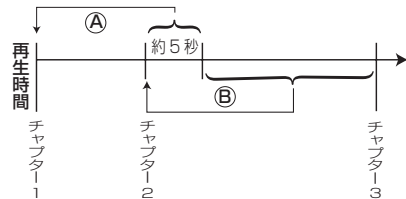
3 **操作したい機能のボタンを選び、決定する**

- VOD 操作パネルの表示を消すときは、終了ボタンを押します。

◇おしらせ◇

- VOD操作パネルでアクトビラ ビデオを操作した場合、ブラウザからのVOD操作が正しく動作しないことがあります。

逆頭出しボタン（前）は、再生位置によってはたらきがかわります。

- 再生位置がチャプターから約 5 秒以内の場合は、そのひとつ前のチャプターに（下図Ⓐ）、5 秒を超えている場合は、直前のチャプター（下図Ⓑ）に戻ります。

◇おしらせ◇

- 視聴するコンテンツによっては、操作できない機能があります。
- VOD 操作パネルの表示とコンテンツの操作情報が一致しないことがあります。
- アクトビラ ビデオ・フルを VOD 操作パネルを表示しないで視聴しているときに、戻るボタンを押すと再生が終了します。
- リモコンの再生ボタンや一時停止ボタンなどでも操作することができます。

IPTV（ひかり TV）を視聴するための準備

- IPTV とはブロードバンドの光回線（FTTH）を使って受信するテレビ放送などのサービスです。テレビ放送サービスやビデオオンデマンドサービスなどがあります。 2011 年 11 月現在、株式会社 NTT ぷららより、IPTV サービスとして「ひかり TV」が提供されています。
- IPTV はブロードバンドルーターなどとつないで受信します。（アンテナとの接続は必要ありません。）

IPTV（ひかり TV）を視聴するまでの準備の流れ

1 IPTVサービスの契約をする

- IPTV 事業者と、IPTV サービスや光回線（FTTH）の有料サービス契約をする必要があります。
- IPTV サービスによっては、IPTV を見るためのサービスとビデオを見るためのサービスで、コースが分かれているものもあります。
- IPTV サービス（ひかり TV など）のホームページやパンフレットなどをご覧ください。
- 本機は IPTV のチューナーを内蔵しているため、IPTV を受信するためのセットトップボックス（STB）は不要です。

2 光回線(FTTH)に接続する ⇒右記

- IPTV のご利用には、実効速度（常時）20Mbps 以上の光回線(FTTH)が必要です。

3 IPTVの基本登録とチャンネルの設定をする ⇒81～82ページ

- IPTV サービスを利用するための登録をします。

◇**おしらせ**◇
- 引っ越した場合、IPTV が視聴できなくなる場合があります。その場合は、かんたん初期設定を行った後、ポータルの案内に従って操作してください。

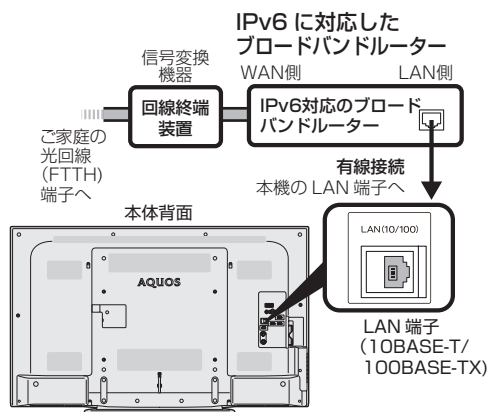
IPTV（ひかり TV）を見るための接続をする

- ご契約の IPTV サービスにより、必要になるブロードバンド環境が異なります。IPTV サービス申込書や接続に関する案内などをご覧ください。ただし、**本機は IPTV のチューナーを内蔵しているため、IPTV を受信するためのセットトップボックス（STB) は不要**です。

IPv4 環境の場合

- ⇒ **66**、**67** ページをご覧になり、ブロードバンドルーターと本機を接続してください。

IPv6 環境の場合

- IPTV サービスが、IPv6 方式（⇒ **149** ページ）の場合に必要な接続です。

◆ **重　要** ◆

本機の IPv6 接続は IPTV の受信にのみ使用します

- インターネットやホームネットワーク機能をお使いになるときは、IPv4 環境も必要です。

IPTV（ひかり TV）の基本登録をする

- IPTV を視聴するためには、ポータル画面で基本登録をする必要があります。
- 基本登録を完了してから放送を受信できる状態になるまで、しばらく時間がかかる場合があります。

◇**おしらせ**◇

「IPTV 設定」－「サービス設定」について

- かんたん初期設定の「IPTV 設定」を「する」にした場合、IPTV のサービス設定は「する」に設定されていますので、改めて設定する必要はありません。新たに IPTV の契約をした場合は、IPTV のサービス設定を「する」に設定してください。

1 **ホームメニューを表示して、「設定」－「🔧（視聴準備）」－「通信（インターネット）設定」を選ぶ**

2 **上下カーソルボタンで「IPTV設定」を選び、決定する**

3 **上下カーソルボタンで「サービス設定」を選び、決定する**

4 **左右カーソルボタンで「する」を選び、決定する**

5 **「終了」で決定する**

6 **上下カーソルボタンで「基本登録」を選び、決定する**

7 **上下カーソルボタンで基本登録をするIPTV事業者名を選び、決定する**

- IPTV 事業者の基本登録画面が表示されます。

8 **「基本登録」をする**

- 以降の操作は画面の表示に従って行ってください。

IPTV のチャンネル設定は⇒ **82** ページをご覧ください。
ただし、基本登録を完了してから受信できるまで、しばらく時間がかかる場合があります。

◇**おしらせ**◇

IPTV の基本登録画面が表示されないときは

- IPTV サービス事業者が IPv6 でサービスを行っている場合は、ホームメニューから「設定」－「🔧（視聴準備）」－「通信（インターネット）設定」－「LAN 設定」－「IPv6 設定」を選び、各項目に数値が入っているか確認します。
- 各項目が空欄の場合は次のことを確認してください。
  - ブロードバンドルーターの電源が入っていますか。ブロードバンドルーターによっては、電源を入れてから使用できるまで少し時間のかかるものがあります。
  - ブロードバンドルーターが IPv6 に対応したものになっていますか。また、IPv6 を使用できる設定になっていますか。
  - 本機の LAN 端子とブロードバンドルーターの LAN 端子が、正しく接続されていますか。
  - 光回線の終端装置 (ONU) や途中の機器の電源が入っていますか。また、必要なケーブルは正しく接続されていますか。

  これらの確認を行っても原因が分からないときは、回線事業者や IPTV サービスへお問い合わせください。
- IPTV サービス事業者が IPv4 でサービスを行っている場合は、「インターネットに接続できない場合は」(⇒ **69** ページ) をご覧ください。

IPTV（ひかり TV）の チャンネルを設定する

- IPTV の放送サービスを受信するときはチャンネル設定が必要です。
  IPTV のチャンネル設定の前に、IPTV の基本登録が必要です。

◇おしらせ◇

チャンネルを追加するときは

- 「IPTV ー自動」を行った後で、新しくサービスに加入するなど開始された放送チャンネルを追加する場合、手順 **3** で「IPTV ー追加」を選びます。すでに登録されているチャンネルはそのまま残り、新しく確認されたチャンネルが追加されます。追加が終わったら、「終了」で決定ボタンを押します。

1 **81ページの手順1～手順2を行う**

2 **上下カーソルボタンで「チャンネル設定」を選び、決定する**

3 **上下カーソルボタンで「IPTV－自動」を選び、決定する**

4 **左右カーソルボタンで「する」を選び、決定する**

「しない」を選んだ場合は

- チャンネルの登録を行いません。次に表示される画面で「終了」を選びます。

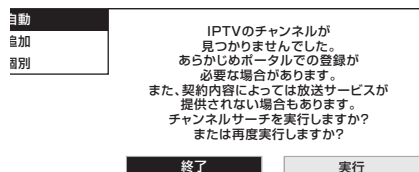
- 自動設定が始まります。終わるまでしばらくお待ちください。

5 **「終了」で決定する**

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇おしらせ◇

IPTV のチャンネルが見つからなかったときは

- 次の画面が表示されます。

- IPTV の放送サービスに加入していて、この画面が表示された場合は基本登録を行ってください。（⇒ **81** ページ）
- 基本登録がお済みでこの画面が表示された場合は、ポータル画面で、受信できる状態になっているか確認してください。
- IPTV の放送サービスに加入していない場合、チャンネルは登録されません。

IPTV の受信状態を確かめたいときは

- 手順 **2** で「受信状態」を選びます。

選局ボタンで選べる不要なチャンネルを飛ばす／スキップしたチャンネルを番組表や裏番組一覧（ホームメニューの「チャンネル」）で非表示にするには

1 **左記の手順3で「IPTV－個別」を選び、決定する**

2 **スキップするチャンネルを選び、決定する**

3 **「スキップ」を選び、決定する**

4 **「選局順逆時にこのチャンネルをスキップして選局しますか？」の表示で「する」を選び、決定する**

5 **「番組表、裏番組の表示時にも、このチャンネルをスキップしますか？」の表示で「する」または「しない」を選び、決定する**

- 「する」を選ぶとスキップ設定したチャンネルが、番組表や裏番組一覧（ホームメニューの「チャンネル」）に表示されなくなります。ただし、スキップ設定したチャンネルでも視聴中の場合は、番組表や裏番組一覧に表示されます。

IPTV（ひかり TV）を見る

IPTV（ひかり TV）の テレビサービスを楽しむ

- リモコンの インターネット を数回押して「IPTV（テレビ）」を選びます。
- 数字ボタンや選局ボタンを使って選局します。
  基本操作は⇒ **10** ページと同じです。
- 3 桁のチャンネル番号を入力して選局できます。
- 字幕や複数の音声がある番組の場合は、字幕や音声を切り換えることができます。（⇒ **16** ～ **17** ページ）

◇**おしらせ**◇

IPTV の視聴について

- IPTV は光回線（FTTH）を使って受信するため、通信回線の使用状況によっては、映像が粗くなったり、一時的に停止したりする場合があります。
- 番組やコンテンツによっては標準画質のものもあります。この場合は、ハイビジョン放送に比べ画質は粗くなります。

放送サービスやビデオオンデマンドサービスをご利用になる場合は、次のことにもご注意ください。

- 映像コンテンツの中には、有料のものもあります。映像コンテンツを再生する前に画面上でよく確認してください。
- ほとんどの有料コンテンツには、視聴期間が設定されています。視聴期間が切れると新たに料金がかかります。
- 有料コンテンツを購入後、ビデオが視聴できないなどの不具合があった場合、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

IPTV サービスのポータル画面について

- ビデオオンデマンドなどのタイトルを選ぶには、ポータル画面から項目を選んで操作します。
- IPTV サービスによっては、IPTV を受信する前にポータル画面で受信の手続きが必要になる場合があります。
- 見ている IPTV の放送サービスに連動したポータルがある場合は、データ連動 d を押すとそのポータル画面に切り換わります。

ホームメニューから番組を選ぶには

- ホームメニューから「チャンネル」－「IPTV（テレビ）」で選べます。
  基本操作は⇒ **10** ページと同じです。

◇**おしらせ**◇

- 複数のプラットフォームを受信している場合は、ホームメニューから「設定」－「(機能切換)」－「視聴操作」を選び、「テレビ / ラジオ / データ / ポータル」を選んでプラットフォームを切り換えられます。（「テレビ / ラジオ / データ / ポータル」は、ツールメニューからも選べます。）
- プラットフォームとは、IPTV サービス事業者がサービスを提供する際に使用している環境のことです。1 種類の IPTV サービスに加入しているときでも、IPTV サービスによっては複数のプラットフォームを使用している場合があります。また、複数の IPTV サービスに加入していても使用しているプラットフォームは 1 つだけの場合もあります。
- ポータル画面表示中および VOD 再生中は、番組情報が表示されます。番組情報画面の操作については、⇒ **15** ページをご覧ください。

テレビ放送の番組表（⇒ 11 ページ）と同じように次の操作ができます

- 番組情報の表示
- 指定した日時の番組表を表示
- 見つかる検索
- ジャンル検索
- 特徴検索
- キーワード検索

◇**おしらせ**◇

- 現在の時間帯より前の番組表は表示できません。
- IPTV の番組表に表示される情報の期間は最大 8 日分です。
- IPTV の番組表を表示しているときは、放送切換ボタンを押しても、他のデジタル放送の番組表には切り換わりません。
- IPTV の成人向けチャンネルやコンテンツを視聴するためには、視聴年齢制限設定が必要です。視聴年齢制限を「20 歳」または「無制限」に設定すると、番組表などに成人向けチャンネルが表示されます。
- IPTV の番組は予約できません。

IPTV（ひかり TV）のポータル画面を活用する

- ポータル画面とはIPTVサービスの窓口となる画面のことです。

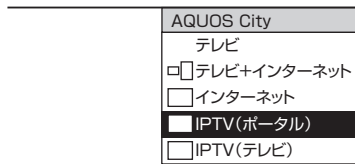
ポータル画面でできること※

- IPTVサービスの基本登録をする
- ビデオオンデマンドサービスのタイトルを選ぶ
- IPTVサービス事業者からのお知らせを確認する
- IPTVサービスのサービスプランを変える

※ できることはIPTVサービスによって異なります。詳しくはIPTVサービス事業者にお問い合わせください。

1 **インターネットボタンを押し、「インターネット」メニューを表示する**

2 **インターネットボタンを繰り返し押し、「IPTV(ポータル)」を選ぶ**

- 上下カーソルボタンでも選べます。

- 前回表示したポータル画面が表示されます。

3 **番組表ボタンを押し、ポータルリストを表示する**

4 **上下カーソルボタンで表示したいポータル画面を選び、決定する**

- 選んだポータル画面が表示されます。

5 **カーソルボタンでポータル画面の中から目的の項目を選び、決定する**

- 選んだ項目によっては、新しい画面が表示され、その中からさらに項目を選ぶものもあります。

ポータル画面からIPTVのテレビ放送に切り換えるには

- 手順**2**で「IPTV（テレビ）」を選ぶと、IPTVのテレビ放送に切り換えることができます。

IPTV（ひかり TV）のビデオオンデマンド（VOD）を楽しむ

- ビデオオンデマンド（VOD※）とは映画などのタイトルを見たいときに、見ることができるレンタルビデオのようなサービスです。

※「VOD」とは、Video on Demandのことです。

◆ **重　要** ◆

ビデオオンデマンドを利用するためには

- IPTVサービスの中でも、ビデオオンデマンドを利用できるサービスに加入しておく必要があります。

◇**おしらせ**◇

- ビデオオンデマンドは、「ビデオサービス」や「ビデオレンタル」などと呼ばれる場合もあります。
- ポータル画面は、IPTV(テレビ)の番組を選局したあとで、ツールメニューを表示して、「テレビ／データ／ポータル」を選んでも表示できます。

ビデオオンデマンドのタイトルを再生する

- タイトルの検索や再生の手続きなどは、主にポータル画面（⇒**左記**）で行います。

◆ ポータル画面を表示する

1 **「インターネット」メニューを表示する**

- インターネット ボタンを押します。
- 表示中に次の操作を行います。

2 **インターネットボタンを繰り返し押し、「IPTV(ポータル)」を選ぶ**

- 上下カーソルボタンでも選べます。
- 前回表示したポータル画面が表示されます。

3 **ポータルリストを表示する**

4 **表示したいポータル画面を選び、決定する**

◆ ビデオオンデマンドのタイトルを探す

5 ① **画面の項目からビデオオンデマンドに関する項目を選び、決定する**

② **再生したいタイトルを選び、決定する**

- 以降の操作は画面の表示に従ってください。タイトルによっては再生する前に視聴に関する注意事項や制限事項などが表示される場合がありますので、よく読んでから再生してください。

再生中の操作のしかた（VOD 操作）

- VOD 操作パネルで、一時停止や再生などの操作ができます。

1 **ホームメニューを表示して、「設定」－「(機能切換)」－「視聴操作」を選び、決定する**

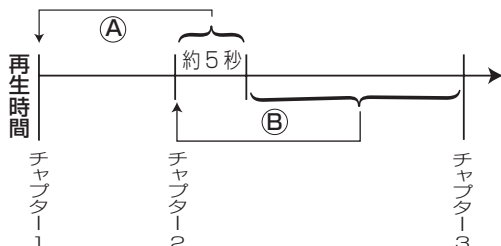
2 **「VOD操作」を選び、決定する**

3 **操作したい機能のボタンを選び、決定する**

- VOD 操作パネルの表示を消すときは、終了ボタンを押します。

◇**おしらせ**◇

逆頭出しボタン（前）は、再生位置によってはたらきがかわります。

- 再生位置がチャプターから約 5 秒以内の場合は、そのひとつ前のチャプターに（下図Ⓐ）、5 秒を超えている場合は、直前のチャプター（下図Ⓑ）に戻ります。

VOD 操作パネルの見かた

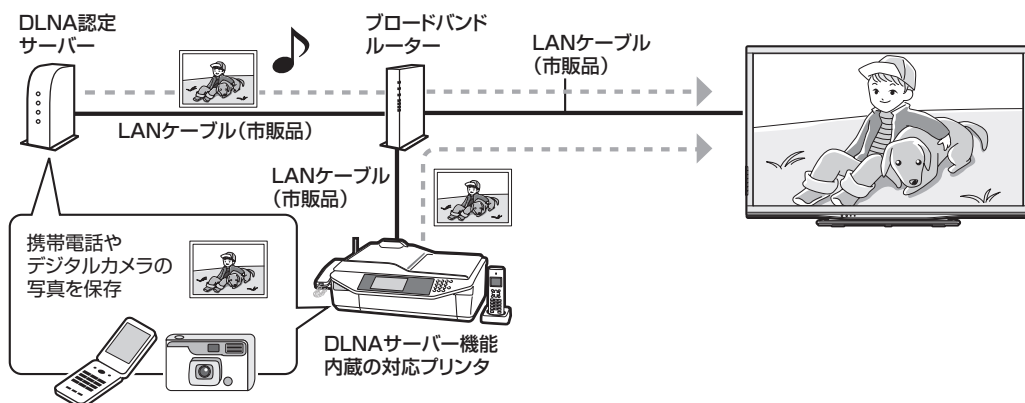
◇**おしらせ**◇

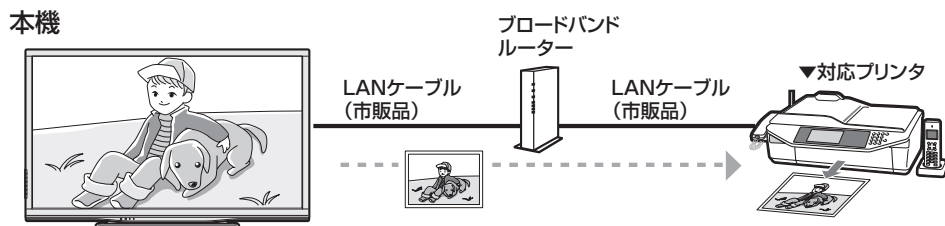
- 視聴するコンテンツによっては、操作できない機能があります。
- VOD 操作パネルの表示とコンテンツの操作情報が一致しないことがあります。
- リモコンの再生ボタンや一時停止ボタンなどでも操作することができます。

ホームネットワークで 映像・写真・音楽を楽しむ

• ホームネットワークに本機をつないで、ネットワーク経由で映像・写真・音楽を再生できます。
• 表示した写真を、本機に対応したプリンタで印刷することもできます。

サーバー内の写真・映像・音楽を再生する

ホームネットワークで写真を楽しむ（⇒ **87** ページ）
ホームネットワークで音楽を楽しむ（⇒ **90** ページ）
録画した番組をホームネットワークで楽しむ（⇒ **91** ページ）

表示した写真を印刷する

⇒ **89** ページ

使用可能なサーバー／プリンタ／携帯電話の最新情報について

• SHARP web ページ内の AQUOS サポートページ「Q&A 情報」をご覧ください。

AQUOS サポートページ
http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html

• サーバーやプリンタの操作については、それぞれの取扱説明書またはサポートホームページをご覧ください。

ホームネットワークで写真を楽しむ

本機で表示できる写真データの形式

対応データ形式	・ DCF2.0 規格対応 JPEG 静止画※1※2
最大ファイルサイズ	・ 6MB※3
最大解像度（画像サイズ）	・ 4096 x 4096 画素※3※4

※1 以下の形式に対応しています。色情報：YUV420、YUV422、ベースライン DCT
JPEG ヘッダーの回転タグは4方向（上、下、右 90 度、左 90 度）に対応しています。

※2 以下の形式は表示できません。プログレッシブＪＰＥＧ、ロスレス回転ＪＰＥＧ（パソコンで回転させた場合に多い）、グレースケールＪＰＥＧ、ＹＵＶ４４４（パソコンで加工した画像に多い）形式の JPEG など。なお、サーバーによってはデータ形式変更やファイルサイズの縮小、画像サイズの変更を行うため、上記制限のあるファイルでも表示されることがあります。

※3 約 1000 万画素以上のデジタルカメラや携帯電話では解像度（画像サイズ）や画質設定により、この制限を超えるため本機で高品位に表示できないことがあります。デジタルカメラや携帯電話の解像度（画像サイズ）や画質設定を小さめに変えて撮影するようにしてください。撮影後はデジタルカメラや携帯電話のリサイズ機能でサイズを小さくすることができる場合があります。またプリンタの扱えるファイルサイズ上限により印刷できないことがあります。詳しくはプリンタの取扱説明書をご覧ください。

※4 上記制限を超える写真はサーバーにより 160 × 120 画素のサムネイル画像が全画面に表示されます。このため、解像度が大幅に低下することがあります。

◇**おしらせ**◇

- JPEG 静止画は DCF2.0 規格のデジタルカメラまたはカメラ付携帯電話で撮影されたものが対象です。
- サーバーや静止画によっては、再生できないことがあります。パソコンソフトで加工した静止画は表示できないことがあります。
- GPS データ等、特殊データが写真データ内に埋め込みされている場合、写真の回転ができない場合があります。
- 本機には静止画を保存することはできません。
- 印刷中にチャンネル切換や入力切換を行うと印刷が正しく完了しないことがあります。またシャープ製ファクシミリ複合機（DLNA サーバー機能、およびプリント機能内蔵）では印刷中のエラーはプリンタには表示されますが、本機の画面に表示されないことがあります。
- サーバー機器は 10 台まで選択できます。
- サーバー機器の設定についてはサーバー機器の取扱説明書またはサポートホームページなどをご覧ください。
- サーバーから取得したリストをそのまま表示するため、写真の無いフォルダが表示される場合があります。
- 録画予約実行中および USB-HDD 録画中は、ホームネットワーク機能を使用できません。

ハードディスクを使うときの制限

- テレビの電源を入れてから、USB ハードディスクの録画・再生が行えるようになるまでしばらく時間が掛かります。

DLNA 認定サーバー内の写真の表示／印刷について

- 本機の「ホームネットワーク」で表示できるのは、ホームネットワークに接続された DLNA 認定サーバーの JPEG 静止画の写真だけです。
- 現在動作を確認しているサーバーおよび本機対応プリンタについては、**86** ページの SHARP web ページ内の AQUOS サポートページをご覧ください。
- SD カードスロットをもつサーバーではスロットに SD カードが入っているときだけサーバー機能が動作する場合があります。また、サーバーに JPEG ファイルを書き込んでから、サーバーのデータとしてホームネットワーク側に提供されるまで数分かかる、または更新設定をしないと反映されない場合があります。詳しくはサーバー機器の取扱説明書をご覧ください。
- JPEG 静止画のファイルサイズが大きいとスライドショーでの写真表示に時間がかかることがあります。
- シャープ製ファクシミリ複合機では、動作中に SD カードを抜くと写真を取得できません。また電話や FAX の使用中や操作パネルに操作中のメッセージなど（ダイアログと呼ばれています）が表示されている間は DLNA サーバー機能が停止します。詳しくはファクシミリ複合機の取扱説明書またはサポートホームページなどをご覧ください。

写真が表示されず、エラーメッセージが表示されたときは

- ホームネットワーク利用時に関するエラーメッセージをご覧ください。(⇒ **133**～**134** ページ)
- 本機で表示できる写真データの形式をご覧ください。
- スライドショーの途中で「次の写真を取得できません」と表示されたときは、接続やサーバーの設定を確認してください。

次のページに続く

ホームネットワークのサーバーにある写真を表示する

1 入力切換メニューを表示して、「ホームネットワーク」を選ぶ

入力切換 を押す

ホームネットワークはLAN 接続されているときに選択できます。

入力切換
ホームネットワーク
切換できます

- メモリーモードを「オン」に設定し、前回写真のスライドショー中に終了していた場合は、スライドショーが始まります。
- メモリーモードのオン／オフの切り換えは、ホームネットワークのトップ画面で行います。（切り換えかた⇒ **93** ページ）

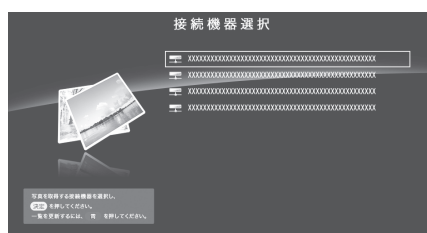
2 「写真を見る」を選ぶ

で選び

を押す

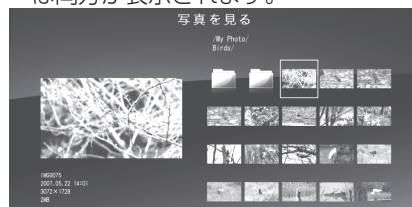
ホームネットワークのトップ画面の例

- 前回接続したサーバー機器のトップフォルダが表示されます。

機器選択画面が表示されたときは

- 上下カーソルボタンで接続するサーバーを選び、決定ボタンを押す
- 前回再生したスライドショーを再開するには初期画面で緑ボタンを押します。黄ボタンを押すと最後にスライドショーを表示したフォルダリストを表示できます。

3 フォルダを選ぶ

で選び 決定 を押す

- フォルダ内の写真が一覧表示されます。
- フォルダと写真が混在している場合は両方が表示されます。

- 青ボタンを押すと、サムネイル表示とリスト表示を切り換えられます。

4 写真を選ぶ

で選び

を押す

- 写真が全画面表示になり、スライドショーになります。
- 「BGM 再生」(⇒ **89** ページ) を「する」に設定しているときは、音楽が流れます。

写真表示中の操作について

- 画面の下部にガイダンス（操作案内）が表示されます。

ボタン	説明
決定	• スライドショーを開始／停止します。
決定（カーソルボタン）	• 前／次の写真に切り換えます。 • リピート再生時は、最後の写真で右カーソルボタンを押すと最初の画面に戻ります。リピートしない場合は、一覧表示（サムネイル表示またはリスト表示）に戻ります。
戻る	• 一覧表示（サムネイル表示またはリスト表示）に戻ります。
終了	• 初期画面に戻ります。
青	• ガイダンス（操作案内）の表示･非表示を切り換えます。
赤	• 写真メニューを表示します。
緑	• 写真を左に 90 度回転します。
黄	• 写真を右に 90 度回転します。

写真表示のしかたを変えるには

- スライドショーの間隔や BGM のオン／オフなど、写真表示の設定を変更できます。

1 **写真表示中に、赤ボタンを押す**
- 写真メニューが表示されます。

2 **設定したい項目を選び、設定する**

表示モード切換	[ノーマル]
リピート再生	[しない]
スライドショーの間隔	[約10秒]
BGM再生	[する]

設定のための項目

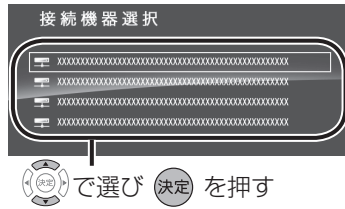
項目	内容
表示モード切換※1	•「ノーマル」（縦横比を変えずに画面内に最大で収める）と「シネマ」（縦横比を変えずに、黒帯をなくすように画面内に最大で収める）を切り換えます。
リピート再生	•「する」と「しない」（スライドショーで最後の写真のあとに最初の写真に戻るか、一覧表示に戻るか）を切り換えます。
スライドショーの間隔※2	• スライドショーで、次の写真に行くまでの時間を設定します。「約５秒」「約 10 秒」「約 30 秒」「約 60 秒」から選びます。
BGM 再生※3	•「する」にすると、サーバーの最後に再生したフォルダの音楽が流れます。サーバーに音楽がないときや再生できないときは、内蔵 BGM（弦楽セレナーデ･ホ短調）が流れます。

※１ 写真の縦横比が 16:9 の横画像では、表示モード切換しても、表示が見かけ上変わらない場合があります。
※２ サーバーや写真によってはスライドショーの間隔が設定値通りにならない場合があります。
※３ スライドショーの BGM をお好みの音楽にするには
①BGM にしたい曲を再生する
②終了ボタンを押す
ホームネットワークの初期画面が表示されます。
③上下カーソルボタンで「写真を見る」を選ぶ
④写真を選び決定ボタンを押してスライドショーを開始する
スライドショーが始まります。BGM には①で再生したフォルダ内の曲が流れます。音楽の再生について詳しくは、⇒ **90** ページをご覧ください。

◇**おしらせ**◇
- 表示モードが「ノーマル」のときは、左右に黒い帯が出ることがあります。
- 表示モードが「シネマ」のときは、拡大により、写真の一部がはみ出すことがあります。
- スライドショーなどの「写真を見る」機能を、お好みの BGM でご利用いただいている場合、音楽サーバーから切断される等の理由により BGM が停止する場合がありますが、その場合も「写真を見る」機能はそのまま続行されます。再度 BGM を再生するには、初期画面より「音楽を聴く」を選び、音楽の再生をやり直してください。

写真の印刷について

- 表示した写真を印刷することができます。
詳しくは AQUOS サポートページをご覧ください。

> **AQUOS サポートページ**
> http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html

写真やフォルダの一覧表示中の便利な機能について

1 **写真一覧表示中に、赤ボタンを押す**
- 写真フォルダ一覧メニューが表示されます。

2 **項目を選び、設定する**

利用できる項目

項目	内容
リスト表示へ切換／サムネイル表示へ切換	• 写真やフォルダが一覧表示されているとき、リスト表示とサムネイル表示を切り換えます。
BGM 再生	•「する」にすると、サーバーの最後に再生したフォルダの音楽が流れます。サーバーに音楽がないときや再生できないときは、内蔵 BGM（弦楽セレナーデ･ホ短調）が流れます。
接続機器変更	• ホームネットワークに複数のサーバーを接続しているとき、写真を見るためのサーバーを変更します。接続機器選択画面では、上下カーソルボタンでサーバーを選び、決定ボタンを押します。 ▼**接続機器選択画面** 接続機器選択 xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx （決定）で選び （決定） を押す
トップフォルダへ移動	• 操作中のサーバーの一番上のフォルダを表示します。
初期画面へ戻る	• 初期画面を表示します。

ホームネットワークで音楽を楽しむ

本機で再生できる音楽データの形式

LPCM	• サンプリング周波数 44.1/48kHz、stereo/mono
MP3 形式で作成されたファイル	• サンプリング周波数 32/44.1/48kHz　32kbps から 320kbps、stereo/mono

◇おしらせ◇
- サーバーや音楽ファイルによっては再生できないことがあります。パソコンでは再生できても、本機で再生できない場合があります。
- サーバーから取得したリストをそのまま表示するため、音楽の無いフォルダが表示される場合があります。

使用可能なサーバーについて

- サーバーの動作確認機種の最新情報については、SHARP web ページ内の AQUOS サポートページ「Q&A 情報」をご覧ください。

AQUOS サポートページ
http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html

- サーバーの操作については、それぞれの取扱説明書またはサポートホームページをご覧ください。

DLNA 認定サーバー内の音楽ファイルの再生について

- 本機の「ホームネットワーク」で再生できるのはホームネットワークに接続された DLNA 認定サーバーの対応ファイル形式のものだけです。
- 音楽ファイルをサーバーに書き込んでもサーバーのデータとしてホームネットワークに反映されるのに非常に時間がかかる、または更新設定をしないと反映されない場合があります。詳しくはサーバー機器の取扱説明書をご覧ください。

ホームネットワークのサーバーにある音楽を再生する

1 **入力切換メニューを表示して、「ホームネットワーク」を選ぶ**
- ⇒ **88** ページをご覧ください。
- メモリーモードを「オン」に設定し、前回音楽を再生していた場合は、音楽再生が始まります。
- メモリーモードのオン／オフの切り換えは、ホームネットワークのトップ画面で行います。（切り換えかた ⇒ **93** ページ）

2 **「音楽を聴く」を選び、決定する**

3 **サーバー機器を選び、決定する**
- 一度音楽が再生されれば、初期画面で緑ボタンを押すと最後に再生した音楽のあるフォルダ内の音楽を再度再生できます。また、黄ボタンを押すと最後に再生した音楽のあるフォルダリストを表示できます。
- 初期画面で決定ボタンを押すと、最後の接続したサーバー機器のトップフォルダが表示されます。

4 **フォルダを選び、決定する**
- フォルダと曲名が混在している場合は両方が表示されます。
- フォルダ内の曲名が一覧表示されます

5 **曲名を選び、決定する**
- 音楽が再生されます。
- 決定 で曲名を選び 決定 を押すと、その曲が再生されます。
- 戻る で、１つ上のフォルダを表示できます。
- 赤 で表示されるメニューからトップフォルダや、再生中の曲が保存されているフォルダを表示することもできます。（⇒**次**ページ）
- 再生中の音楽ファイルと同じフォルダに複数の音楽ファイルがあるときは、フォルダ内の音楽ファイルが順番に再生されます。

再生中の操作

曲の最初から再生するとき

- （決定）を押す

前の曲を再生するとき

- （決定）を続けて 2 回押す（約 3 秒以内に押してください）

次の曲を再生するとき

- （決定）を押す

音楽を停止するとき

- 青 を押す

音楽の一覧表示中や再生中の便利な機能について

- 繰り返し再生の設定や音楽を聴くためのサーバーの変更などができます。

1 音楽一覧表示中または再生中に、赤ボタンを押す

2 項目を選び、設定する

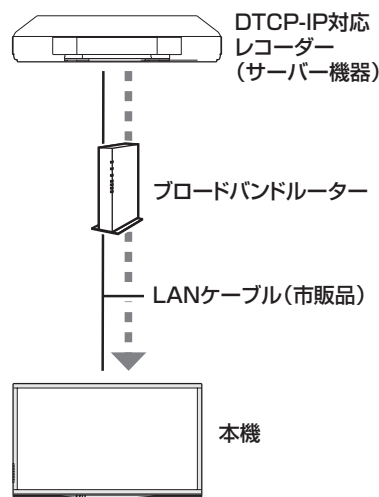
設定のための項目

項目	内容
リピート再生	• フォルダ内の音楽をすべて再生したときに、もう一度最初から再生するかどうかを設定します。（1 曲のみのリピートはできません。）
接続機器変更	• ホームネットワークに複数のサーバーを接続しているとき、音楽を聴くためのサーバーを変更します。接続機器選択画面では、上下カーソルボタンでサーバーを選び、決定ボタンを押します。
トップフォルダへ移動	• 操作中のサーバーのトップフォルダを表示します。
再生中のフォルダへ移動	• 現在再生している曲のフォルダへ移動します。 • 停止中の場合は「停止中のフォルダへ移動」と表示されます。
初期画面へ戻る	• 初期画面を表示します。

録画した番組をホームネットワークで楽しむ

- 本機は、DTCP-IP 対応レコーダー（サーバー機器）に保存されているデジタル放送（地上デジタル放送､BS デジタル放送）の映像を表示できる動画プレーヤーです。

DTCP-IP とは

- DTCP-IP は、デジタル放送などの著作権保護されたデータを伝送するための規格です。この規格に対応することにより、著作権保護されたデータ（1 回だけ録画可能なデジタル放送の番組など）を、ホームネットワークでつないだ機器の間でやりとりすることができます。
- DTCP-IP は、「Digital Transmission Content Protection over Internet Protocol」の略です。

使用可能なレコーダーについて

- 本機で使えるレコーダー（サーバー機器）は、DTCP-IP 対応のレコーダーです。詳しくは SHARP web ページ内の AQUOS サポートページ「他の機器と接続するには」をご覧ください。

AQUOS サポートページ
http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html

次のページに続く

本機で使える機器と、表示できるビデオ形式について

- DTCP-IP 対応レコーダーに録画した MPEG2/AAC、H.264/AAC、H.264/AC3 形式の映像が再生できます。

◇おしらせ◇

- ビデオカメラで撮影した映像、衛星放送の STB（セットトップボックス）や CATV（ケーブルテレビ）の STB（セットトップボックス）から録画した番組など、外部機器からレコーダーに取り込まれた映像は、再生できない場合や音声が出ない場合があります。
- 本機は、あらゆる録画データの再生を保障しておりません。レコーダーが配信可能な映像データでも、本機で一覧表示できない場合や一覧表示から選んでも再生できない（映像・音声が正常に再生されない）場合がありますが、故障ではありません。

DTCP-IP 対応レコーダーの取扱説明書または web ページ内のサポート情報などをご覧ください。

- レコーダーによっては、ホームネットワークで配信できる録画データの種類や形式に制約があります。（プレイリストは不可など）
- レコーダーによっては、録画中の番組が配信できない場合や、同時に複数の映像を配信できない場合があります。
- レコーダーの動作状況（使用状況、操作状況、録画画質の設定状況、画面の表示状況など）によっては、映像をホームネットワークで配信できない場合があります。このときは、本機の「接続機器選択」に表示されないことや、レコーダーの操作によって再生が途中で打ち切られることがあります。
- レコーダーによっては、レコーダーで BD ／ DVD の再生中や録画中、ダビング中に、映像を配信できない場合があります。
- 通常、レコーダーはハードディスクに記録されている映像のみ配信できます。BD や DVD の映像は配信できません。
- レコーダーによっては、本機とレコーダーのデータのやり取りを許可させるために本機の MAC アドレスを登録する必要があります。

ホームネットワークのサーバーにある映像を再生する

1 **入力切換メニューを表示して、「ホームネットワーク」を選ぶ**

- ⇒ **88** ページをご覧ください。

2 **「映像を見る」を選び、決定する**

3 **サーバー機器を選び、決定する**

- 一度映像が表示されれば、初期画面で緑ボタンを押すと最後に再生した映像の続きを再生できます (続きを再生できる場合。続きを再生できない場合は先頭から再生します)。
  また、黄ボタンを押すと最後に再生した映像のあるフォルダリストを表示できます。
- 初期画面で決定ボタンを押すと、最後に接続したサーバー機器のトップフォルダが表示されます。

4 **フォルダがある場合は、フォルダを選び、決定する**

- フォルダ内の映像が、レコーダーが提示した順番で一覧表示されます。

5 **映像を選び、決定する**

- （決定）で映像を選び（決定）を押すと、その映像が再生されます。
- （戻る）で、1つ上のフォルダを表示できます。
- 本機で再生できない映像が表示されることもあります。表示される映像は、正常に再生できることを保障するものではありません。
- （戻る）または、（終了）で、再生を終了します。

つづき再生について

- 本機は、途中まで再生した映像の状態を再生の新しい順で 20 件まで保持しています。手順 **5** で映像を選んで再生すると、つづきから再生します。
- 最初から再生したいときは、手順 **5** で、上下で映像を選び、青ボタンを押します。

メモリーモードについて

- いったん放送に戻り、手順 **1** で「ホームネットワーク」を選ぶと、すぐに最後に視聴した映像のつづきから再生できます。（メモリーモードが「オン」の場合）
- 手順 **2** で緑ボタンを押すと、前回再生していた映像のつづきから再生できます。
- 映像を一覧から選びたいときなど、メニュー

画面から開始したい場合は、再生を停止したあとにホームネットワークの初期画面まで戻り、赤ボタンを押してメニューを表示させ、メモリーモードを「オフ」にします。

◇**おしらせ**◇

再生中に映像や音声が途切れる場合

- レコーダーと本機をPLC(電力線通信)を使った LAN 環境で接続している場合は、LAN の通信速度が不足して再生が途切れることがあります。
- 有線 LAN で接続すると、改善することがあります。
- レコーダー側で長時間録画用の録画画質で録画しておくと、LAN の通信速度が低くても再生できる場合があります。

再生中の操作のしかた (ホームネットワーク)

- VOD 操作パネルで、一時停止や再生などの操作ができます。

1 **ホームメニューから「設定」−「(機能切換)」−「視聴操作」を選ぶ**

2 **「VOD操作」を選ぶ**

◇**おしらせ**◇

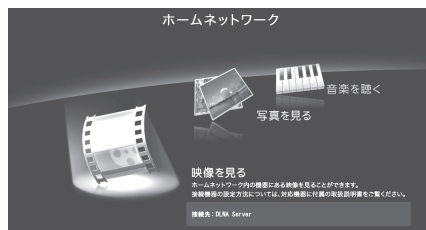
- 早送り再生／スロー再生／逆スロー再生には対応していません。
- 対応できない操作ボタンは、表示されません。
- 10 秒戻し／ 30 秒送りで操作できる時間は、おおよその時間です。
- リモコンの再生ボタンや一時停止ボタンなどでも操作することができます。

メモリーモードの設定を変える

- メモリーモードを「オン」に設定すると、ホームネットワークを開始したとき、前回最後に表示または再生した写真・映像・音楽のいずれかをすぐに再生開始します。

1 **トップ画面表示中に赤ボタンを押し、トップメニューを表示する**

2 **「メモリーモード」を選び、決定する**

■トップメニュー	
メモリーモード	[オン]
接続機器切換	

3 **「オン」または「オフ」を選び、決定する**

- メモリーモードを「オン」に設定しても、サーバーに接続できないなどの理由により、前回最後に再生した写真・映像・音楽が再生できない場合があります。

携帯端末やパソコンを使ってホームネットワークで映像・写真・音楽を楽しむ

- 携帯端末やパソコンを使って、ホームネットワーク経由で映像・写真・音楽を本機で再生させることができます。（リモート再生機能）
- 対応機器についてはAQUOSサポートページ「他の機器と接続するには」をご覧ください。

AQUOSサポートページ
http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html

- 携帯端末を使う場合は、無線アクセスポイントが必要です。

リモート再生機能を有効にする

- 本機がリモート再生を許可する設定です。

1 **ホームメニューから「設定」－「🔧（視聴準備）」－「通信（インターネット）設定」を選ぶ**

2 **「ホームネットワーク設定」を選ぶ**

3 **「リモート再生設定」を選び、「許可する」に設定する**

再生終了後に自動でテレビ画面に戻したいときは

- ホームネットワーク経由の映像再生が終了してから、テレビ画面に戻るまでのタイムアウト時間を設定します。

1 **ホームメニューから「設定」－「🔧（視聴準備）」－「通信（インターネット）設定」を選ぶ**

2 **「ホームネットワーク設定」を選ぶ**

3 **「タイムアウト設定」を選び、「10秒」または「60秒」に設定する**
- 自動でテレビ放送画面に戻したくないときは、「しない」を選びます。

本機を操作するための設定をする

- 携帯端末やパソコンを使って本機をリモート操作するときに必要な設定です。

1 **ホームメニューから「設定」－「🔧（視聴準備）」－「通信（インターネット）設定」－「AQUOSリモート設定」を選ぶ**

2 **「AQUOSリモート設定」を選ぶ**

3 **「変更する」を選び、「する」を選ぶ**

4 **「機器名設定」を選ぶ**

5 **「機器名」を選び、本機の名前を入力する**
- 入力した「機器名」が、携帯端末側の操作時に本機の名前として表示されます。
- パソコンのターミナルソフトなどを使って本機を操作するときに、「機器名」が必要になる場合があります。
- リモート再生の機器名としても利用されます。

6 **「詳細設定」を選び、「変更する」を選ぶ**

7 **画面の指示に従って、「ログイン情報」を設定する**
- ログイン情報（ログインIDとパスワード）を設定しておくと、想定外の機器から本機が操作されることを防止できます。

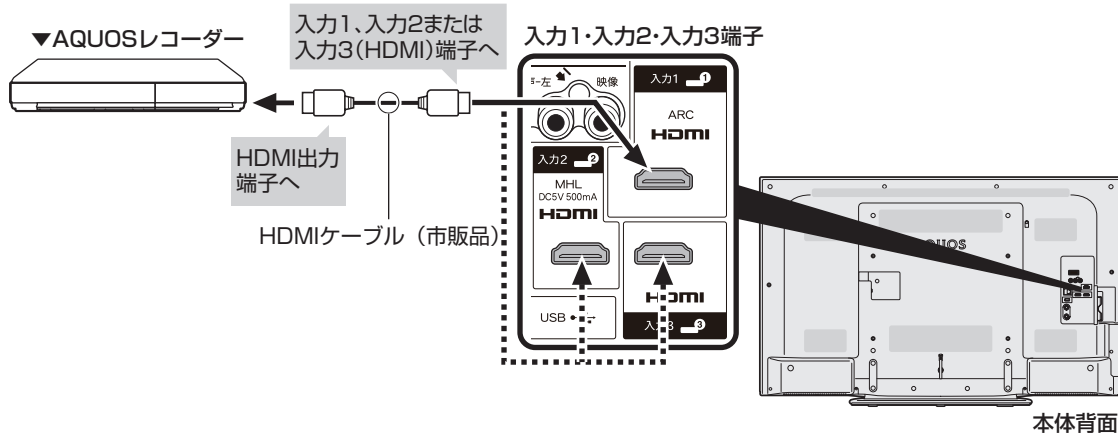
8 **画面の指示に従って、「コントロールポート」を設定する**
- パソコンのターミナルソフトなどで必要な設定です。
- 設定可能な値は1024～65535です。telnetポート（23）やsshポート（22）は設定できません。

ファミリンク対応機器をつなぐ

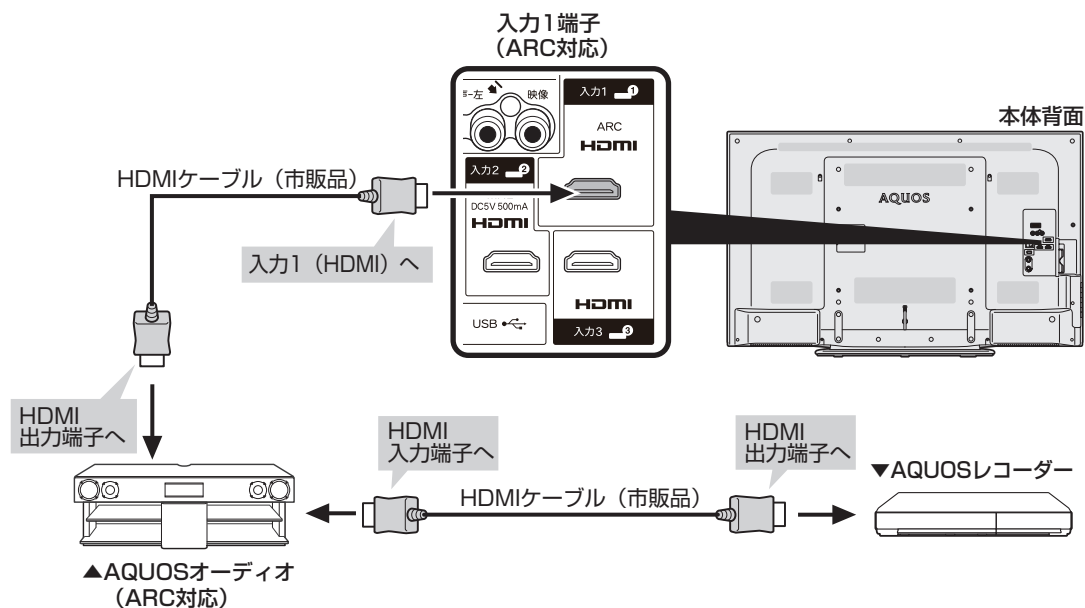
- 接続する機器の取扱説明書を併せてお読みください。
- ファミリンクで操作できる AQUOS レコーダーは 3 台までです。
- HDMI ケーブルは必ず市販の HDMI 規格認証品（ハイスピードタイプ）をご使用ください。規格外のケーブルを使用した場合、映像が映らない、音が聞こえない、映像にノイズが発生する、ファミリンクが動作しないなど、正常な動作ができません。
- 1080p の映像信号を入力するときは、HIGH SPEED（ハイスピード）に対応した HDMI ケーブルをお使いください。
- 下記に示した接続方法以外で接続した場合には、正しく動作しないことがあります。

◆ 重 要 ◆

- HDMI ケーブルや電源コードを抜き差ししたり、機器との接続方法を変えた場合は、すべての周辺機器の電源を入れた状態で本機の電源を入れ直し、本機の入力を入力 1 ～ 3 に切り換えて映像と音声が正しいことを確認してください。

AQUOS レコーダーのみをつなぐとき

AQUOS オーディオ（ARC 対応）を同時につなぐとき

本機の入力 1（HDMI）端子につないでください。

- 本機の入力 1（HDMI）端子は ARC（オーディオリターンチャンネル）に対応しています。本機の入力 1（HDMI）端子に ARC 対応の AQUOS オーディオをつなぐと、本機から AQUOS オーディオへの音声出力も HDMI ケーブル 1 本で可能です。
- ARC に対応した HDMI ケーブルをお使いください。ARC に対応していない HDMI ケーブルの場合、音が出ない、音が途切れる、ノイズが混ざるといった症状が発生することがあります。

◇おしらせ◇

- ARC 非対応の AQUOS オーディオは、本機では使用できません。

ファミリンクで使う

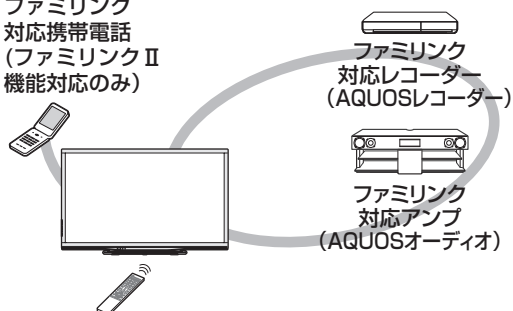
ファミリンクとは

- HDMI 端子は、映像や音声信号だけでなく、HDMI ケーブルを介して機器間を制御するコントロール信号もやり取りすることができます。この相互に機器間を制御できる規格－HDMI CEC（Consumer Electronics Control）－を使ってシャープ製の液晶テレビやレコーダー、AV アンプなどを相互に制御しスムーズに連携できるようにしたのが、ファミリンクです。

本機に、ファミリンクに対応したレコーダー（AQUOS レコーダー）や AV アンプ（AQUOS オーディオ）を HDMI 認証ケーブルで接続すると、本機のリモコンまたはレコーダーに付属のリモコンで、下記の連動操作が楽しめます。

テレビで見ている番組を、ワンタッチ録画

テレビの番組表で、録画予約

録画した番組を、かんたんに再生

◇おしらせ◇

- ファミリンクの対応機種については SHARP web ページ内の AQUOS サポートページ「他の機器と接続するには→ AQUOS ファミリンクについて（▼対応機種一覧）」をご覧ください。

> **AQUOS サポートページ**
> http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html

- 本機のリモコンでファミリンクを使う場合には、本機に向けて操作してください。AQUOS レコーダーは直接リモコン信号を受信しません。
- 本機には i.LINK 端子はありません。そのため、ハイブリッドダブレコ機能搭載の AQUOS レコーダーと接続したとき i.LINK 録画（2 番組同時録画）は働きません。

ファミリンク機能を使う前に

1 ファミリンク対応機器とつなぐ⇒95～96ページ

- 市販品の HDMI 認証ケーブルを使って、ファミリンク対応機器と本機をつないでください。

2 設定をする

- ファミリンク機能を使うための設定、（⇒ **97** ～ **98** ページ）が必要です。（本機に付属のリモコンでも設定できます。）
- AQUOS レコーダー側の設定も必要です。⇒機器に付属の取扱説明書をご覧のうえ、設定を行ってください。

3 ファミリンクで楽しむ

- ファミリンクⅡ機能に対応した機器をお使いの場合は、ファミリンクパネルで操作できます。⇒ **99** ページ
- 録画・録画予約してみましょう。⇒ **100** ～ **102** ページ
- 再生してみましょう。⇒ **102** ページ
- AQUOS オーディオを使ってみましょう。⇒ **103** ページ
- 携帯電話をつないで楽しみましょう。⇒ **104** ～ **105** ページ

ファミリンク機能を使うための設定

ファミリンク対応機器から本機を自動で起動する

- ファミリンク対応機器を操作すると本機の電源が自動的に入るように設定します。

1 **ホームメニューから「リンク操作」－「ファミリンク設定」を選ぶ**

2 **「連動起動設定」を選び、「する」に設定する**

次のページに続く

録画先として使うファミリンク機器を選ぶ

- リモコンの録画ボタンを押したときに録画するファミリンク機器を選ぶ設定です。
- ファミリンク機器に録画するには、「ファミリンクレコーダー」を選択の上、「ファミリンクレコーダー選択」で機器を選択してください。

1 **ホームメニューから「設定」－「（視聴準備）」－「録画機器選択」を選び、決定する**

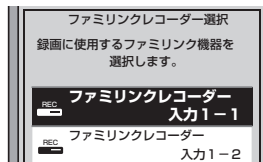
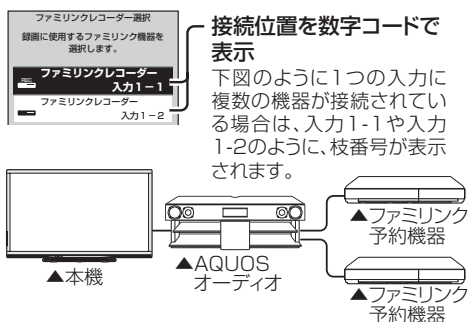
2 **録画するファミリンク機器を選び、決定する**

- USB-HDD は、USB ハードディスクを接続しているとき選択ができます。
- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

ファミリンク録画の録画先として使うレコーダーを選ぶ

- AQUOS レコーダーをつないだときの設定です。本機からファミリンク録画・録画予約するレコーダーを指定するための設定です。

1 **ホームメニューから「リンク操作」－「ファミリンク設定」－「ファミリンクレコーダー選択」を選ぶ**

2 **ファミリンク録画予約で録画する機器を選ぶ**

AQUOS オーディオを接続しているときの設定画面について

本機のリモコンで AQUOS レコーダーの選局などの操作をできるようにする

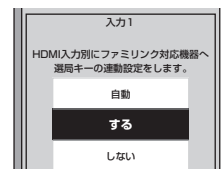
「選局キー」を「する」に設定すると、本機のリモコンで、以下の AQUOS レコーダーの操作が行えます。

- 選局ボタンと数字ボタン（チャンネルボタン）の 1 ～ 12 で選局の操作ができます。ただし、11 12 は、レコーダーによっては動作しない場合があります。
- 番組表ボタンで番組表を表示できます。
- データ連動ボタンで連動データ放送を表示できます。
- 番組表の表示や、データ連動ボタンは、接続している機器によっては操作できない場合があります。

この設定は、入力端子ごとに設定します。

1 **ホームメニューから「リンク操作」－「ファミリンク設定」－「選局キー」を選ぶ**

2 **本機のリモコンで操作する機器を接続している入力を選ぶ**

3 **「する」を選ぶ**

- 「自動」に設定すると、「しない」に設定したときと同じ動作をします。しかし、接続されている機器から要求があった場合のみ、「する」に設定したときと同じ操作ができます。

一般の HDMI 機器が誤作動するときは

- ファミリンクに対応していない機器をつないでいるときに、その機器の電源が勝手に入ったりチャンネルが変わってしまう場合に行う設定です。

1 **ホームメニューから「リンク操作」－「ファミリンク設定」を選ぶ**

2 **「ファミリンク制御（連動）」を選び、「しない」に設定する**

ファミリンク制御（連動）
する　しない

AQUOS レコーダーのスタートメニューを表示する

• AQUOS レコーダーのセットアップメニューなどを表示することができます。表示される内容は AQUOS レコーダーによって異なります。

1 **ホームメニューを表示して、「リンク操作」−「スタートメニュー表示」を選び、決定する**

• AQUOS レコーダーのスタートメニューが表示されます。
• AQUOS レコーダーの状態（録画中、電源待機中）によっては正しく表示されない場合があります。

◇**おしらせ**◇

• スタートメニューを表示できる AQUOS レコーダーの対応機種については、SHARP web ページ内の AQUOS サポートページ「他の機器と接続するには→ AQUOS ファミリンクについて （▼対応機種一覧）」をご覧ください。

AQUOS サポートページ
http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html

本機から AQUOS レコーダーの電源を入／切するには

• 本機とつないだ AQUOS レコーダーの電源を、本機から入／切できます。

1 **ホームメニューから「リンク操作」−「レコーダー電源入／切」を選ぶ**

• この操作をするたびに、本機とつないでいる AQUOS レコーダーの電源を入／切できます。

ファミリンクパネルの操作のしかた

ファミリンクⅡ機能に対応したAQUOS オーディオ・BD プレーヤー・BD レコーダーを接続した場合に、ファミリンク対応機器操作用のファミリンクパネルを表示できます。（表示内容は機器により異なります。）

• ファミリンク対応機器と接続しているときは、ファミリンクパネルで、一時停止や再生などの操作ができます。

◆ **重　要** ◆

• ファミリンクⅡ機能に対応していない機器（ファミリンクⅠ対応機器）では、ファミリンクパネルはお使いいただけません。
•

1 **ファミリンクパネルを表示する**

• ファミリンクを押します。

2 **操作したい機器を選び、決定する**

3 **操作したい機能のボタンを選び、決定する**

◇**おしらせ**◇

• プレーヤーや AQUOS オーディオ、携帯電話と接続したときは、上記の操作パネルと異なる内容の操作パネルが表示されます。

見ている番組をすぐに録画する（ワンタッチ録画）

◆ **重　要** ◆

ファミリンクで録画を行う前に AQUOS レコーダー側の録画準備が必要です。次のことなどを確認します。

- 本機と AQUOS レコーダーをつないでいますか。
- B-CAS カードが挿入されていますか。有料放送を録画するときは、有料放送の受信契約時に登録した B-CAS カードが、AQUOS レコーダーに挿入されていることを確認してください。
- アンテナが接続されていますか。
- 記録メディア（HDD、BD、DVD など）に空き容量がありますか。
- 「録画機器選択」で録画機器をつないでいる入力を選んでいますか。（⇒ **98** ページ）
- 初期設定では入力 1 に接続したレコーダーに録画する設定になっています。

再生・録画するメディア（HDD/DVD など）を切り換える

- 必要に応じて AQUOS レコーダー側の HDD モード／ BD モード／ DVD モードを切り換えます。

1 **ホームメニューを表示して、「リンク操作」ー「機器のメディア切換」を選び、決定する**

2 **レコーダーのメディアの種類（「HDD」や「BD/DVD」、「DVD」など）を選び、決定する**

- AQUOS レコーダー側の操作したい記録メディアを選びます。
- 「機器のメディア切換」で決定するごとに、メディアが順次切り換わります。メディアが正しく切り換わったかどうかは、レコーダー側の表示をご確認ください。

見ている番組を AQUOS レコーダーに録画する

を押す

録画したい番組の視聴中に録画ボタンを押す

- 「ファミリンクレコーダー選択」（⇒ **98** ページ）で選択した AQUOS レコーダーのチャンネルが、本機で視聴中のチャンネルに切り換わり、AQUOS レコーダーに録画を開始します。
- 「録画機器選択」を「ファミリンクレコーダー」にしていない場合、「録画機器選択」で選択した機器に録画されます。ファミリンクレコーダーに録画する際は、「録画機器選択」を変更してください。
- 「録画機器選択」が「録画時に選択する」に設定されている際は、録画先の選択画面が表示されますので、レコーダーに録画する際は「ファミリンク録画」を選択してください。

録画の停止について

- お使いの AQUOS レコーダーによっては、録画終了時刻が表示されます。表示された時刻になると自動的に録画が停止されます。
- USB-HDD の録画実行中は録画停止の選択画面が表示されますので、レコーダーの録画を停止する場合は、「ファミリンク録画停止」を選択してください。

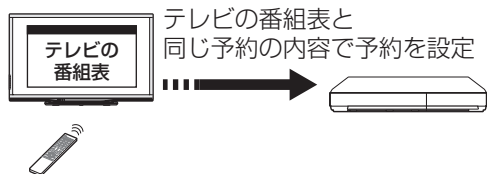
録画終了時刻が表示されない AQUOS レコーダーの場合は

- 手動で録画の停止が必要です。録画したい番組が終わったら、［録画停止］を押すか、ファミリンクパネルを表示して「録画停止」ボタンを選んでください。（⇒ **99** ページ）
- ファミリンクⅡ機能に対応していないレコーダーの場合は、レコーダーのリモコンで録画停止してください。

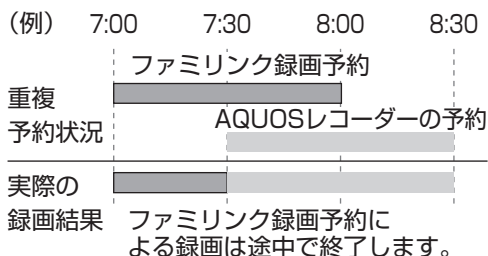
◇ **おしらせ** ◇

- 「録画機器選択」（⇒ **98** ページ）で選択した AQUOS レコーダーで受信した放送を視聴しているときは、視聴している AQUOS レコーダーに録画を開始します。
- 「録画機器選択」（⇒ **98** ページ）で選択した AQUOS レコーダー以外で受信した放送を視聴しているときや、他の外部入力を視聴しているときは、録画ボタンを押しても録画できません。

本機の番組表でAQUOSレコーダーに録画予約する

- 本機の番組表から接続しているAQUOSレコーダーに録画予約できます。

◆ 重 要 ◆

ファミリンクで録画予約するときのご注意

- 録画予約した番組の録画が終了する前に本機の電源を切るときは、リモコンの電源ボタンで電源を切って（待機状態）ください。「電源ボタン設定」（⇒ **28** ページ）を「モード2」に設定して本体の電源ボタンで電源を切ると、正しく録画されません。
- 録画予約状態を解除すると、レコーダーの録画が停止して、電源が切れます。
- AQUOSレコーダーで日時の重なる番組が予約されている場合は、レコーダー側の予約が優先されます。

- 番組の放送時間が延長された場合、録画の終了時刻が延長されるかは、お使いのAQUOSレコーダーによって異なります。
- 詳しくは、SHARP web ページ内のAQUOSサポートページ「他の機器と接続するには→ AQUOSファミリンクについて（▼対応機種一覧）」をご覧ください。

> AQUOSサポートページ
> http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html

- 録画予約した番組が開始する2分前から番組が開始する直前まで、選局の操作はできません。

◇おしらせ◇

- 予約の確認・取り消し・変更については⇒ **55** ページをご覧ください。
- ファミリンク録画予約の準備中や実行中は、USBハードディスクへの録画はできません。

1 AQUOSレコーダー側の準備をする

- 本機とAQUOSレコーダーを接続します。
- HDDに録画する場合は、HDDの残量を確認します。
- 有料放送を録画するときは、有料放送の受信契約時に登録したB-CASカードが、AQUOSレコーダーに挿入されていることを確認してください。

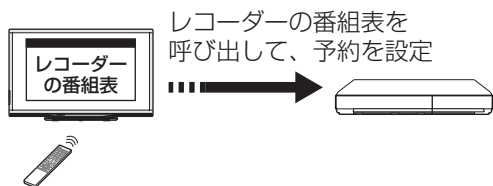
2 本機の番組表を表示し、予約したい番組を選び、決定する

- ジャンルや日時などを指定して番組を選ぶこともできます。（⇒ **12** ページ）
- 同じ時間帯に他の番組が予約されていると、先の予約を削除する画面になります。

3 「ファミリンク録画予約」を選び、決定する

- 機器が利用できない場合は選択できません。
- 表示されている接続機器と違う機器に録画したい場合は、予約設定後にファミリンクレコーダー選択（⇒ **98** ページ）を行ってください。
- USBハードディスクを接続し、設定が完了（⇒ **47** ～ **48** ページ）しているときは、USBハードディスクへの録画予約となります。「ファミリンク録画予約」に変更する場合は⇒ **55** ページで「ファミリンク録画」に変更してください。
- AQUOSレコーダー側で設定した予約と日時が重複している場合は、「AQUOSレコーダーで日時の重なる番組が予約されていますので、レコーダーの予約が優先されます。」と表示されます。今選んでいる番組を予約したい場合は、AQUOSレコーダーの予約を取り消してください。
- 予約が設定され、TIMER/REC（タイマー／録画）ランプ（⇒ **8** ページ）が点灯します。
- 操作を終了する場合は、番組表ボタンを押します。

AQUOS レコーダーの番組表を呼び出して録画予約する

レコーダーの番組表を呼び出して、予約を設定

1 **ホームメニューを表示して、「リンク操作」－「リンク予約（録画予約）」を選び、決定する**

- 表示されたレコーダーを選択すると、レコーダー側の番組表が表示されます。

2 **予約したい番組を選び、録画予約の操作をする**

- レコーダー側の番組表は本機のリモコンの（決定）決定 戻る 終了 青 赤 緑 黄 で操作します。（詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。）

AQUOS レコーダーを再生する

AQUOS レコーダーの録画リストから再生する

- 本機のリモコンを使って、本機と HDMI 接続した AQUOS レコーダーの録画リストから見たい番組を再生します。
- あらかじめ「連動起動設定」を「する」に設定します。（⇒ **97** ページ）

1 **「ツール」－「再生機器選択」を選び、再生したいAQUOSレコーダーを選び、決定する**

- ツール を押します。
- AQUOS レコーダーを接続しているとき選択できます。

2 **録画リストを表示する**

- 録画リスト を押します。

3 **再生したい番組（タイトル）を選び再生する**

- 録画リストは本機のリモコンの（決定）決定 戻る 終了 青 赤 緑 黄 で選択などの操作ができます。
- 選んだ番組が再生されます。
- 停止したいときは、停止 ■ を押します。
- 停止したときは、切り換わった入力のままです。

◇**おしらせ**◇

- AQUOS レコーダーが DVD モードになっていて DVD ビデオなどの録画リストがないディスクがセットされている場合、録画リストは表示されません。ホームメニューから「リンク操作」－「機器のメディア切換」を選んで、AQUOS レコーダーのモードを切り換えてください。
- PinP のときは、以下のボタンでレコーダーのスタートメニュー、番組表や録画リストなどの操作はできません。

最後に録画した番組を再生する（ワンタッチプレー）

- 本機のリモコンを使って、本機と HDMI 接続した AQUOS レコーダーを操作できます。

1 **「ツール」－「再生機器選択」を選び、再生したいAQUOSレコーダーを選び、決定する**

- ツール を押します。
- AQUOS レコーダーを接続しているとき選択できます。

2 **録画した番組を再生する**

- 再生 ▶ を押します。
- 最後に再生または録画した番組が再生されます。
- 録画した番組の中（録画リスト）から見たい番組を選んで再生したいときは、ホームメニューから「リンク操作」－「録画リストから再生」を選びます。

再生中の操作について

- ファミリンクで再生しているときは、ファミリンクパネルで操作が行えます。
⇒ **99** ページ
- リモコンの 早戻し ◀◀ 再生 ▶ 早送り ▶▶ 停止 ■ でも操作が行えます。

複数の HDMI 対応のレコーダー（録画機器）をお使いのときは

- 視聴する HDMI 機器を選びます。

1 **ホームメニューから「リンク操作」－「ファミリンク機器リスト」を選ぶ**

2 **視聴したい機器を選ぶ**

AQUOS オーディオで聞く

- AQUOS オーディオで音声が楽しめます。（本機のスピーカーからは音が出ません。）
- 本機のリモコンで AQUOS オーディオの音量調整、消音、音声切換の操作ができます。

オーディオリターンチャンネル（ARC）対応の AQUOS オーディオをつないだときは

- 「ARC（オーディオリターンチャンネル）」は、テレビのチューナーの音声を HDMI ケーブルを使って AV アンプなどに伝送する機能です。
- 「ARC 設定」を「自動」に設定すると、本機と ARC 対応の AQUOS オーディオを HDMI ケーブル一本で接続することができます。**この機能は、入力 1 端子に接続したときのみ使えます。**

1. **ホームメニューから「リンク操作」－「ファミリンク設定」を選ぶ**
2. **「ARC設定」を選び、「自動」に設定する**

番組内容に適した音に切り換える

- デジタル放送のジャンル情報に従って、AQUOS オーディオが適切なサウンドモードに切り換わるように設定できます。

1. **ホームメニューから「リンク操作」－「ファミリンク設定」を選ぶ**
2. **「ジャンル連動」を選び、「する」に設定する**

◇**おしらせ**◇

- DVD 映像はジャンル情報がありません。自動でサウンドモードが切り換わりませんので、AQUOS オーディオ側で適切なサウンドモードに切り換えてください。
- サウンドモードについて詳しくは AQUOS オーディオの取扱説明書をご覧ください。

携帯電話を AQUOS に
つないで楽しむ

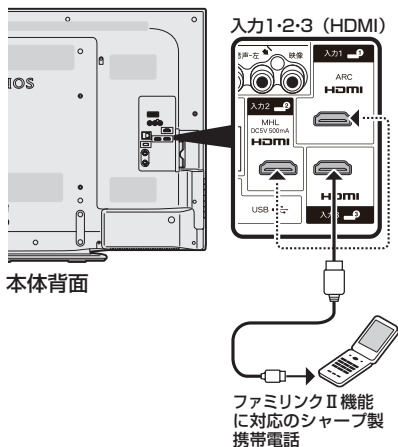
ファミリンクⅡ機能に対応したシャープ製携帯電話を接続すると、ファミリンクパネルで操作できます。また、携帯電話接続中に電話やメールが着信すると、視聴画面にAQUOS からのお知らせとして表示されます。

- HDMI micro 端子の付いた携帯電話（ファミリンクⅡ機能に対応したシャープ製携帯電話）と本機をつなぐと、さまざまなコンテンツが楽しめます。
  - 動画・写真の再生
  - 音楽の再生
  - ホームページの閲覧
  - メールの表示
  - ドキュメントの閲覧 など
- 本機のリモコンで、携帯電話の操作ができます。
- 携帯電話の出力するコンテンツに合わせ、適切な画質とサイズで表示します。
- 携帯電話のファミリンクⅡ対応機種については、SHARP Web ページ内の AQUOS サポートページをご覧ください。

AQUOS サポートページ
http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html

◆ **重　要** ◆

- ファミリンクⅡ機能に対応していないシャープ製の携帯電話または、他社製の携帯電話では、ファミリンクパネルはお使いいただけません。

1 ファミリンクⅡ機能に対応している携帯電話を、本機につなぐ

2 ファミリンクパネルを表示する

ファミリンク を押す

3 操作したい機器を選び、決定する

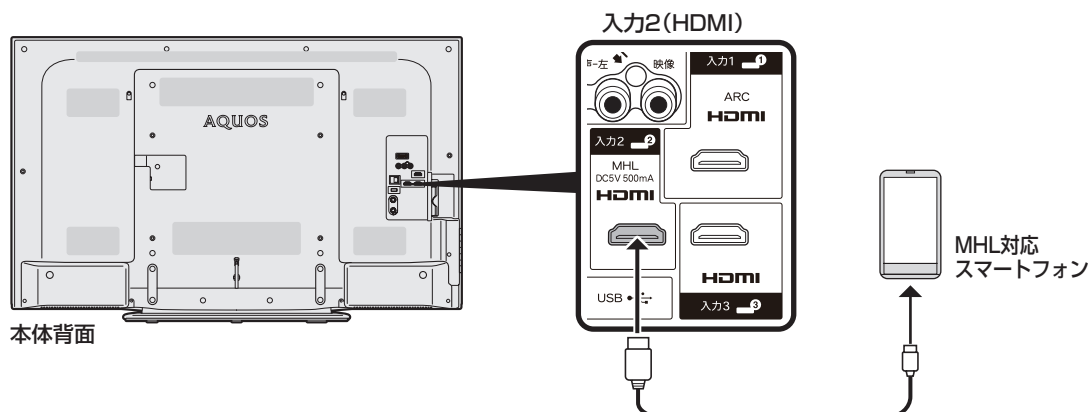
4 操作したい機能のボタンを選ぶ

で選び 決定 を押す

携帯電話を取り外すときは

- 操作ボタンの 取り外し を選んで決定してから、携帯電話を取り外します。

MHL 対応スマートフォンとの接続について

- MHL 対応 MHL ケーブル（市販品）で、スマートフォンを入力 2 の HDMI 端子に接続することができます。
- 接続することにより、スマートフォンの画面をテレビに表示し、同時にスマートフォンの充電も行えます。（機種によっては充電ができない場合があります。）
- ファミリンクと同様に、スマートフォンを接続することで、テレビの電源が自動的に入り、入力 2 に切り換わります。
- テレビのリモコンの上下左右ボタン・決定ボタンを使ってスマートフォンの操作を行います。
- できる操作は、実行するアプリによって異なります。
- メールや検索時の文字入力はできません。
- スマートフォンの操作については、お使いのスマートフォンに付属の取扱説明書をご覧ください。
- 電源をリモコンで切っても MHL 対応スマートフォンは充電を続けます。

スマートフォンを接続してもテレビの電源が自動的に入らないようにするには

1. ホームメニューを表示して、「設定」－「（機能切換）」－「ファミリンク設定」－「連動起動設定」を選ぶ
2. 「しない」を選び、決定する

テレビのリモコンでスマートフォンを動作させない場合は

1. ホームメニューを表示して、「設定」－「（機能切換）」－「ファミリンク設定」－「ファミリンク制御（連動）」を選ぶ
2. 「しない」を選び、決定する

◇おしらせ◇

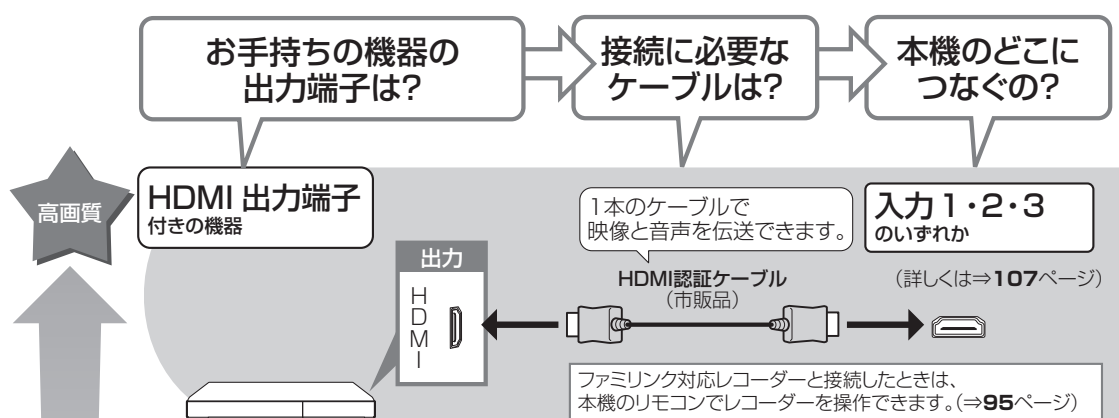
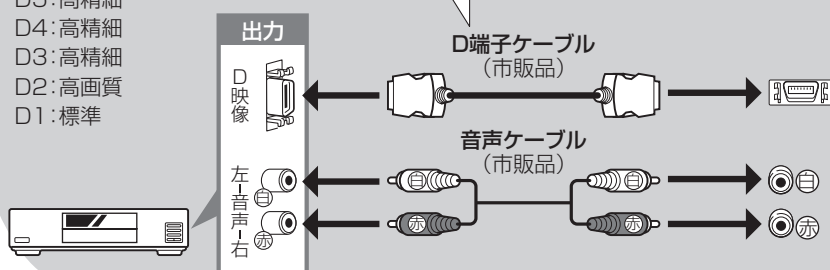
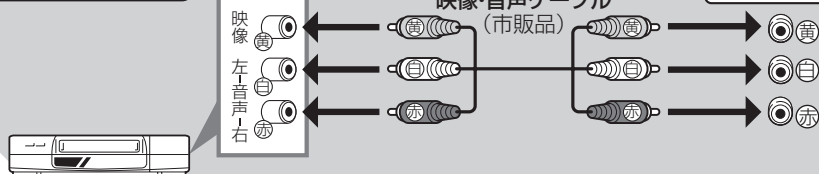
- MHL に対応しているのは、入力 2 のみです。他の端子に接続しても動作しません。
- テレビがスタンバイ状態でコンセントを抜き差ししたときは、テレビの電源を入れるまでの間、MHL 接続による連動起動は動作しません。
- 本製品は、MHL1 をサポートしています。
- テレビの起動直後は、MHL 接続による自動入力切換は動作しません。
- スマートフォンのバッテリー残量がない場合は充電できないことがあります。
- 「連動起動設定」（⇒ **97** ページ）を「しない」に設定していて、テレビがスタンバイ状態のときに MHL 接続した場合は、スマートフォンが充電されないことがあります。

レコーダー・プレーヤー・ゲーム機などをつなぐ

よりきれいな映像を楽しむためには

・お手持ちの録画・再生機器の出力端子を確認し、高精細・高画質に対応した出力端子とつなぐと、よりきれいな映像が楽しめます。

◇**おしらせ**◇

・映像・音声ケーブルは先端部と同じ色の端子（㊌と㊌、㊐と㊐、㊍と㊍）につなぎます。
・映像の種類と画質について⇒ **22**・**149** ページ
・高精細・高画質に対応した端子でも、標準画質で入力された映像は標準画質になります。

接続するときに気をつけること

- 接続の前に、接続する機器と、本機の電源を切ってください。
- 接続ケーブルのプラグは奥までしっかり差し込んでください。
  しっかり差し込めていないと、画像や音声にノイズや雑音が出る原因となります。
- 接続ケーブルを端子から抜くときは、ケーブルを引っ張らずにプラグを持って抜いてください。
- 複数の機器を接続したときは、お互いの干渉を防ぐため、使わない機器の電源は切ってください。
- 接続した機器の再生映像や音声にノイズや雑音が出るときは、接続した機器と本機を十分に離してください。

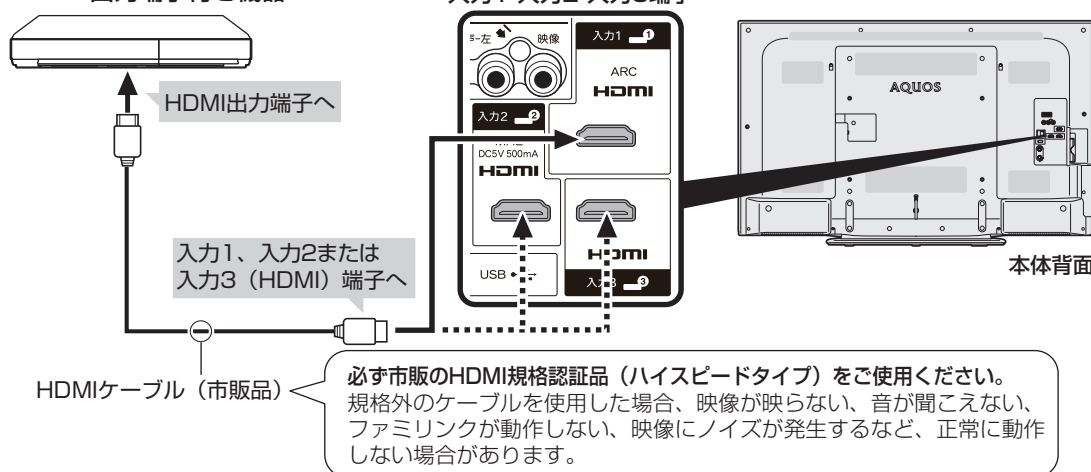
レコーダーやプレーヤー側の接続端子について

- 詳しくは、レコーダーやプレーヤーの取扱説明書を併せてお読みください。

レコーダーをお持ちの場合

- プレーヤーなどの機器を接続するときは、本機に直接接続してください。レコーダーを通して本機で映像を見ると、コピーガード機能の働きにより、映像が正常に映らないことがあります。

HDMI 出力端子が付いた機器の場合

- 本機の HDMI 入力端子は 1080p の信号入力に対応しています。1080p の映像信号を入力するときは、HIGH SPEED（ハイスピード）に対応した HDMI ケーブルをお使いください。

対応している映像信号

- 1080p（24Hz/30Hz/60Hz）、720p（30Hz/60Hz）、1080i、480p、480i、VGA

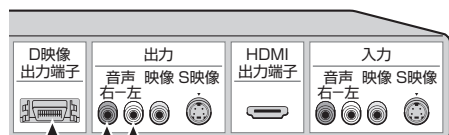
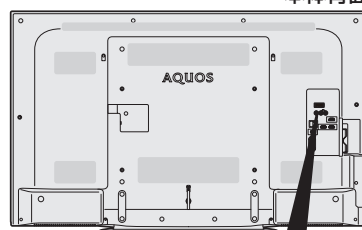
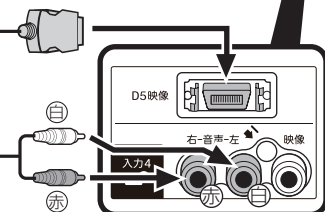
対応している音声信号

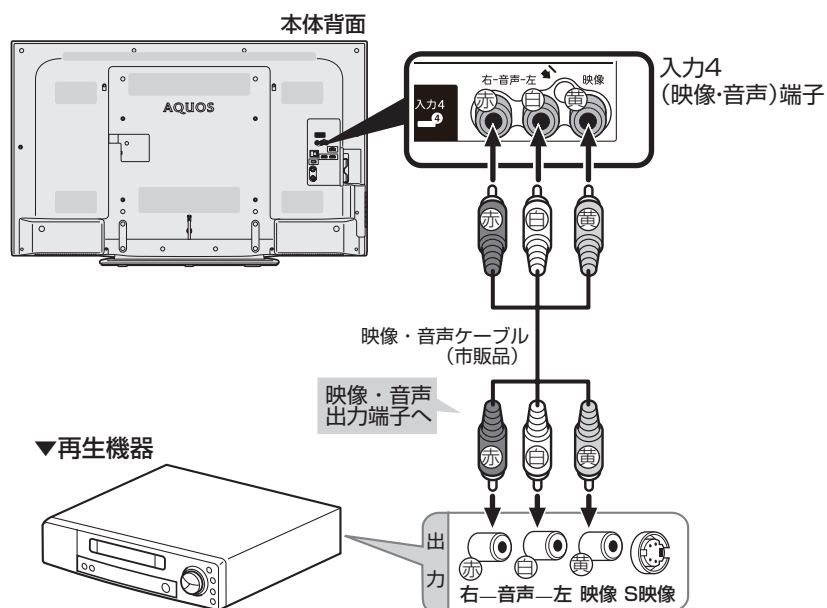
- 種類：リニア PCM、AAC、ドルビーデジタル
  サンプリング周波数：48kHz ／ 44.1kHz ／ 32kHz

◇**おしらせ**◇

- ファミリンクに対応していない機器をつないだとき、その機器の電源が勝手に入ったりチャンネルが切り換わってしまう場合は、「ファミリンク制御（連動）」を「しない」に設定してください。（⇒ **98** ページ）

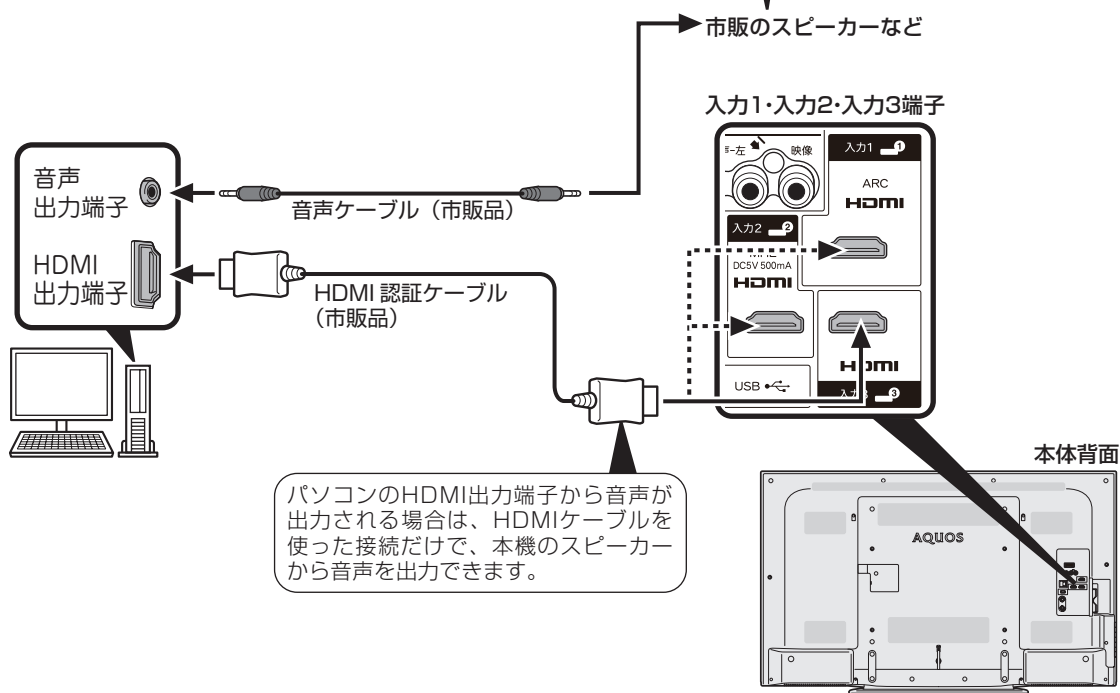
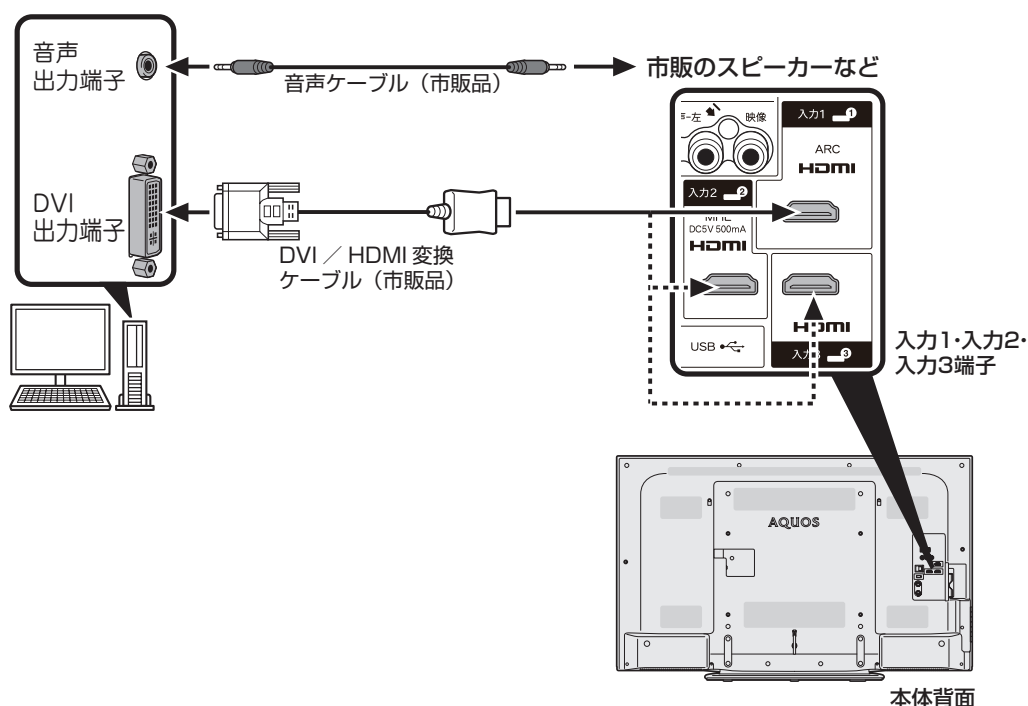
もくじ／ご注意／各部のなまえ
ふだんの使いかた
メニュー操作
USBメモリー
USBハードディスク
インターネット／ホームネットワーク
ファミリンクで使う／レコーダーやパソコンをつなぐ
個別設定／放送の種類について
故障かな？／エラーメッセージ
お役立ち情報（仕様や索引）
English Guide

D 映像出力端子が付いた機器の場合

- 録画・再生機器に HDMI 端子も D 映像端子もない場合は、映像端子につなぎます。**次ページ**をご覧ください。

映像出力端子が付いた機器の場合（再生するときの接続）

• 接続が終わるまで、本機と録画機器の電源を入れないでください。

もくじ／ご注意／各部のなまえ
ふだんの使いかた
メニュー操作
USBメモリー
USBハードディスク
インターネット／ホームネットワーク
ファミリンクで使う／レコーダーやパソコンをつなぐ
個別設定／放送の種類について
故障かな？／エラーメッセージ
お役立ち情報（仕様や索引）
English Guide

パソコンをつなぐ

本機を HDMI 出力端子付きパソコンのモニターとして使う場合（デジタル接続）

・ 市販の HDMI 認証ケーブルが必要です。

本機を DVI 出力端子付きパソコンのモニターとして使う場合（デジタル接続）

- 市販の DVI/HDMI 変換ケーブルと音声ケーブルが必要です。
- 音声は、本機のスピーカーからは出力できません。
- 本機の HDMI 端子とパソコンの DVI 端子を変換ケーブルで接続しても、パソコンによっては HDMI 規格に対し十分サポートされていないものもあり、パソコンの画面が正しく表示されなかったり、まったく表示されない場合があります。
- 本機で対応していない信号が入力されたときには「この入力信号には対応しておりません」と表示されます。その場合はお使いのパソコンの取扱説明書にもとづき本機で対応している信号に設定してください。

パソコンのモニターとして使う

パソコンとつなぐ⇒**110〜111** ページ

- 本機にパソコンをつなぐ場合は、パソコン（PC) の DVI 出力／ RGB 出力の解像度を確認してください。パソコンが以下の解像度に対応していない場合は、本機でパソコンの画面を表示できません。

本機が対応している解像度

解像度 (画素）		水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）	VESA規格
VGA	720 × 400	31.5	70	
	640 × 480	31.5	60	○
		37.9	72	○
		37.5	75	○
SVGA	800 × 600	35.1	56	○
		37.9	60	○
		48.1	72	○
		46.9	75	○
XGA	1024 × 768	48.4	60	○
		56.5	70	○
		60.0	75	○
WXGA	1360 × 768	47.7	60	○
SXGA	1280 × 1024	64.0	60	○
SXGA+	1400 × 1050	65.3	60	○
480p	720 × 480	31.5	60	
※ 1080i	1920 × 1080	33.8	60	
720p	1280 × 720	45.0	60	
1080p	1920 × 1080	67.5	60	

※の入力信号の画面サイズについては、
⇒ **150** ページをご覧ください。

◇**おしらせ**◇

- 省エネの設定をすることができます。(⇒ **19・30** ページ)
- 接続するパソコンによっては、本機で対応している信号であっても正しく表示できなかったり、まったく表示されない場合があります。
- 本機で対応していない信号が入力されたときは、「この入力信号には対応しておりません。」と表示されます。その場合、お使いのパソコンの取扱説明書などをご覧になり、本機で対応している信号に設定してください。
- PC 入力信号により、選べる画面サイズが異なる場合があります。画面サイズの種類については、⇒**下記**をご覧ください。
- 特定の入力信号時、特定の条件下で画面の文字などににじみが出ることがあります。

本機で選べる画面サイズ（パソコンからの入力信号により、選べる画面サイズが異なる場合があります。）

パソコンの画面を表示させる／画面サイズを選ぶ

パソコンの画面を表示させる

1 パソコン(PC)の電源を入れる

2 入力切換メニューを表示する

- 入力切換 ボタンを押します。
- 表示中に次の手順に進みます。

3 繰り返し押して、パソコンを接続した入力を選ぶ

入力切換のしかた

- ⇒ **22** ページ

パソコンの画面が表示されます。

画面サイズを選ぶ

4 ホームメニューを表示して、「設定」－「(機能切換)」－「視聴操作」を選び、決定する

5 「画面サイズ」を選び、決定する

6 お好みの画面サイズを選び、決定する

7 画面サイズ切換メニューを消す

入力 1 ～ 3 に接続したパソコンの画面を調整する

- ホームメニューから「設定」－「（機能切換）」－「画面表示設定」－「画面位置」で設定します。（⇒ **33** ページ）

◇**おしらせ**◇

- 画面の明るさや色の調整などについては「映像調整」（⇒ **29** ページ）をご覧ください。

デジタル放送の受信の設定を個別に行うときは

デジタル放送用アンテナの設定をする

- デジタル放送用のアンテナの接続を変更したときなどは、再度アンテナ設定画面を見ながらアンテナ電源の設定やアンテナの向きを調整します。（初めて設置するときや引っ越したときなどは、「かんたん初期設定」（⇒**「かんたん !! ガイド」（巻末） 12** ～ **14** ページ）を行ってください。）
- 地上デジタル放送にはアンテナ電源入／切の設定はありません。

アンテナ電源の設定

項目	内容
オート	• 個人でアンテナを設置している場合に選びます。 • 本機の電源が入っているとき、アンテナ電源の設定を自動的に制御してアンテナに電源を供給します。（リモコンで電源を切ったときは、アンテナ電源も切れた状態になります。）
入	• 「オート」を選んで BS デジタル放送が受信できたりできなかったりするときは、「入」を選びます。 • 本機の電源が入っているとき、アンテナに電源を供給します。リモコンで本機の電源を切ったときも、常にアンテナ電源は「入」になります。
切	• 共聴アンテナに接続しているときなど、電源を供給しないときに選びます。 • アンテナ電源が常に「切」になります。

アンテナ設定画面について

- 共聴アンテナなどに接続したときの「BS・CS アンテナ電源」の設定を誤って「入」にしたり、新しくアンテナの接続を変更したりした場合で、「アンテナ線の接続や設定に不具合がありますのでアンテナ電源を「切」にしました。受信できない場合は、本体の電源を切ってから、アンテナの接続を確認してください。」などのお知らせが表示されたときは、電源を入れ直してください。
- アンテナ設定画面は無操作のまま 1 分経過しても消えません。消すときは、終了ボタンを押してください。

アンテナの電源の設定を変える／電波の強さ（受信強度）を確認する

- アンテナに電源を供給するかどうかの設定と、受信強度の確認・調整をします。

◆ 重 要 ◆

- アンテナ電源供給の設定は、アンテナに対して電源を供給するためのものです。もし、本機とアンテナの間にブースターなどの機器を接続して使用される場合は、専用の電源が必要です。

1 **BSデジタル放送を選ぶ**

- 画面に「放送が受信できません」と表示されても、設定できます。
- 「チャイルドロック」（⇒ **31** ページ）をかけているとき、「地デジ限定設定」（⇒ **31** ページ）を「有効」にしているときなど、放送を切り換えることができない場合があります。

2 **ホームメニューを表示して、「設定」－「（視聴準備）」－「テレビ放送設定」を選び、決定する**

3 **「アンテナ設定」を選び、決定する**

4 **「電源・受信強度表示」を選び、決定する**

◆ アンテナに電源を供給するための設定

5 **「オート」「入」「切」のいずれかを選び、決定する**

◆ 受信強度の調整

6 **受信強度が最大になるように、アンテナの向きを調整する**

- 受信強度が 60 以上になるように、アンテナの向きを調整してください。（アンテナの向きの調整が済んでいる場合は、この手順は必要ありません。）

7 **調整が終わったら決定ボタンを押す**

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇**おしらせ**◇

- 手順**6**で「受信状態：良好です。【A】」と表示されないときは、**131**ページをご覧になり適切な処置を行ってください。
- 手順**5**または手順**6**の画面で、「受信状態一覧へ」を選び決定を押すと受信状態一覧画面が表示されます。（⇒ **123**ページ）
- 受信強度表示はアンテナの角度の最適値を確認するためのものです。表示される数値などは、具体的な受信強度などを示すものではありません。（表示される数値は、受信C/N※の換算値です。）
  ※ 受信C/Nとは放送に関する信号とノイズなどの不要な信号の割合です。

デジタル放送の受信強度の確認（信号テスト）をするときは

- 各デジタル放送の信号テストができます。

（例） BSデジタル放送の信号テストをする

1 **114ページの手順1～3を行い、「信号テストーBS」を選び、決定する**

2 **カーソルボタンで確認したい項目を選び、決定する**

- 「受信状態：良好です。【A】」と表示されていることを確認してください。
- 「受信状態：良好です。【A】」と表示されないときは、アンテナ受信強度に関するエラーメッセージ（⇒ **131**ページ）をご覧になり、適切な処置を行ってください。

3 **カーソルボタンで「終了」を選び、決定する**

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇**おしらせ**◇

地上デジタル放送・110度CSデジタル放送の受信強度の確認（信号テスト）について

- 手順**1**で「信号テストー地上D」または「信号テストーCS」を選び、決定ボタンを押します。あとは同じ要領で行ってください。

周波数設定について

- 手順**1**で「周波数設定」を選ぶと、新しい衛星が追加されたり現在の衛星が故障したりした場合などに、新しい周波数を入力することで受信に必要な情報を取得できます。
  通常は、設定する必要はありません。
  （例：BS15のアンテナ受信周波数11996を入力すると15chの受信強度が表示されます。）

お住まいの地域向けの地上デジタル放送を受信するために（地域選択／郵便番号設定）

- 地上デジタル放送の地域情報（緊急ニュースなどの文字情報やデータ放送などの地域情報）をお住まいの地域に合わせる設定です。

地域選択

1 **ホームメニューから「設定」－「（視聴準備）」－「テレビ放送設定」を選ぶ**

2 **「地域設定」を選ぶ**

3 **「地域選択」を選び、お住まいの地域を設定する**

- 地域選択を変更した場合は、あとで「チャンネル設定」から「地上デジタルー自動」を行ってください。（⇒**次**ページ）

郵便番号設定

1 **ホームメニューから「設定」－「（視聴準備）」－「テレビ放送設定」を選ぶ**

2 **「地域設定」を選ぶ**

3 **「郵便番号設定」を選び、数字ボタン（チャンネルボタン）で入力する**

- 入力した番号を修正するときは、修正したい欄を左右カーソルボタンで選び、数字ボタン（チャンネルボタン）で数字を選び直します。

地上デジタル放送の チャンネルを追加したり 設定をやり直すときは

- 地上デジタル放送のチャンネル設定を再度行う場合の手順です。**チャンネル設定の前に、必ず「地域設定」（⇒前ページ）をしてください。**

1 地上デジタル放送を選局する

2 ホームメニューから「設定」−「（視聴準備）」−「テレビ放送設定」を選ぶ

3 「チャンネル設定」−「地上デジタル」を選ぶ

4 「地上デジタル−自動」を選び、「する」に設定する

◆ 重 要 ◆

「地上デジタル−自動」を行った後で、新しく放送が開始されたチャンネルを追加するときは

- 「地上デジタル−自動」の代わりに「地上デジタル−追加」を選びます。すでに登録されているチャンネルはそのまま残り、新しく確認されたチャンネルが追加されます。追加が終わったら、「終了」で決定ボタンを押します。

◇**おしらせ**◇

地上デジタル放送のCATV（ケーブルテレビ）放送対応について

- CATVによる地上デジタル放送の視聴については、お客様が契約されているCATV会社にお問い合わせください。
- 本機で受信できるケーブルテレビ（CATV）の方式は、「パススルー方式」（UHF帯、ミッドバンド［MID］帯、スーパーハイバンド［SHB］帯、VHF帯）です。
- CATVパススルー方式とは、CATV配信局が地上デジタル放送を、内容はそのままでCATV網に流す放送方式です。この方式では、地上デジタル放送が本来使っているUHF帯のチャンネルとは異なる他のチャンネルに周波数を変換して再送信することがあります。

デジタル放送の チャンネルの個別設定

- 登録したデジタル放送のチャンネルは、次の設定内容を変更できます。

項目	内容
数字ボタン	• リモコンの数字ボタン（チャンネルボタン）を押したときに受信するチャンネルを設定します。
枝番	• 受信した放送局の3桁チャンネル番号が重複している場合は、4桁め（枝番）を変更して区別できます。（地上デジタル放送のみ）
スキップ	• 選局（∧順／∨逆）ボタンで選局をしたときに、視聴しないチャンネルを飛ばせます。「する」でスキップが設定され、「しない」で解除されます。

1 デジタル放送を選ぶ

- 「チャイルドロック」（⇒**31**ページ）をかけているとき、「地デジ限定設定」（⇒**31**ページ）を「有効」にしているときなど、放送を切り換えることができない場合があります。

2 ホームメニューを表示して、「設定」−「（視聴準備）」−「テレビ放送設定」を選び、決定する

3 「チャンネル設定」を選び、決定する

4 「地上デジタル」「BSデジタル」「CSデジタル」のいずれかを選び、決定する

- 「BSデジタル」または「CSデジタル」を選んだ場合は、手順**6**に進みます。

5 「地上デジタル−個別」を選び、決定する

6 ①変更したいチャンネルを選び、決定する
②「数字ボタン」を選び、決定する

- 枝番を入力する場合は、「枝番」を選び、1〜9を押します。
- チャンネルをスキップする場合は、「スキップ」を選び、左右カーソルボタンで「する」を選びます。このメニューで行ったスキップ設定は、⇒**117**ページのチャンネルスキップ設定と連動します。

7 入力欄に数字を入力して決定する

- 数字ボタンが重複している場合は、「数字ボタンが重複しています。置き換えますか？」と表示されます。（枝番の場合は「枝番が重複しています。置き換えますか？」と表示されます。）

数字ボタンを置き換える場合

- 手順 **8** に進みます。

置き換えずに別の数字にする場合

- 画面の「戻る」を選び、別の数字を入力して決定ボタンを押してください。

8 「確認」を選び、決定する

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇**おしらせ**◇

地上デジタル放送の受信チャンネル番号と枝番について

- 地上デジタル放送では、1 ～ 12 の数字ボタン（チャンネルボタン）の番号のほかに、3 桁のチャンネル番号が付けられています。1 つの放送局が複数の番組を同時に放送する場合には、3 桁のチャンネル番号で区別することになります。
- 3 桁のチャンネル番号は、放送地域内（都府県、北海道は 7 地域）ではそれぞれ別番号になっています。従って、通常は 3 桁で放送番組を特定できます。ただし、お住まいの地域により、隣接する他地域の放送も受信できることがあります。この場合は、3 桁チャンネル番号が重複することがあります。このときは、さらにもう 1 桁（これを「枝番」といいます）を入力して選局することになります。

チャンネルスキップ設定

両方する	• 選局時と番組表のどちらもスキップします。 • この設定をしたチャンネルは、選局時と、番組表のどちらにも、表示されなくなります。
番組表のみ	• 番組表のみ表示されなくなります。 • 選局時は表示されます。
選局のみ	• 選局時のみ表示されなくなります。 • 番組表には表示されます。
両方しない	• 選局時と番組表のどちらもスキップされません。 • この設定をしたチャンネルは、選局時と番組表のどちらにも表示されます。

1 「地上」「BS」「CS」ボタンのいずれかを押して、デジタル放送を選ぶ

2 ホームメニューを表示して、「設定」－「(視聴準備)」－「テレビ放送設定」を選ぶ

3 上下カーソルボタンで「スキップ設定」を選び、決定する

4 上下カーソルボタンで「地上デジタル」「BSデジタル」「CSデジタル」のいずれかを選び、決定する

5 手順4で「地上デジタル」または「BSデジタル」を選んだ場合は、上下カーソルボタンで「放送事業者」を選び、決定する

- 「スキップ設定を一括で行うか個別に行うかを選択してください」と表示されますので、手順 **6** に進みます。

手順4で「CSデジタル」を選んだ場合は、スキップ設定したい3桁番号の範囲を選び、決定する

- 手順 **7** に進みます。

6 カーソルボタンで「一括設定」または「個別設定」を選び、決定する

- 「一括設定」を選んだ場合は、「この放送事業者内の全てのチャンネルを番組一覧表と、選局順逆時にスキップしますか？」と表示されますので、手順 **8** に進みます。
- 「個別設定」を選んだ場合は、手順 **7** に進みます。

7 上下カーソルボタンでスキップ設定したいチャンネルを選び、決定する

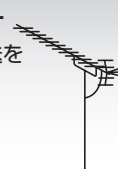
8 カーソルボタンで「両方する」「番組表のみ」「選局のみ」「両方しない」のいずれかを選び、決定する

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇**おしらせ**◇

- 地デジ難視対策衛星放送（BS291ch ～ BS298ch）は一般の方は視聴できないため、工場出荷時の設定は、「両方する」になっています。この放送を視聴する場合は、BS デジタルの「地デジ難視対策衛星放送」を一括設定で「両方しない」に設定してください。

放送の種類について

UHF アンテナ
地上デジタル放送を
受信できます。

◆ 重 要 ◆

• データ放送の双方向通信などで本機に記憶されたお客様の登録情報やポイント情報などの一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

デジタル放送のその他の特長

臨時放送（臨時編成サービス）

• スポーツ中継の延長などで、臨時に行うマルチチャンネル放送です。案内画面が表示されたときに、決定ボタンで切り換えます。

イベントリレーサービス

• スポーツ中継の延長時などに、別チャンネルで続きを放送するサービスです。案内画面が表示されるので、決定ボタンで切り換えます。延長された番組を録画予約していた場合、自動的に追従します。
　※ ファミリンク録画予約（⇒ **101** ～ **102** ページ）の場合、お使いの AQUOS レコーダーによっては追従されません。

マルチビューサービス

• 一つの番組の中で、カメラアングルを変えて最大 3 つの映像が放送されるサービスです。映像切換ボタンを押して切り換えます。

緊急警報放送

• 地震などの際の緊急警報放送です。

ご案内チャンネルの表示

• 非契約の有料放送事業者の放送番組を選局したとき、「視聴するには契約登録が必要」である旨の案内に加え、代替番組の視聴案内が表示されます。

地上デジタル放送

• 2003 年 12 月から東京・大阪・名古屋の 3 大都市圏の一部地域で開始され、2006 年 12 月に全国の都道府県庁所在地で開始された放送です。

特長

• 迫力あるワイド画面とデジタルハイビジョンの高画質
• 高音質と多チャンネル放送
• 天気予報やニュースなどの、番組に連動したデータ放送
• 視聴者参加型の双方向通信番組

受信に必要なアンテナ

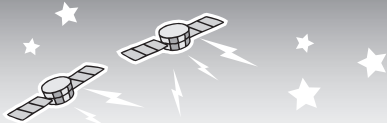
• UHF 対応のアンテナが必要です。お使いのアンテナが UHF 対応であればそのまま使えます（取り替えや調整が必要になることもあります）。**VHF アンテナでは受信できません。**

地上デジタル放送の CATV 放送対応について

• 本機で受信できるケーブルテレビ（CATV）の方式は「パススルー方式」（UHF 帯、ミッドバンド [MID] 帯、スーパーハイバンド［SHB］帯、VHF 帯）です。トランスモジュレーション方式の場合、ケーブルテレビ専用受信機を介して視聴できます。

ブックマーク

• コンテンツ画面にブックマーク※アイコンが表示されているときは、その情報（ブックマーク記録コンテンツ）を登録しておき、後でブックマークを一覧表示・選択して、関連チャンネルを呼び出すことができます。
　※「ブックマーク」とは、しおりのことです。画面によっては、特定のページを表示するための絵文字（ブックマークアイコン）が表示されます。インターネットのブックマークとは異なります。

◇おしらせ◇
- ARIB 放送規格の変更により、本機のホームメニューなどの仕様が変わる場合があります。
- ARIB（Association of Radio Industries and Businesses）とは、通信・放送分野の電波利用システムの標準化や、電波利用に関する調査、研究などを行う社団法人の名称です。

- BSデジタル放送
- 110度CSデジタル放送

BS・110 度 CS 共用アンテナ
BS デジタル放送も 110 度 CS デジタル放送も、このアンテナで受信できます。
(他の衛星放送は、衛星の向きが違うため受信できません。)

BS デジタル放送

- 放送衛星（Broadcasting Satellite）を使ったデジタル放送です。
- 地デジ難視対策衛星放送（BS291ch ～ BS298ch）は一般の方は視聴できない放送のため、非視聴に設定されています。この放送を視聴される場合は、スキップ設定を「両方しない」に設定してください。（スキップ設定⇒ **117** ページ）
- 有料放送を視聴するときは、受信契約する必要があります。

特長
- 迫力あるワイド画面とデジタルハイビジョンの高画質
- 視聴者参加型の双方向通信番組
- 2 種類のデータ放送（独立データ放送・番組に連動したデータ放送）

受信に必要なアンテナ
- BS・110 度 CS デジタル放送共用のアンテナ（市販品）が必要です。

110 度 CS デジタル放送

- BS デジタル放送用人工衛星と同じ東経 110 度にある通信衛星（Communication Satellite）を使ったデジタル放送です。おもなサービスに「スカパー！」があります。110 度 CS デジタル放送は一部を除き有料です。受信するには、見たいチャンネルを視聴契約する必要があります。

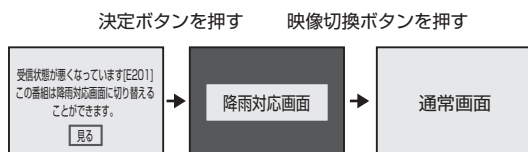
特長
- テーマ別に専門化した多数のチャンネル
- 画面をブックマーク登録し、簡単に再表示可能
- ボード（掲示板）機能でサービス情報の案内を閲覧可能

受信に必要なアンテナ
- BS・110 度 CS デジタル放送共用のアンテナ（市販品）が必要です。
- **従来の CS アンテナや BS アナログ用アンテナでは受信できません。また、ブースターや分配器等をご使用になっている場合は、110 度 CS 帯域（2.6GHz）まで対応したものに交換する必要があります。**

BS デジタル放送のみの専用サービス

降雨対応放送
- 降雨・降雪による電波減衰時に画質や音質を落とした信号を放送するサービスです。案内画面が表示されたときに、決定ボタンで切り換えます。映像切換ボタンを押すと元の映像に戻れます。

（画面例）

決定ボタンを押す　映像切換ボタンを押す

110 度 CS デジタル放送のみの専用サービス

ボード（掲示板）
- プラットフォーム（スカパー！）単位で、いろいろなサービス情報の案内がボード（掲示板）に表示されます。ホームメニューからボード画面を呼び出し、サービス情報を見ることができます。（⇒ **34** ページ）

（画面例）

WOWOW や スカパー！などの 有料放送を見るときは

・有料放送を視聴するには、スカパー！などの各プラットフォーム（運営会社）や放送局との視聴契約が必要です。それぞれの契約申込書に必要事項を記入し、郵送するか、下記にお問い合わせください。

2012 年 12 月現在

WOWOW

WOWOW カスタマーセンター

電話番号	0120-580807
受付	9：00 ～ 20：00（年中無休）
ホームページ	http://www.wowow.co.jp/

スター・チャンネル

スター・チャンネル　カスタマーセンター

電話番号	0570-013-111　または 045-650-4724
受付	10：00 ～ 18：00（年中無休）
ホームページ	http://www.star-ch.jp/

・スター・チャンネル　ハイビジョンの加入申し込みは、下記のスカパー！　カスタマー センターへお問い合わせください。

スカパー！

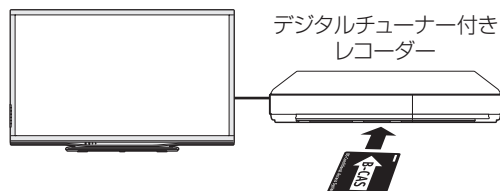
スカパー！カスタマーセンター（総合窓口）

電話番号	0570-039-888（ナビダイヤル） PHS、IP 電話のお客様は 03-4334-7777
受付	10：00 ～ 20：00（年中無休）
ホームページ	http://www.skyperfectv.co.jp/

◇**おしらせ**◇

・本機には、電話回線端子がありませんので、電話回線を使用した新規加入のお申し込みはできません。

デジタルチューナー付きレコーダーで有料放送の受信契約をしている場合について

・お手持ちのデジタルチューナー付きレコーダーで有料放送を録画するときは、有料放送の受信契約時に登録した B-CAS カードをレコーダーに挿入しておく必要があります。挿入していないと、有料放送が録画できません。

有料放送で登録したB-CASカードは、レコーダーに挿入します。

・レコーダーで受信している内容を本機で視聴したいときは、リモコンの入力切換ボタンでレコーダーが接続されている外部入力に切り換えてください。
・有料放送を録画しながら別の有料放送を視聴したい場合は、複数の有料受信契約をする必要があります。

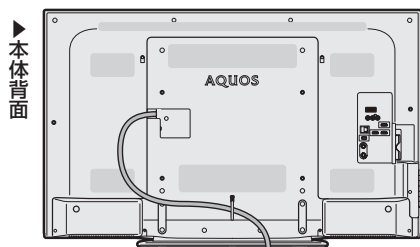
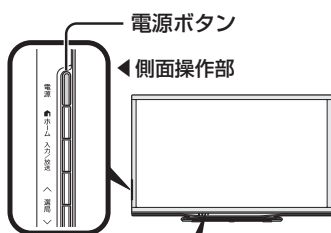
故障かな？と思ったら

- 故障かな？と思ったら、修理を依頼される前にもう一度お調べください。なお、アフターサービスについては「保証とアフターサービス」（⇒ **144** ページ）をご覧ください。

故障かな？と思ったら ➡

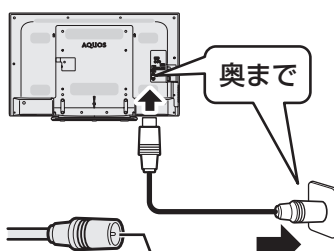
まず確認してください

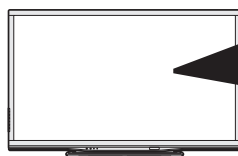
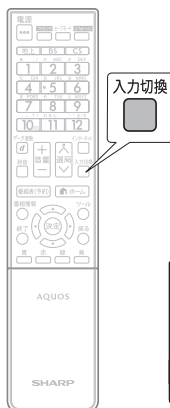
電源が入らない

電源コードのプラグを奥まで確実に差し込んでください（⇒「かんたん !! ガイド」（巻末）9 ページ）

ランプが点灯していないときは、本体の電源ボタンを押して電源を入れてください(⇒ 10ページ)

- 本機は本体の電源ボタンを押して切っても電源ランプは消えません。リモコンで電源が入ります。
- 電源ランプを消し、リモコンで電源が入らないようにするには、「電源ボタン設定」で「モード 2」に変更してください。（⇒ **28** ページ）

TV 放送が見られない

アンテナケーブルの端子を奥まで確実に差し込んでください（⇒「かんたん !! ガイド」（巻末）5 〜 8 ページ）

ビデオ・DVD が見られない

リモコンの入力切換ボタンを繰り返し押して、見たい機器の入力を選んでください（⇒ 22 ページ）

放送が受信できないときに確かめること

放送が受信できないときは

以下の画面は一例です。
確認のしかたが異なる場合は、画面の指示に従ってください。

1 画面のメッセージを確認し、決定する

を押す

- 受信状態が悪い場合、次のような画面が表示されます。

BS 103chが受信できません。[E202]
リモコンで放送切換や選局を確認ください。
アンテナの調整・接続を確認ください。
(決定)で受信強度を確認します

現在放送されていません。 [E203]
番組表などで放送時間を確認してください。
雨や雪などの天候の影響で
一時的に受信できない場合もあります。
(決定)で受信強度を確認します

2 受信状態に応じた対処のしかたを確認し、「受信状態一覧へ」を選ぶ

で選び
(決定)
を押す

受信状態に応じた対処のしかたが表示されます。

「受信状態一覧へ」を選んだ状態で(決定)を押すと受信状態一覧画面が表示されます。

3 デジタル放送の受信強度や受信できるチャンネルなどを確認する

- 直前に視聴していた放送（「地上デジタル」または「BS デジタル」「110 度 CS デジタル」のいずれか一方）が一覧で表示されます。

受信できないチャンネルがあるときは ここをお確かめください。

現在の受信状態の説明と解決方法

放送局	3桁		受信強度 XXXX/XX/XX	受信強度 現在	状態
NHK総合･東京	011	1	87	64	A
NHK Eテレ東京	021	2	87	65	A
日本テレビ	041	4	90	66	A
TBS	061	6	82	41	C
フジテレビジョン	081	8	77	35	C
テレビ朝日	051	5	85	53	B
テレビ東京	071	7	80	39	C
放送大学	121	12	80	43	C
tvk	–		32	0	☆E

BS 衛星信号	受信強度 現在	状態	CS 衛星信号	受信強度 現在	状態
BS–1	94	A	CS–2	90	A
BS–3	94	A	CS–4	86	A
BS–5	–	–	CS–6	67	A
BS–7	–	–	CS–8	69	A
BS–9	94	A	CS–10	46	B
BS–11	–	–	CS–12	45	B
BS–13	94	A	CS–14	43	B
BS–15	94	A	CS–16	56	D
BS–17	94	A	CS–18	42	B
BS–19	94	A	CS–20	31	B
BS–21	94	A	CS–22	41	C
BS–23	94	A	CS–24	1	C

お住まいの地域に設定されていない場合、地上デジタル放送を正しく受信できません。

現在割り当てられているリモコンの数字ボタン

- 受信している放送局はリモコンの数字ボタンに自動で割り当てられます。
  数字ボタンが割り当てられていない場合は、3桁入力で選局できます。

受信状態一覧で、最新の状態を表示するには

- 決定 を押します。（表示が切り換わるまで時間がかかる場合があります。）

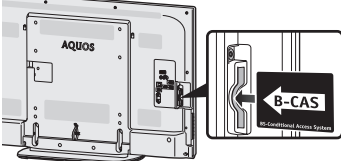
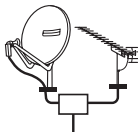
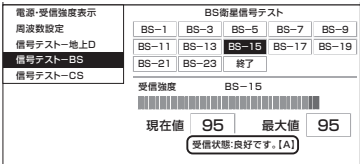
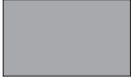
4 確認したら、受信状態一覧の画面を消す

終了 を押す

- アンテナとの接続について⇒ **「かんたん !! ガイド」（巻末）5 ～ 8** ページをご覧ください。
- かんたん初期設定をやり直すとき⇒ **「かんたん !! ガイド」（巻末）12** ページをご覧ください。

◇おしらせ◇

BS・110 度 CS デジタル放送について

- デジタル放送には有料放送があります。視聴するには、視聴契約する必要があります。
  BS・110 度 CS デジタル放送が受信できない場合は、視聴契約がお済みかどうかご確認ください。

テレビが正しく映らないときや画質が悪いときは
（［E202］と表示される）

故障ではないことがあります。
お電話をする前に、
ここをお確かめください。

こんな症状が出るときは	▶ここをお確かめください	▶参照ページ
映像も音声も出ない	• アンテナケーブルは接続されていますか。	「かんたん!!ガイド」(巻末) 5〜8
	• 端子を間違えて接続していませんか。	ー
	• アンテナケーブルが切れていませんか。	ー
	• BS·CS アンテナ電源設定を「オート」にしてみてください。「オート」に設定している場合は「入」にしてみてください。	114〜115
	• B-CAS カードは正しく挿入されていますか。 ▼本体背面	「かんたん!!ガイド」(巻末) 11
映像にノイズ(モザイク状／ブロック状)や線が入ったり、ちらついたりする。 音声が途切れる。 映像が映らない／映らなくなる。	• アンテナの向きは正しいですか。	ー
	•「受信状態：良好です。【A】」と表示されていることを確認してください。表示が異なる場合は、アンテナ受信強度に関するエラーメッセージ（⇒ **131** ページ）をご覧になり必要な処置をしてください。	114〜115
	• 110 度 CS デジタル放送の場合は、アンテナケーブルや分配器は 110 度 CS 帯域対応のものを使用していますか。	ー
BSデジタル放送の一部のチャンネルが視聴できない	• WOWOW やスターチャンネルは有料です。視聴するためには契約をしてください。	120
	• 地デジ難視対策衛星放送については、地デジ難視対策衛星放送受付センターへお問い合わせください。（0570-08-2200）	117
110 度 CS デジタル放送が視聴できない	• アンテナやアンテナケーブル、分波器は 110 度 CS 帯域（2.6GHz）まで対応のものを使用していますか。	「かんたん!!ガイド」(巻末) 5〜8
画面にノイズが出る	• ノイズが出るときはケーブル同士を離すと軽減されることがあります。	ー
	• アンテナケーブルは正しく接続されていますか。	「かんたん!!ガイド」(巻末) 5〜8
特定のチャンネルだけ映らない	• 有料放送は視聴契約が必要です。	120
	• アンテナの受信強度を確認してください。	114〜115

• アンテナの接続については、**「かんたん !! ガイド」（巻末）5** 〜 **8** ページをご覧ください。

全般について

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
? 映像も音声も出ない	• 電源プラグがコンセントから抜けていませんか。 • POWER（電源）ランプが緑色に点灯していますか。 • テレビ放送を見たいのに、ビデオ入力などに切り換えられていませんか。 • 外部機器の映像が出ないとき、正しく入力切換ができていますか。 • 接続ケーブルが抜けていませんか。	「かんたん!!ガイド」（巻末）9 10 22 22 –
リモコンが動作しない	• POWER（電源）ランプが緑色に点灯していますか。 • 乾電池の極性（⊕、⊖）が逆になっていませんか。 • リモコンの乾電池が消耗していませんか。 • リモコンはリモコン受光部に向けてお使いですか。 • リモコン番号が本体と一致していますか。画面左下に「リモコン番号の設定が異なります。」と表示されているときは、リモコン番号の設定が必要です。 以下の場合は、リモコンで動作しにくくなります。 • リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物がありませんか。 • リモコン受光部に直接日光や強い照明が当たっていませんか。 • 照明の向きを変えるなどしてみてください。 • 蛍光灯などが近くにありませんか。 • 受信設備の消耗減衰のために（映り等に影響する場合もあります）操作切換が遅くなることがあります。（天候等の環境で受信強度の数値が変動するとノイズの影響を受けます。） • 電池の端子が酸化（薄黒く）していませんか。 • 室温が極端に低下していませんか。	10 「かんたん!!ガイド」（巻末）1 「かんたん!!ガイド」（巻末）1 「かんたん!!ガイド」（巻末）1 8～9 –
映像は出るが音声が出ない	• 音量調整が最小になっていませんか。 • 「消音」状態になっていませんか。 • ヘッドホン端子にヘッドホンのプラグが差し込まれたままになっていませんか。 • D 映像端子を使用する場合、音声端子も接続していますか。	10 10 8 106
BD プレーヤーなどの外部機器の映像が映らない、BD プレーヤーなどの外部機器の映像が映らなくなった	• 外部機器の電源プラグがコンセントから抜けていませんか。 • 外部機器の電源は入っていますか。 • 外部機器を接続している入力を選んでいますか。 • 外部機器からアンテナケーブルがはずれていませんか。	– – 22 –
音声は出るが映像が出ない	• 映像オフが「する」になっていませんか。 • 映像ケーブルが抜けていませんか。	30 106
色が薄い 色あいが悪い	• 「色の濃さ」、「色あい」は正しく調整されていますか。	29
画面が暗い	• 「明るさ」、「映像」、「プロ設定」－「ガンマ設定」を調整してみてください。	29
黒色が潰れる	• 「明るさ」、「黒レベル」、「プロ設定」－「ガンマ設定」を調整してみてください。	29
画面が大きくなったり、小さくなったりする	• オートワイド機能が「する」になっていませんか。設定を「しない」に変更してください。	33
画面がちらついたりざらついたりする	• 「プロ設定」の「デジタル NR」を、「オート」「強」「中」「弱」のいずれかに設定してみてください。	29

次のページに続く

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
テレビの上部が熱い	• 内部の回路から発生する熱で温まった空気が自然な対流により、上部を通って抜ける構造になっているため、上部が温かくなります。本体の温度が異常に上昇したときは画面右下に「温度」または「モニター温度」の文字が点滅し、その後、自動的に電源が切れます。	−
画面右下に「温度」または「モニター温度」の文字が点滅し、その後、自動的に電源が切れる	• 本機の温度が上昇したためです。温度が上昇した原因を取り除いてください。 • 本機の設置状態や場所が、温度が上がりやすい状態にないかご確認ください。本機背面の通風孔がふさがらないように設置してください。 • 本機の内部や通風孔にたまっているホコリで、外部から取り除けるものはこまめに取り除いてください。内部のホコリの除去については、お買いあげの販売店にご相談ください。	− − −
リモコンや本体のボタンの操作ができない	• 外部からの雑音や妨害ノイズが原因かもしれません。「電源ボタン設定」（⇒ **28** ページ）を「モード 2」に設定して本体の電源ボタンで電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて約 1 分放置した後、再度差し込んで電源を入れてみてください。 •「地デジ限定設定」が「有効」に設定されていませんか。 • チャイルドロックが設定されていませんか。 • 本体とリモコンのリモコン番号を同じ番号に設定していますか。画面左下に「リモコン番号の設定が異なります。」と表示されているときは、リモコン番号の設定が必要です。	− **31** **31** **28**
ときどき「ピシッ」と音がする	• 温度の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。性能その他に影響はありません。	−
リモコンで電源を切った後に、ときどき「カチ」と音がする（数回鳴る場合があります。）	• 本機の電源が待機状態のときでも、次の場合は動作している音が鳴ることがあります。 　• デジタル放送の録画予約を実行している場合 　• ダウンロードをしている場合 　• 有料放送の契約情報を取得している場合 　• 地上デジタル放送の番組表の情報を取得している場合	**53** − − −
時刻表示が画面に出ない	•「時刻表示」の設定は「する」になっていますか。	**28**
時刻表示が消えない	• リモコンの画面表示ボタンを繰り返し押してみてください。	**17**
字幕表示が画面に出ない	• 放送によっては、字幕を送っていない場合があります。 • 字幕の表示方式が「表示しない」になっていませんか。	− **16**
入力切換をしても選べない	• 入力スキップが「しない」に設定されていますか。	**23**
電源が勝手に切れる	• 自動で電源がオフになるモードになっていませんか。受信機レポートで確認してください。	**34**

デジタル放送関係について

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
？ 映像も音声も出ない	• 個人で BS・110 度 CS デジタル放送用アンテナを設置しているのに、アンテナ電源が「切」になっていませんか。個人で BS・110 度 CS デジタル放送用アンテナを設置し、そのアンテナに複数の機器を接続している場合で、本機以外の機器の中にも必要に応じてアンテナへ電源を供給する設定がある場合、電源供給のタイミングによってはどちらからも電源供給されない状態になり、映像も音声も出なくなる場合があります。このときは、本機のアンテナ電源を「入」にしてください。 • その局が放送していない時間帯ではありませんか。 • ビデオ入力などに切り換えられていませんか。 • B-CAS カードは正しく挿入されていますか。	**114** − **22** 「かんたん!! ガイド」（巻末） **11**

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
• 映像にノイズ(モザイク状／ブロック状)や線が入ったり、ちらついたりする • 音声が途切れる • 映像が映らない／映らなくなる	• アンテナの向きがずれていませんか。 • 受信強度を確認してください。 • 受信状態を確認してください。 • アンテナの前方に障害物はありませんか。 • アンテナおよびアンテナケーブルは専用のものを使用していますか。	– 114～115 ・122～123 114～115 ・122～123 – 「かんたん!!ガイド」(巻末) 5～8
BS デジタル放送の一部が視聴できない	• B-CAS カードは正しく挿入されていますか。 • 有料放送を視聴するための契約はしていますか。 • 地デジ難視対策衛星放送（BS291ch ～ BS298ch）については、地デジ難視対策衛星放送受付センターへお問い合わせください。(0570－08－2200)	「かんたん!!ガイド」(巻末) 11 120 117
110 度 CS デジタル放送が受信できない	• アンテナおよびアンテナケーブルは専用のものを使用していますか。 • ブースターや分配器などをご使用になっている場合、110 度 CS 帯域（2.6GHz）まで対応した機器をお使いですか。	「かんたん!!ガイド」(巻末) 5～8 「かんたん!!ガイド」(巻末) 5～8
BS デジタル・110 度 CS デジタル放送に雑音が出たり、まったく受信できなくなる	• 強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着していませんか。これは気象条件によるもので、アンテナや本機の故障ではありません。 • 春分や秋分の前後 20 日程度は人工衛星が地球の陰（食）になるため、深夜一時的に電波が止まる場合があります。これは故障ではありません。	– –
地上デジタル放送が受信できない	• お住まいの地域で地上デジタル放送は開始されていますか。 • 地上デジタル放送の受信に必要な UHF アンテナが正しく設置されていますか。 • アンテナ線は正しく接続されていますか。 • お住まいの地域を地域選択で正しく設定していますか。 • チャンネル設定は正しくされていますか。	– – 「かんたん!!ガイド」(巻末) 5～8 115 116
画面にノイズが出る	• VHF/UHF のアンテナケーブルが BS・110 度 CS デジタルアンテナケーブルと接近していませんか。	–
特定のチャンネルだけ映らない	• 契約していない有料放送ではありませんか。 • 受信強度を確認してください。 • 地デジ難視対策衛星放送（BS291ch ～ BS298ch）については、地デジ難視対策衛星放送受付センターへお問い合わせください。(0570 － 08 － 2200)	120 114～115 117
番組表が表示されない 番組表に表示されない番組がある	• 地上デジタル放送の場合、視聴していないチャンネルは、番組表に情報が表示されません。番組表取得を「する」に設定すると、リモコンで電源を切った(待機状態)ときに各放送チャンネルの番組表情報を取得します。 • デジタル放送を選局していますか？ • 電源を入れた後、最初に番組表を表示するときは、番組表データの受信に時間がかかります。しばらくお待ちください。 • スキップをする設定にしていませんか。	12 – – 117
番組の予約をしても受信できない	• 契約していない有料放送、視聴年齢が制限されている番組などを予約していませんか。	–
デジタル放送が受信できない	• 外部からの雑音や妨害ノイズが原因かもしれません。「電源ボタン設定」(⇒**28**ページ)を「モード2」に設定して本体の電源ボタンで電源を切って、電源プラグをコンセントから抜いて約1分放置した後、再度差し込んで電源を入れてみてください。 • BSデジタル放送および110度CSデジタル放送を視聴するとき、BS･110度CS共用アンテナ(市販品)およびBS･110度CSデジタル用アンテナケーブル(市販品)を接続していますか。	– –
BS デジタル・110 度 CS デジタル放送が選べない	• 地デジ限定設定が「有効」になっていませんか。	31

インターネット関係について

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
AQUOS.jpのページが表示されなくなった	・ブロードバンドルーターや信号変換機器の電源が切れていませんか。 ・LAN ケーブルがはずれていませんか。 ・「ネットサービス制限設定」－「インターネット接続制限」を「禁止しない」に設定してください。 ・ブロードバンド回線やプロバイダーのメンテナンスなどにより、接続できない期間ではありませんか。しばらく、時間をおいてからもう一度接続してください。	**－** **68** **71** **－**
文字が読めない文字になった	・ブラウザメニューの文字コードを変更してください。	**76**
カーソルボタンでページの続きを表示できない	・ページの読み込みが終わるまでお待ちください。	**－**
インターネットに接続できない	・「双方向通信／インターネット／ホームネットワークの準備をする」をご覧いただき、接続・設定状況をご確認ください。 **【パソコンをお持ちの場合】** ・ご使用になっている LAN ケーブル (CAT5 以上）をパソコンに差し込み、パソコンでインターネットに接続できるかどうか試してください。 ・できる場合は、ブロードバンドルーターから LAN 側（本機側）の接続・設定を確認してください。できない場合は、ブロードバンドルーターから WAN 側（プロバイダー側）の接続・設定を確認してください。 **【停電などにより、モデムやケーブルモデム、ブロードバンドルーターの電源をいったん切った場合など】** ・電源が再投入されてから数分程度インターネットが復旧するまで時間がかかる場合があります。 ・外部からのノイズなどにより、通信機能に障害が発生した可能性があります。「電源ボタン設定」(⇒ **28** ページ) を「モード 2」に設定して本体の電源ボタンで電源を切り、1 分間放置した後、再度電源を入れてください。	**65～68** **－** **－**
ホームページの音声が聞こえない **ホームページの動画が再生できない**	・本機では、一部の形式の音声ファイル (WAV や AAC ／ドルビーデジタル形式の一部) については再生可能ですが、一般の Web ページで配信されている動画や音声はパソコン向けに作られており、特に本機の機種名が対応機種としてその Web ページに明記されていない限りは、基本的に再生できないとお考えください。	**－**
パソコンのインターネット機能でできることが、本機ではできない	・本機でインターネットを活用するときは、パソコンの一般的なブラウザと比べて以下のような点などが異なりますので、ご了承ください。 ・ファイルのダウンロードはできません。 ・PDF（電子文書）を読み込む機能はついておりません。 ・メールの送受信機能はありません。	**－**

アクトビラ関係について

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
映像や音声がときどき停止する	• お使いのブロードバンド回線は光回線（FTTH）ですか。アクトビラ ビデオやアクトビラ ビデオ･フルをお楽しみになる場合は、光回線（FTTH）が必要です。	67
	• ご家庭のブロードバンド環境に接続しているパソコンで、大容量のファイルをダウンロードしたり、動画をストリーミング再生したり、別のテレビでもアクトビラ ビデオの再生をしたりしていませんか。回線の使用状況によっては、映像や音声が停止します。他の機器の使用を中断したあと、もう一度アクトビラ ビデオ･フルを再生してみてください。	–
	• 本機とブロードバンドルーターをLANケーブルで接続してください。	68
	• ブロードバンドルーターなどの機器の性能によっては、通信速度が足りない場合があります。回線事業者やプロバイダーから機器をレンタルしている場合は、ご加入の回線事業者やプロバイダーに確認してみてください。	–
	• 光回線（FTTH）をご利用の場合でも、ご加入のプランによってはアクトビラ ビデオを再生するために十分な通信速度でない場合があります。ご加入の回線事業者やプロバイダーに確認してみてください。	–
アクトビラの画質が悪い	• デジタル放送とは異なる方式で映像を配信しているため、デジタル放送のハイビジョン放送と画質が異なります。	–
	• 映像の圧縮率が高いコンテンツの場合は、低画質になります。	–

故障かな？と思ったら ➡

IPTV 関係について

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
ポータル情報が取得できない	• お使いのブロードバンドルーターはIPv6に対応していますか。	–
チャンネル登録で失敗する	• IPTVのマルチキャスト開通処理が完了していない可能性があります。ポータル画面で回線番号の登録をしてください。	–
テレビ放送やVODの映像が乱れる	• 使用している光回線をIPv4のインターネット接続と共用している場合は、家庭内の別の機器がインターネットに接続しているとテレビ放送やVODの映像が乱れることがあります。	–
ライセンスが無いと表示される	• 追加契約が必要なチャンネルです。契約状況についてポータルで確認するか、サービス事業者にご確認ください。	–

USB ハードディスク関係について

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
USB 端子に接続した USB ハードディスクが録画機器選択画面に出ない	• USB ハードディスクの電源が入っていますか。 • 録画機器選択画面に USB ハードディスクを表示するには、事前に「機器の初期化」をする必要があります。 • USB ハードディスクが正しく接続・設定されていますか。	– 47 –
USB ハードディスクに正しく録画できない	• 録画先に指定した USB ハードディスクが録画機器選択画面に表示されていますか。 表示されない場合は上記の「USB 端子に接続した USB ハードディスクが録画機器選択画面に出ない」の内容をお確かめください。 • USB ハードディスクに十分な残量がありますか。残量が少ない場合は、不要な番組を削除するか、残量のある別の USB ハードディスクを接続してください。 •「USB-HDD の選択」で録画する USB ハードディスクを選んでいますか。	– – 48
USB ハードディスクに録画したコンテンツが表示されない／再生できない	• 本機チューナー部に接続している USB ハードディスクは本機で録画したものですか。 本機以外のテレビ受信機で録画された USB ハードディスクを本機でコンテンツリスト表示／再生することはできません。 • 本機が故障した際に主要部品を交換していませんか。 •「USB-HDD の選択」で録画する USB ハードディスクを選んでいますか。	– – 48
USB ハードディスクが使用できない	•「USB-HDD の選択」で録画する USB ハードディスクを選んでいますか。 • 使用したい機器が録画機器選択画面に表示されていますか。表示されない場合は、上記の「USB 端子に接続した USB ハードディスクが録画機器選択画面に出ない」の内容をお確かめください。 • それでも使用できない場合は以下の操作をしてください。 ①テレビ本体の電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグを抜く ② USB ハードディスクの電源を入れ直す ③本機の電源プラグを差し込んで電源を入れる	48 – –
USB ハードディスクに録画した番組が消えた	• USB ハードディスク使用中に停電や雷などによる瞬間的な停電、USB ハードディスクの電源プラグを抜く、ブレーカーを落とすなどで電源が切れませんでしたか。 （上記の場合、録画した番組が消える場合があります。） （録画した番組がすべて消えた場合や、USB ハードディスクが動作しない場合は、機器の初期化を行ってください。） • 異なる USB ハードディスクをつないでいませんか。 •「USB-HDD の選択」で異なる USB ハードディスクを選んでいませんか。	– – 48

エラーメッセージが出たら

エラーメッセージが出たら ➡

アンテナ受信強度に関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた	ページ
受信強度が 60 以下です。【B】	• 受信強度が 60 以上になるようにアンテナの向きや接続を調整してください。	114～115
アンテナ信号が強すぎます。【C】	• アンテナ信号が強すぎるため、受信障害が発生しています。ブースターの調整や減衰器の取り付けが必要です。 販売店などにご相談ください。	–
アンテナ信号が不足しています。【C】	• ブースターの調整や取り付けが必要です。 販売店などにご相談ください。	–
アンテナ信号が良くありません。【D】	• アンテナ信号が劣化しています。アンテナの接続、および調整を確認しても改善しない場合は、販売店などにご相談ください。	–
受信できません。【E】	• アンテナが正しく設置されているか確認してください。 • アンテナ線を確認してください。 • アンテナの設定が合っているか確かめてください。	– 「かんたん!!ガイド」(巻末) 5～8 114～115

エラーメッセージが出たら ➡

B-CAS カードや放送の受信・視聴に関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた	ページ
B-CAS カードを正しく挿入してください。 B-CAS カードを挿入していてもこのメッセージが表示される場合は、カードを差し直してください。	＊＊＊＊	• B-CAS カードを正しく挿入してください。挿入してある場合は、挿入やり直してください。	「かんたん!!ガイド」(巻末) 11
この B-CAS カードは使用できません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	＊＊＊＊	• B-CAS カスタマーセンターおよびご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	「かんたん!!ガイド」(巻末) 11
このカードは使用できません。 正しい B-CAS カードを装着してください。	＊＊＊＊	• 本機に付属の B-CAS カードを挿入してください。	「かんたん!!ガイド」(巻末) 11
このチャンネルは契約されていません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	＊＊＊＊	• ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
この B-CAS カードには必要な情報が有りません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	＊＊＊＊	• ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
放送チャンネルではないため、視聴できません。	E200	• このチャンネル (番組) は視聴できません。	–

次のページに続く

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた	ページ
受信状態が悪くなっています。 この番組は降雨対応画面に切り換えることができます。	E201	・降雨対応画面に切り換えて視聴していただくか、天気の回復をお待ちください。	119
アンテナ信号レベルが強すぎて放送が受信できません。信号レベルを調整してください。	＊＊＊＊	・アンテナ信号が強すぎるため、受信障害が発生しています。ブースターの調整や減衰器の挿入が必要です。販売店などにご相談ください。	ー
○○ ○○○ ch が受信できません。リモコンで放送切換や選局を確認ください。またはアンテナの調整・接続を確認ください。雨や雪などの影響で一時的に受信できない場合もあります。	E202	・アンテナ線を確認してください。 ・受信強度を確認してください。 ・アンテナの設定が合っているか確かめてください。 ・雨や雪などの天候の影響で一時的に受信できない場合もあります。	「かんたん!!ガイド」(巻末) 5～8 114～115・122～123 114～115 ー
現在放送されていません。番組表などで放送時間を確認してください。 雨や雪などの天候の影響で一時的に受信できない場合もあります。	E203	・番組表などで放送時間を確かめてください。 ・受信強度を確認してください。 ・雨や雪などの天候の影響で一時的に受信できない場合もあります。	ー 114～115・122～123 ー
○○○チャンネルが見つかりません。 番組表などでチャンネルを確認してください。	E204	・番組表などでチャンネルを確かめてください。	ー
アンテナ線の接続や設定に不具合がありますのでアンテナ電源を「切」にしました。 受信できない場合は、本体の電源を切ってから、アンテナとの接続を確認してください。	＊＊＊＊	・電源を入れ直してください。 ・BS デジタル放送や 110 度 CS デジタル放送が受信できない場合は、本体の電源を切り、アンテナとの接続を確認してから電源を入れ直してください。	ー 114～115・「かんたん!!ガイド」(巻末) 5～8
○○○チャンネルのサービスは、この受信機では受信できません。	E210	・選局されたチャンネルとは別のチャンネルを選局してください。	ー
契約期限が切れています。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	＊＊＊＊	・ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	ー
このチャンネルは視聴条件により、ご覧いただけません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	＊＊＊＊	・ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	ー
受け付け時間を過ぎていますので購入できません。	＊＊＊＊	・番組の冒頭の限られた時間しか購入できない番組もあります。	ー
データが受信できません。	E400	・現在ご覧のチャンネルとは別のチャンネルをいったん選局した後、エラーが起こったデータ放送チャンネルを再度選局してください。	ー
対象地域外のため、データを表示できません。	E401	・現在ご覧のデータ放送チャンネルを終了し、別のチャンネルを選局してください。	ー
この受信機では、データを表示できません。	E401	・現在ご覧のデータ放送チャンネルを終了し、別のチャンネルを選局してください。	ー
データの表示に失敗しました。	E402	・現在ご覧のチャンネルとは別のチャンネルをいったん選局した後、エラーが起こったデータ放送チャンネルを再度選局してください。	ー

ホームネットワーク利用時に関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
この形式の写真データは表示できません。	• 規格外の写真は表示できません。 なお、パソコンで写真を編集すると、本機で表示できない規格のデータ形式に変更される場合があります。
データの容量が大きすぎます。	• データの容量が 6MB 以下のデータとしてください。 • デジタルカメラや携帯電話の撮影時の設定で画素サイズを小さくすると、6MB 以下のデータで撮影できる場合があります。 例）4300 × 3225 ⇒ 2048 × 1536 また撮影済みのデータではデジタルカメラや携帯電話のリサイズ機能を使うと変更できる場合があります。
写真のサイズが大きすぎます。	• 画素サイズ 4096 × 4096 以下の写真にしてください。 • デジタルカメラや携帯電話の撮影時の設定で画素サイズは変更できる場合があります。 例)4300 × 3225 ⇒ 2048 × 1536 また撮影済みの写真ではデジタルカメラや携帯電話のリサイズ機能を使うと変更できる場合があります。
このデータは表示できません。	• 本機で表示可能な仕様の JPEG 以外のデータや、壊れたデータは表示できません。
次の写真を取得できません。 **接続機器の接続や設定を確認してください。**	• 写真取得時サーバー機器に接続できなくなっています。ホームネットワーク機器の接続設定を確認してください。また SD カードを持つサーバー機器では SD カード挿入後ホームネットワークに公開するまで時間がかかる場合がありますので、しばらくお待ちください。
接続できません。 **接続機器の接続や設定を確認してください。**	• サーバー機器の電源が入っているか、ホームネットワーク機器の接続設定を確認してください。また SD カードを持つサーバー機器では SD カード挿入後 SD カードの内容をホームネットワークに公開するまで時間がかかる場合がありますので、しばらくお待ちください。
印刷設定 **機器が見つかりません。** **対応プリンタの電源、接続を確認ください。**	• プリンタの電源が入っていないか、プリンタがホームネットワークに接続されていないか、ホームネットワーク接続設定が正しくされていない可能性があります。プリンタの電源、接続、設定を確認してください。
写真の印刷 **印刷の準備をしています。**	• プリンタに印刷指示を行っていますので、しばらくお待ちください。
写真の印刷 **この写真の印刷を受け付けました。**	• プリンタへの印刷指示を完了しました。 写真を表示することができます。
写真を表示できません。 **フォルダが削除されたか、機器が再起動された可能性があります。**	• サーバー機器によっては、サーバー起動直後やデータの追加削除を行うと本メッセージが表示される場合があります。故障ではありません。
印刷できません。 **プリンタが使用中の可能性があります。**	• プリンタが印刷実行中か使用中の場合にさらに印刷しようとすると、このメッセージが表示される場合があります。印刷完了または使用できるようになるまでお待ちください。
印刷を中断しました。 **プリンタとの接続を確認してください。**	• プリンタが何らかの原因で印刷を中断しました。プリンタの状態または正常に接続できているか確認してください。

次のページに続く

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
印刷できません。 プリンタを確認してください。	• プリンタが何らかの原因で印刷できなくなりました。プリンタのインクや用紙が無くなっていないか、用紙が詰まっていないか、カバーが開いていないか、などを確認してください。
機器に接続できません。 接続機器選択へ移動します。	• 前回接続したサーバー機器の電源が入っているか、ホームネットワーク機器の接続設定を確認してください。
フォルダにアクセスできません。 トップフォルダへ移動します。	• サーバー機器によっては、サーバー起動直後やデータの追加削除を行うと本メッセージが表示される場合があります。故障ではありません。
接続できません。 接続機器から映像データを取得できません。	• サーバーの設定を確認してください。サーバーによっては設定画面にしていると取得できない場合や、インターネットを利用中は取得できない場合があります。
再生できません。 この形式の映像データは再生できません。	• 規格外の映像データは再生できません。 • 本機で再生できる映像データの形式か確認してください。
再生できません。 この形式の音楽データは再生できません。	• 規格外の音楽データは再生できません。 • 本機で再生できる音楽データの形式か確認してください。
データを取得できません。 フォルダが削除されたか再起動された可能性があります。 初期画面に戻ります。	• メモリーモードを実行する際、前回再生したファイルが削除されたり、サーバーが再起動されたなどにより、データを取得できない場合に表示されます。初期画面よりご利用ください。
接続できません。 接続機器の接続や設定を確認してください。 初期画面に戻ります。	• メモリーモードを実行する際、前回接続したサーバーが起動されていないなどにより、接続できない場合に表示されます。初期画面よりご利用ください。

USB ハードディスク利用時に関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
ハードディスクが接続されていない。もしくは電源が切れているため録画できません。 **ハードディスクが認識できないため、録画できません。ハードディスクを接続し直してください。** **まもなく録画予約の開始時間です。録画可能なハードディスクが接続されていません。**	・USB ハードディスクを本機に接続し、使用する USB ハードディスクを選択してください。（⇒ **48** ページ） ・初めて本機に接続する USB ハードディスクの場合は、接続後に初期化してください。（⇒ **47** ページ） ・USB ハードディスクの電源を入れてください。
タイトルが一杯です。これ以上録画できません。	・本機で録画できる USB ハードディスクのタイトル数は最大 999 タイトルです。不要なタイトルを消去してから録画してください。
ハードディスク準備中のため録画できません。	・USB ハードディスクの準備が終わるまでお待ちください。
ハードディスクに異常があり録画を停止しました。	・USB ハードディスクの故障の可能性があります。USB ハードディスクの状態をお確かめください。
ハードディスクの空き容量がなくなったため録画を中断しました。	・不要なタイトルを消去してください。
初期化中のため録画できません。	・USB ハードディスクの初期化が終わるまでお待ちください。
録画できる最大タイトル数を超えています。	・本機で録画できる USB ハードディスクのタイトル数は最大 999 タイトルです。不要なタイトルを消去してから録画してください。
予約可能時間を過ぎたので、リモコンの録画ボタンで直接録画してください。	・リモコンの録画ボタンで、直接録画してください。
予約方法を選択してください。 **（録画可能なハードディスクが見つかりません。）**	・録画可能な USB ハードディスクを接続してください。もしくは、視聴予約／ファミリンク録画予約から予約したい方法を選択してください。
ハードディスクの容量が不足しています。	・不要なタイトルを消去してください。
予約できる番組数を超えているため、予約できません。	・予約できる番組は、最大 32 番組です。新しい予約を設定する場合は、どれか他の予約を消去してください。
ハードディスクが接続されていない。もしくは電源が切れていました。録画前にはハードディスクを接続し、電源を入れておいてください。	・USB ハードディスクを本機に接続し、使用する USB ハードディスクを選択しておいてください。（⇒ **48** ページ） ・初めて本機に接続する USB ハードディスクの場合は、接続後に初期化しておいてください。（⇒ **47** ページ） ・USB ハードディスクの電源を入れておいてください。
タイトル数の制限を超えたので録画できませんでした。別の録画用ハードディスクを使用してください。このハードディスクに録画を行う場合は、不要なタイトルを消去してください。	・本機で録画できる USB ハードディスクのタイトル数は最大 999 タイトルです。別の USB ハードディスクを本機に接続してください。もし、接続中の USB ハードディスクをご使用される場合、不要なタイトルを消去してから録画してください。
ハードディスクに空き容量がないため、録画できませんでした。別の録画用ハードディスクを使用してください。このハードディスクに録画を行う場合は、不要なタイトルを消去してください。	・録画する前に USB ハードディスクの空き容量をご確認ください。空き容量がない場合は別の USB ハードディスクを本機に接続してください。もし、接続中の USB ハードディスクをご使用される場合、不要なタイトルを消去してから録画してください。
ハードディスク初期化中のため、録画できませんでした。	・USB ハードディスクの初期化が終わるまでお待ちください。

次のページに続く

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
ハードディスクに異常があり、録画できませんでした。	• USB ハードディスクの故障の可能性があります。USB ハードディスクの状態をお確かめください。
ハードディスクに空き容量がなくなったため、録画を停止しました。別の録画用ハードディスクを使用してください。このハードディスクに録画を行う場合には、不要なタイトルを消去してください。	• 本機で録画できる USB ハードディスクのタイトル数は最大 999 タイトルです。別の USB ハードディスクを本機に接続してください。もし、接続中の USB ハードディスクをご使用される場合、不要なタイトルを消去してから録画してください。
ハードディスクに異常があり、録画を停止しました。	• USB ハードディスクの故障の可能性があります。USB ハードディスクの状態をお確かめください。
1 タイトルの録画時間が 6 時間を超えたため、録画を停止しました。1 タイトルが 6 時間以上の連続録画はできません。	• 1 タイトルの録画時間は最長 6 時間なので、6 時間単位で録画してください。
ハードディスクが接続されていない。もしくは電源が切れているため再生できません。 ハードディスクが認識できないため、再生できません。	• 本機に USB ハードディスクを接続し、使用する USB ハードディスクを選択しているかお確かめください。（⇒ **48** ページ）また、USB ハードディスクの電源を入れてください。
このタイトルは再生できません。	• 再生できないタイトルである可能性があります。
再生できるタイトルがありません。	• 本機に接続されている USB ハードディスクの中に再生できるタイトルがありません。再生できるタイトルが入っている別の USB ハードディスクを本機に接続してください。
記録長が短いため、再生できません。	• 記録時間が 3 秒未満のタイトルは再生できません。
日付・時刻が設定されていません。 日付・時刻を設定してください。	• 時計合わせを行ってください。
この番組は録画できません。	• 独立データ放送は録画できません。 • USB ハードディスクには IPTV を録画できません。
録画禁止の番組です。 録画できません。	•「録画禁止」の番組は録画できません。
番組の時間が未定のため、録画予約ができません。	• 終了時刻が未定の番組、長さが 1 分未満の番組、長さが 48 時間超の番組は録画予約ができません。

エラーメッセージが出たら ➡

USB 利用時に関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
接続しているUSB機器の電源容量が大きすぎます。 本体の電源を切ってから、必要なUSB機器のみを接続し直してください。	• USB過電流が発生しました。USB機器を多く接続すると、発生する場合があります。 • 本体の電源を切ってから、使用しないUSB機器を取り外してください。

エラーメッセージが出たら ➡

双方向通信に関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた	ページ
アクセスできませんでした。[C204]	C204	• ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
サーバー証明書※1が不正のため、アクセスを中断します。[C208]	C208	• ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
サーバー証明書※1に問題があり、アクセスを中断します。[C209]	C209	• ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
双方向サービスを利用するには、デジタル放送接続制限を「禁止しない」に設定してください。	＊＊＊＊	•「ネットサービス制限設定」－「デジタル放送接続制限」で「しない」を選択してください。	71
まだルート証明書※2を受信していません。 セキュリティの保障ができないため、アクセスしないことをお勧めします。アクセスしますか？	＊＊＊＊	• アクセスしないことをお勧めします。	–
サーバー証明書※1の信頼性が確認できません。 セキュリティの保障ができないため、アクセスしないことをお勧めします。アクセスしますか？	＊＊＊＊	• アクセスしないことをお勧めします。	–
まだ新しいルート証明※2を受信していません。 セキュリティの保障ができないため、アクセスしないことをお勧めします。アクセスしますか？	＊＊＊＊	• アクセスしないことをお勧めします。	–

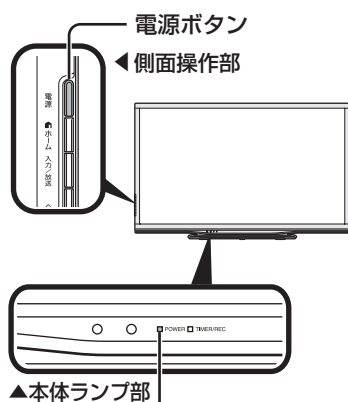
※1　サーバー証明書・・・暗号化通信に使われる暗号鍵。Web サーバーに保存される。有効期限が記述されており、この期間を過ぎると使用できない。
※2　ルート証明書・・・・暗号化通信に使われる復号鍵。放送波で伝送され、受信機に保存される。有効期限が記述されており、この期間を過ぎると使用できない。

ファミリンク録画時に関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた
録画に失敗しました。 この放送は録画することができません。	S05	• 録画ができない「コンテンツ（放送や番組）」、または録画ができない「記録メディア（HDD・BD・DVDなどの録画媒体）」です。「コンテンツ（放送や番組）」または「記録メディア（HDD・BD・DVDなどの録画媒体）」を確認してください。
録画に失敗しました。 この放送は録画することができません。 録画に失敗しました。 この放送は録画することができません。	S06 S07	• このネットワークは録画することができません。 • ファミリンク録画機能を使用せず、録画機器の録画機能をご利用ください。
録画に失敗しました。 録画に失敗しました。 録画に失敗しました。 録画に失敗しました。	S09 S10 S11 S12	• ファミリンク録画機能を使用せず、録画機器の録画機能をご利用ください。
録画に失敗しました。 この放送は録画することができません。 録画に失敗しました。 この放送は録画することができません。	S13 S14	• この「コンテンツ（放送や番組）」は録画することができません。 •「コンテンツ（放送や番組）」を確認してください。
録画に失敗しました。 記録可能なメディアがありません。	S16	•「記録メディア(HDD･BD･DVDなどの録画媒体)」を確認してください。
録画に失敗しました。 現在、再生中のため録画できません。	S17	• 再生を停止した後、再度録画を設定してください。
録画に失敗しました。 別の録画を実行中のため、録画できません。	S18	• 現在録画中のため、新たに録画できません。
録画に失敗しました。 記録可能なメディアがありません。	S19	•「記録メディア(HDD･BD･DVDなどの録画媒体)」が書き込み禁止です。 •「記録メディア(HDD･BD･DVDなどの録画媒体)」を確認してください。
録画に失敗しました。 放送を受信できないため、録画できません。	S20	• 放送が受信できません。設定が正しく行われているか、確認してください。
録画に失敗しました。 記録可能なメディアがありません。	S21	•「記録メディア(HDD･BD･DVDなどの録画媒体)」に録画できません。 •「記録メディア(HDD･BD･DVDなどの録画媒体)」を確認してください。
録画に失敗しました。 記録可能な容量がありません。	S22	•「記録メディア(HDD･BD･DVDなどの録画媒体)」の容量を確認してください。
録画に失敗しました。 視聴制限がかかっています。	S23	• 視聴制限を解除して再度録画を設定してください。
録画に失敗しました。 レコーダーが録画できない状態になっています。	S31	• 録画機器を確認してください。

こんなときは

本機の操作ができなくなったときは

- 強い外来ノイズ（過大な静電気、または落雷による電源電圧の異常など）を受けた場合や誤った操作をした場合などに、本機が操作できないなどの異常が発生することがあります。
- このときは、本体の電源ボタンを押して、一旦電源を切ったあと、再度電源を入れてから、操作をやり直してください。
- 電源を入れ直してもまだ操作できないときは、本体の電源ボタンを5秒以上押し続けてください。本機の電源がいったん切れますので、約1分待ってから電源ボタンを押して電源を入れたあと、再び操作をやり直してください。この操作をしてもチャンネル設定やメニュー、予約などの設定項目は保持されます。

・緑色点灯：動作状態
・赤色点灯：待機状態
・消灯：電源オフ状態

◇**おしらせ**◇

- 再度電源を入れた直後はデータ取り込みのため、画面表示には多少時間がかかります。

システム動作テスト

- 本機は、B-CASカードが正しく挿入できているかをテストできます。

1 **ホームメニューを表示して、「設定」－「✉(お知らせ)」－「システム動作テスト」を選び、決定する**

2 **「テスト実行」で決定する**

バージョン番号	:	00000000	0000000
システム状態	:		
B−CASカード	:		
DRM番号	:		

テスト実行

- 表示が「テスト実行中」に変わります。テストが終了すると「テスト終了」になります。

3 **結果を確認し、「テスト終了」で決定する**

バージョン番号	:	00000000	0000000
システム状態	:	0000−0000−0000−0000−0	
B−CASカード	:	0000−0000−0000−0000−0	
DRM番号	:	0000−0000−0000−0000−0	

テスト終了

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

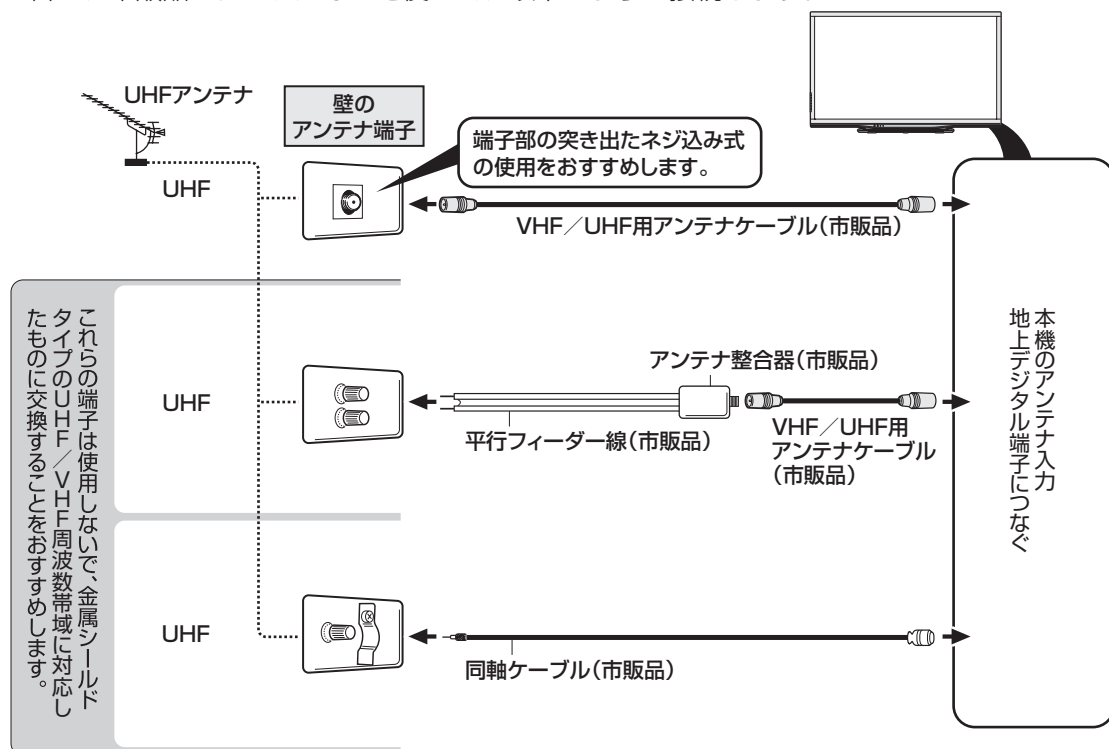
◇**おしらせ**◇

システム動作テストに失敗したときは

- B-CASカードが正しく挿入されているか確認してください。（⇒**「かんたん!! ガイド」（巻末）11**ページ）

もくじ／ご注意／各部のなまえ
ふだんの使いかた
メニュー操作
USBメモリー
USBハードディスク
インターネット／ホームネットワーク
ファミリンクで使う／レコーダーやパソコンをつなぐ
個別設定／放送の種類について
故障かな？／エラーメッセージ
お役立ち情報（仕様や索引）
English Guide

壁のアンテナ端子のかたちが異なる場合について

- 壁のアンテナ端子のかたちが**「かんたん!! ガイド」(巻末)5**～**6** ページの記載と異なる場合は、市販品のケーブルなどを使って、以下のように接続します。

停電になったときは

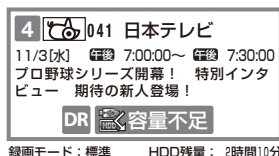
停電時に設定が保持されている項目と設定が解除される項目があります。

- テレビにおける設定内容（ホームメニュー内設定項目、音量など）は保持されます。
- 番組予約（視聴予約／録画予約）が、予約動作開始時刻を経過しているときは消去されます。
- 時刻設定は消去されます。時刻の自動設定がされないときは、「時刻設定」（⇒ **28** ページ）で設定してください。
- 停電前に下記の状態のものは解除されます。
  - 静止画
  - オフタイマー
  - 消音
  - 映像オフ
  - 2 画面

予約設定時のメッセージについて

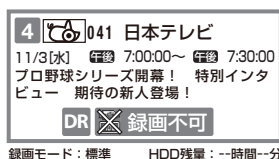
- 番組表で番組を予約したときに、取得された番組情報に基づいてテレビ画面にメッセージが表示されることがあります。必要に応じて、以下の設定を行ってください。

予約リスト（⇒ **55** ページ）に「容量不足」と表示されるとき

4 041 日本テレビ
11/3[水] 午後 7:00:00〜 午後 7:30:00
プロ野球シリーズ開幕！ 特別インタビュー 期待の新人登場！

USB ハードディスク残時間が不足しており設定した予約が録画できないときに表示されます。

- USB ハードディスクを接続しているときは、録画リストから不要な番組を消去することで、残量を増やせます。（タイトル消去⇒ **62 〜 63** ページ）

予約リスト（⇒ **55** ページ）に「録画不可」と表示されるとき

4 041 日本テレビ
11/3[水] 午後 7:00:00〜 午後 7:30:00
プロ野球シリーズ開幕！ 特別インタビュー 期待の新人登場！
DR 録画不可

USB ハードディスクを接続していないときに表示されます。

- 初期化（登録）済み（⇒ **47** ページ）の USB ハードディスクを接続してください。

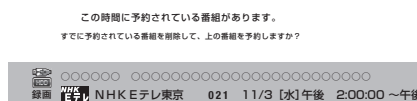
本機で初期化していない（登録されていない）USB ハードディスクが接続されているときに表示されます。

- 接続した USB ハードディスクを本機で初期化（⇒ **47** ページ）してください。

設定した予約が他の予約と重複しているメッセージが表示されるとき

この時間に予約されている番組があります。
すでに予約されている番組を削除して、上の番組を予約しますか？

録画 NHK Eテレ ○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ NHKEテレ東京 021 11/3［水］午後 2:00:00 〜午後

予約されている番組を削除して予約します　［予約する］
新たな予約をとりやめます　［予約しない］

- 既存の予約を取り消して、現在の予約を実行させせることができます。

設定中の予約を残したいとき

- 「予約する」を選ぶと、設定中の予約で設定を完了します。
- すでに設定された予約は、消えます。

すでに設定された予約を残したいとき

- 「予約しない」を選ぶと、すでに設定された予約が残ります。
- 設定中の予約は、設定されません。

◇**おしらせ**◇

- USB ハードディスク利用時に関するエラーメッセージ（⇒ **135** 〜 **136** ページ）も併せてご覧ください。
- 予約した番組によっては、番組情報の取得に時間がかかることがあります。

おもな仕様について

項目		LC-52W9	LC-46W9
品名		液晶カラーテレビ	
形名		LC-52W9	LC-46W9
液晶パネル	表示サイズ	52V型 (横115.2cm×縦64.8cm／ 対角132.2cm)	46V型 (横101.8cm×縦57.3cm／ 対角116.8cm)
	駆動方式	TFT(薄膜トランジスタ)アクティブマトリクス駆動方式	
	画素数	1,920(水平)×1,080(垂直) 画素	
	使用光源	LED	
アンテナ入力		地上デジタル 75Ω不平衡型、BS/CS-IF 75Ω不平衡型	
スピーカー		3cm×10cm 2個	
音声実用最大出力(JEITA)		20W (10W+10W)	
使用電源		AC100V･50/60Hz	
消費電力		125W (待機時:0.1W、 クイック起動「する」時:20W)	108W (待機時:0.1W、 クイック起動「する」時:20W)
年間消費電力量		• 区分名:DG1 (FHD、液晶倍速、付加機能1) • 受信機型サイズ:52V • 年間消費電力量:122kWh／年(標準時※)	• 区分名:DG1 (FHD、液晶倍速、付加機能1) • 受信機型サイズ:46V • 年間消費電力量:97kWh／年(標準時※)
接続端子		HDMI入力3系統3端子、MHL入力端子1系統(HDMI兼用、DC5V 500mA)、 D5映像入力1系統1端子、ビデオ入力1系統1端子、アンテナ入力地上デジタル端子、 アンテナ入力BS･110度CS端子、ヘッドホン接続端子、 LAN1系統1端子(10BASE-T/100BASE-TX)、USB端子1系統	
受信チャンネル		BSデジタル001～999ch、110度CSデジタル000～999ch、 地上デジタル(ワンセグを除く)011～528ch (CATVパススルー対応)	
BS･110度CSチャンネル受信仕様	変調	時分割多重mPSK	
	トランスポート	MPEG2 システム	
	映像	MPEG2 (MP@HL)	
	音声	MPEG2 AAC	
	限定受信システム	ARIB CASシステム	
	受信周波数帯域	11.71GHz～12.75GHz	
	IRD受信周波数帯域	1032MHz～2071MHz	
地上デジタルチャンネル受信仕様	変調	直交周波数分割多重(OFDM)	
	トランスポート	MPEG2 システム	
	映像	MPEG2 (MP@HL)	
	音声	MPEG2 AAC	
	限定受信システム	ARIB CASシステム	
	受信周波数帯域	93MHz～767MHz	
	CATVパススルー対応	UHF帯、ミッドバンド(MID)帯、スーパーハイバンド(SHB)帯、VHF帯	

品名		液晶カラーテレビ	
形名		LC-52W9	LC-46W9
外形寸法	ディスプレイ部のみ	幅120.2×奥行7.7×高さ72.8(cm)	幅106.7×奥行7.7×高さ65.1(cm)
	スタンド装着時	幅120.2×奥行30.2 (転倒防止金具使用時は34.2)× 高さ75.1(cm)	幅106.7×奥行30.2 (転倒防止金具使用時は34.2)× 高さ67.4(cm)
本体質量	ディスプレイ部のみ	約21.0kg	約16.5kg
	スタンド装着時	約22.5kg	約18.0kg
使用温度		0℃〜40℃	

■ 製品改良のため仕様の一部を予告なく変更することがあります。
■ 表示サイズの「××V型」は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
■ 液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素があります。0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますが故障ではありません。
■ JIS C 61000-3-2適合品
JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両立性-第3-2部：限度値ー高調波電流発生限度値(1相当たりの入力電流が20A以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。
■ 年間消費電力量とは：省エネ法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間(4.5時間)を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。
■ 年間消費電力量の区分名とは：「エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)」では、テレビの画素数、表示素子、動画表示、及び付加機能の有無等に基づいた区分を行なっています。その区分名称を言います。
※ 一般的にご家庭で使用する際のメーカー推奨の映像モード。(本機では、AVポジション「標準」の場合です)

別売品

- 液晶カラーテレビ専用の別売品をとりそろえております。お近くの販売店でお買い求めください。
- 本機に適合する別売品が新たに追加発売されることがあります。また、新たに適合となる別売品もあります。ご購入の際には、最新のカタログで適合性をご確認いただき、販売店にご相談の上、お買い求めください。　(2012年12月現在)

No.	品　名	形　名	対応機種
1	壁掛け金具	AN-52AG6	LC-52W9 LC-46W9
2	システムラック	AN-R600	
3	システムラック	AN-65SR3	

保証とアフターサービス

よくお読みください

保証書(別添)

■ 保証書は、「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。
保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

■ **保証期間**
お買いあげの日から 1 年間です。
保証期間中でも、有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
※ 本機を分解すると、保証が無効になります。

使い方や修理のご相談など

■ 修理・使い方・お手入れ・お買い物などのご相談・ご依頼、及び万一、製品による事故が発生した場合は、お買いあげの販売店、またはシャープお客様相談センターにお問い合わせください。(⇒**次**ページ)

補修用性能部品の保有期間

■ 当社は、液晶カラーテレビの補修用性能部品を、製品の製造打切後、8 年保有しています。
■ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは 出張修理

■ 「故障かな?と思ったら」「エラーメッセージが出たら」(⇒ **121** ～ **138** ページ)を調べてください。
それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

- 品　　　名　:液晶カラーテレビ
- 形　　　名　:LC-52W9／LC-46W9
- お買いあげ日(年月日)
- 故 障 の 状 況(できるだけくわしく)
- ご　住　所
  (付近の目印もあわせてお知らせください)
- お　名　前
- 電 話 番 号
- ご訪問希望日

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

便利メモ

お客様へ…お買いあげ日·販売店名を記入されると便利です。

お買いあげ日	販売店名
年　月　日	電話(　　)　―

愛情点検

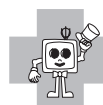
●長年ご使用のテレビの点検をぜひ!
(熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。)

このような症状はありませんか

- ●電源ボタンを押して電源を入れても映像や音が出ない。
- ●上下、または左右の映像が欠けて映る。
- ●映像が時々、消えることがある。
- ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- ●電源ボタンを押して電源を切っても、映像や音が消えない。
- ●内部に水や異物が入った。

▶ **ご使用中止**

故障や事故防止のため、電源ボタンを押して電源を切りコンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

ちょっとした心づかいでテレビの安全

お客様ご相談窓口のご案内

修理・使いかた・お手入れ・お買い物などのご相談・ご依頼、および万一、製品による事故が発生した場合は、お買いあげの販売店、または下記窓口にお問い合わせください。
ファクシミリ送信される場合は、製品の形名やお問い合わせ内容のご記入をお願いいたします。

※弊社では、確実なお客様対応のため、フリーダイヤルサービスをご利用のお客様に「発信者番号通知」をお願いしています。
発信者番号を非通知に設定されている場合は、番号の最初に「186」をつけておかけください。

メールでのお問い合わせなど【シャープサポートページ】

http://www.sharp.co.jp/support/ ■よくあるご質問などもパソコンから検索できます。

使用方法や修理のご相談など【お客様相談センター】 おかけ間違いのないようにご注意ください。

0120 - 001 - 251
非通知設定の電話は、最初に「186」をつけておかけください。
※一部、有料サポートがあります。

受付時間（年末年始を除く）
●月曜～土曜：**9:00～18:00**
●日曜・祝日：**9:00～17:00**

■フリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…

電話	FAX
043 - 331 - 1626	**043 - 297 - 2696**
〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2	

持込修理および部品購入のご相談は、下記地区別窓口（サービスセンター／テクニカルセンター）でも承っております。

受付時間（祝日など弊社休日を除く） ●月曜～土曜：**9:00～17:40** ただし、沖縄地区は月曜～金曜：**9:00～17:40**

地区	窓口	電話番号	住所
北海道	札幌	011-641-4685	〒063-0801 札幌市西区二十四軒1条7-3-17
東北	仙台	022-288-9142	〒984-0002 仙台市若林区卸町東3-1-27
関東	宇都宮	028-637-1179	〒320-0833 宇都宮市不動前4-2-41
関東	東東京	03-5855-0432	〒114-0012 北区田端新町2-2-12
関東	横浜	045-753-4647	〒235-0036 横浜市磯子区中原1-2-23
中部	静岡	054-344-5781	〒424-0067 静岡市清水区鳥坂1170-1
中部	名古屋	052-332-2623	〒454-0011 名古屋市中川区山王3-5-5
中部	金沢	076-249-2434	〒921-8801 野々市市御経塚4-103
近畿	京都	075-672-2378	〒601-8102 京都市南区上鳥羽菅田町48
近畿	神戸	078-452-7009	〒658-0025 神戸市東灘区魚崎南町4-12-6
近畿	大阪	06-6794-5611	〒547-8510 大阪市平野区加美南3-7-19
中国	広島	082-874-8149	〒731-0113 広島市安佐南区西原2-13-4
四国	高松	087-823-4901	〒760-0065 高松市朝日町6-2-8
九州	福岡	092-572-4652	〒812-0881 福岡市博多区井相田2-12-1
沖縄	那覇	098-861-0866	〒900-0002 那覇市曙2-10-1

●お電話は番号をよくお確かめのうえ、お間違いのないようにおかけください。
●所在地・電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。(2012.12)

本機で使用している特許など

本機で使用しているソフトウェアのライセンス情報

ソフトウェア構成

本機に組み込まれているソフトウェアは、それぞれ当社または第三者の著作権が存在する、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成されています。

当社開発ソフトウェアとフリーソフトウェア

本機のソフトウェアコンポーネントのうち、当社が開発または作成したソフトウェアおよび付帯するドキュメント類には当社の著作権が存在し、著作権法、国際条約およびその他の関連する法律によって保護されています。
また本機は、第三者が著作権を所有しフリーソフトウェアとして配布されているソフトウェアコンポーネントを使用しています。それらの一部には、GNU General Public License（以下、GPL）、GNU Lesser General Public License（以下、LGPL）、またはその他のライセンス契約の適用を受けるソフトウェアコンポーネントが含まれています。

ソースコードの入手方法

フリーソフトウェアには、実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、そのコンポーネントのソースコードの入手を可能にすることを求めるものがあります。GPL および LGPL も、同様の条件を定めています。
こうしたフリーソフトウェアのソースコードの入手方法ならびに GPL、LGPL およびその他のライセンス契約の確認方法については、以下の WEB サイトをご覧ください。
http://www.sharp.co.jp/support/aquos/source/download/index.html（シャープ GPL 情報公開サイト）
なお、フリーソフトウェアのソースコードの内容に関するお問合わせはご遠慮ください。
また当社が所有権を持つソフトウェアコンポーネントについては、ソースコードの提供対象ではありません。

謝辞

本機には以下のフリーソフトウェアコンポーネントが組み込まれています。

- linux kernel
- module-init-tools
- glibc
- DirectFB
- OpenSSL
- zlib
- AGG(ver.2.3)
- NTP
- XMLRPC-EPI
- Expat
- DHCPv6
- Simple IPv4 Link-Local address
- dlmalloc
- util-linux
- coreutils
- jpeg
- libpng
- SQLite
- LVM2
- bash
- libncurses
- device-mapper
- xfsprogs
- parted

本機で使用しているソフトウェアのライセンス表示

ライセンス表示の義務

本機に組み込まれているソフトウェアコンポーネントには、その著作権者がライセンス表示を義務付けているものがあります。そうしたソフトウェアコンポーネントのライセンス表示を、以下に掲示します。

BSD License

This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
この製品にはカリフォルニア大学バークレイ校と、その寄与者によって開発されたソフトウェアが含まれています。

OpenSSL License

Copyright (c) 1998-2008 The OpenSSL Project.
All rights reserved.
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;

LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

SSLeay License

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)
All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.
If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used. This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: "This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)" The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement: "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence
[including the GNU Public Licence.]

XMLRPC-EPI

Copyright: (C) 2000 Epinions, Inc.
Subject to the following 3 conditions, Epinions, Inc. permits you, free of charge, to (a) use, copy, distribute, modify, perform and display this software and associated documentation files (the "Software"), and (b) permit others to whom the Software is furnished to do so as well.

1) The above copyright notice and this permission notice shall be included without modification in all copies or substantial portions of the Software.

2) THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT ANY WARRANTY OR CONDITION OF ANY KIND, EXPRESS, IMPLIED OR STATUTORY, INCLUDING WITHOUT LIMITATION ANY IMPLIED WARRANTIES OF ACCURACY, MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE OR NONINFRINGEMENT.

3) IN NO EVENT SHALL EPINIONS, INC. BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR LOST PROFITS ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE (HOWEVER ARISING, INCLUDING NEGLIGENCE), EVEN IF EPINIONS, INC. IS AWARE OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

NTP

Copyright (c) David L. Mills 1992-2009
Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appears in all copies and that both the copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name University of Delaware not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission. The University of Delaware makes no representations about the suitability this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

次のページに続く

Expat

Copyright (c) 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd and Clark Cooper
Copyright (c) 2001, 2002, 2003 Expat maintainers.
Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT.
IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Powered by Adobe® Flash®

Adobe Systems Incorporated によるAdobe® Flash® Lite® 技術を採用しています。
この AQUOS は、Adobe Systems Incorporated からライセンスを受けた Adobe® Flash® Lite® ソフトウェアを採用しています。
Copyright© 1995-2009 Adobe Macromedia Software LLC. All Rights Reserved.
Adobe、Flash および Lite は、Adobe Systems Incorporated の商標です。

Olivier Gay

Copyright (C) 2005, 2007 Olivier Gay <olivier.gay@a3.epfl.ch>. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditionsare met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of the project nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE PROJECT AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE PROJECT OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Free Type 2 font engine

Portions of this software are copyright © 1996-2002 The FreeType Project (www.freetype.org). All rights reserved.

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
この製品に搭載のソフトウェアは、Independent JPEG Group のソフトウェアを一部利用しております。

MP3 は Fraunhofer IIS および Thomson からライセンスされた MPEG Layer-3 音声コーディング技術です。

Portions Copyright© 2004 Intel Corporation
この製品には Intel Corporation のソフトウェアを一部利用しております。

「DiXiM」は、デジオンのホームネットワークソリューションです。詳しくは、デジオン Web サイト（http://www.digion.com/）をご覧ください。

Ubiquitous SAFE DTCP-IP
Copyright© 2001-2012 Ubiquitous Corp
この製品には株式会社ユビキタスが開発した DTCP-IP 対応ソフトウェアを使用しております。

この製品では、シャープ株式会社が表示画面で見やすく、読みやすくなるように設計した LC フォント（複製禁止）が搭載されております。LC フォント、LCFONT、エルシーフォント及び LC ロゴマークはシャープ株式会社の登録商標です。なお、一部 LC フォントでないものも使用しています。

商標・登録商標など

- 本機は、ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
- Dolby、ドルビーおよびダブル D（）記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDMI と HDMI High-Definition Multimedia Interface 用語および HDMI ロゴは、米国およびその他国々において、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。
- MHL、MHL ロゴ、および Mobile High-Definition Link は、米国およびその他の国における MHL, LLC の商標または登録商標です。

用語の解説

1080p、720p、1080i、480p、480i

映像の種類	画質（放送の種類）
1080p	走査線1125本(有効走査線1080本)、プログレッシブ方式。デジタルハイビジョンの高画質です。
720p	走査線750本（有効走査線720本)、プログレッシブ方式。デジタルハイビジョンの高画質です。
1080i	走査線1125本(有効走査線1080本)、インターレース方式。デジタルハイビジョンの高画質です。
480p	走査線525本（有効走査線480本)、プログレッシブ方式。デジタルハイビジョンに近い画質です。
480i	走査線525本(有効走査線480本)、インターレース方式。地上アナログ放送（VHF/UHF）やBSアナログ放送と同等の画質です。

1080p(24Hz)
映像信号の方式の1つであり、フィルム映画などは、この方式により毎秒24コマ(24p信号)で撮影されています。

16:9
デジタルハイビジョン放送の画面縦横比です。従来の4:3映像に比べ、視界の広い臨場感のある映像が楽しめます。

AAC(Advanced Audio Coding)
デジタル放送は、限られた電波を有効利用するため、映像や音声などを圧縮してから送信されます。
AACはデジタル放送で利用されている音声圧縮方式で、圧縮率が高いにもかかわらず、高音質で多チャンネル音声(5.1チャンネルサラウンドなど)にも対応できる方式です。

B-CASカード(ビーキャスカード)
各ユーザー独自の番号などが記載されている、BS／110度CS／地上デジタル放送視聴用ICカードのことです。B-CASカードを受信機に挿入すると、接続されたデジタル放送の視聴が可能となります。また、有料放送の視聴を希望される場合は、放送局への申し込みが必要です。詳しくは、それぞれの有料放送を行う放送局のカスタマーセンターにお問い合わせください。

Cookie
Webサイトから、ブラウザに対して一時的に書き込まれる情報です。
例えば、買い物ができるWebサイトでは、購入したい商品を選んだときに情報が書き込まれ、選んだ商品を確認するときや、商品の代金を計算するときに利用されます。

DLNA(Digital Living Network Alliance)
デジタル機器の相互接続を実現させるための標準化活動を推進している団体です。
デジタルAV機器やPCなどがホームネットワーク内で画像や音楽などのデータをやり取りするためのガイドラインを定めています。

EPG(Electronic Program Guide)
デジタル放送で送られてくる番組情報のデータを使って画面で見られるようにした電子番組表のことです。
本機では、電子番組表から番組を選んで選局や録画予約をすることができます。

HDMI(High Definition Multimedia Interface)
ハイビジョン映像信号、マルチチャンネルオーディオ信号、双方向伝送対応のコントロール信号を1本のケーブルで接続できるAVインターフェースです。
高精細な映像入力に対応しています。

IP(Internet Protocol)
インターネットでの通信に関する規約のことです。ネットワークに接続された機器はIPを利用して通信していて、機器ごとにIPアドレス(住所のようなもの)が割り振られています。

IPv6(Internet Protocol Version6)
インターネットでの通信に関する規約のことです。
インターネットに接続された機器はIPを利用して通信していて、機器ごとにIPアドレス(住所のようなもの)が割り振られています。近年インターネットの普及により、従来のIP（IPv4)では数が足りなくなってきたため、新しくIPv6方式が定められました。

MPEG(Moving Picture Experts Group)
デジタル放送の信号は大容量のため、圧縮技術が必要です。MPEGは、デジタル動画圧縮技術の符号化方式の1つです。一般に「エムペグ」と読みます。MPEG2は、「動き補償」「予測符号化」などの技術を使って画像データを圧縮するもので、圧縮レートは画像の内容により可変ですが、だいたい40分の1に圧縮することができます。

PCM(Pulse Code Modulation)
音楽CDやDVDビデオなどは、音声がデジタルデータで記録されています。音楽CDで利用されているPCMは、音声などを数値に変換してデジタルデータにする方式のひとつです。圧縮を行わないので、原音に近い高品質な音を再現できます。

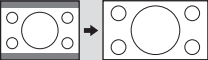
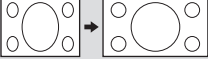
USB(Universal Serial Bus)
もともとはパソコンなどに周辺機器を接続するための規格のひとつです。
プリンターやハードディスクなど様々な周辺機器が発売されています。

次のページに続く

WAN
Wide Area Network（ワイド･エリア･ネットワーク）の略で、コンピューター･ネットワークの形式のひとつです。広域通信網とも呼ばれ、大きな規模で用いられています。

インターレース（飛び越し走査）
テレビやビデオの画像表示では、有効走査線のうち、まず奇数番めの有効走査線を描きます（この１画面を１フィールドといいます）。次に偶数番めの有効走査線を描きます。これで、１枚の完全な画像（フレーム）を作っていく方式です。「480i」「1080i」の「i」はインターレース（interlaced）を表します。

キャッシュ
ブラウザが、表示したページのデータを一時的に保管しておくところです。
保管したデータを再利用し、データを取り込むための時間を節約しています。

高画質アクティブコンディショナー
見ている映像に応じて自動的にコントラストや色を調整し、ノイズを低減してみやすい映像が楽しめます。
映像調整ープロ設定のアクティブコントラストー「する」、デジタルNRー「アクティブ」のときに有効です。（⇒**29**ページ）

ハイビジョン放送
デジタルハイビジョンの高画質放送のことです。従来の地上アナログテレビ放送が480本の有効走査線で表示しているのに対し、デジタルハイビジョン放送は720本や1080本の有効走査線を使用しているため、より緻密で高画質な映像を楽しめます。BSデジタル放送では、番組によって「デジタルハイビジョン映像」と「デジタル標準映像」という異なる画質で放送されています。

プログレッシブ（順次走査）
飛び越し走査（「インターレース」の項を参照）をしないで、すべての走査線を順番どおりに描く方法です。480pの場合、480本の有効走査線を順番どおりに描きます。インターレース方式に比べ、チラツキのないことが特徴で、文字や静止画を表示するときなどに適しています。「480p」「720p」の「p」はプログレッシブ（progressive）を表します。

画面サイズ切換の設定項目　映像の種類（⇒ **149** ページ）によって、選べる画面サイズは異なります。

項目	内容
ノーマル	• 通常のテレビ（4：3 サイズ）の映像をそのまま映します。
シネマ	• シネスコまたは 16：9 サイズの映画ソフトを画面いっぱいに映します。
フル	• 16：9 から 4：3 に圧縮された映像を元の 16：9 に戻して画面いっぱいに映します。
スマートズーム	• 通常 4：3 映像をより自然に拡大して映します。
ワイド 4：3	• 通常 4：3 映像を画面いっぱいに映します。 • 16：9 映像の場合はこのように映ります。
ワイド 16：9	• 通常 4：3 映像の中央部を左右に拡大して映します。 • 通常 16：9 映像の中央部（4：3）を画面いっぱいに映します。入力信号が 16：9 で左右に黒帯の付いている映像を画面いっぱいに映したいときに便利です。
Dot by Dot アンダースキャン 16：9 → 16：9	• 入力信号どおりの映像で映します。

索引

- 本体およびリモコンの「各部のなまえ」については、⇒ **8** ～ **9** ページをご覧ください。
- 用語については、⇒ **149** ～ **150** ページをご覧ください。

次のページに続く

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

次のページに続く

や行

ら行

わ行

English Guide
Part Names

Front view

Back view

AQUOS

Headphones jack

B-CAS card slot

B-CAS

BS-Conditional Access System

AV in 4 (D5) /Audio out

Connect a Blu-ray Disc player, AV amplifier, etc.

AV in 1·2 and 3(HDMI)

LAN jack (10BASE-T/100BASE-TX)

USB terminal

BS·CS 110 antenna input terminal

UHF antenna input terminal

D5映像

右−音声−左

映像

入力4

入力1

ARC

HDMI

入力2

MHL

DC5V 500mA

LAN(10/100)

USB

入力3

アンテナ入力 BS・110度CS デジタル

電源重畳 DC15V 最大4W DC11V 最大3W

アンテナ入力 地上デジタル

BS・110度CS アンテナ電源の 入/切は、「ホーム」 内の「アンテナ設定」 で行ってください。

The illustrations below are those of LC-46W9. LC-52W9 has the same layout of jacks and terminals as LC-46W9.

Continued on the next page

Remote Control Unit

Active/Standby
Press to engage the TV set in the active or standby mode.

地上 **Terrestrial digital select**
BS **BS select**
CS **CS select**

データ連動
d **Linked data broadcast**
Press to call the data broadcast linked with the current digital TV program.

消音 **Mute**
Press to mute audio.

＋音量－ **Volume up (+)/down (-)**
Press to adjust the volume.

番組表(予約) **EPG**
Press to display or turn off the Electronic Program Guide (EPG: 番組表) when receiving a digital broadcast.

ホーム **Display the “Home” Menu**
Press to start some useful operations of the TV.

番組情報
Program info
Press to display detailed information on the current digital program.

Finish
Press to finish menu operation, etc.

録画消去
Delete recording
Press to delete a title recorded on the USB-HDD.

2画面
Split screen
Press to switch between the split screen mode and the normal screen mode.

操作切換
Operable screen
Press to switch the operable screen when the TV set is in the split screen mode.

静止
Freeze
Press to freeze the picture.

3桁入力
Digital channel number input
Use to select a digital channel by entering the 3-digit channel number.

AVポジション
AV position (Changing Pic. Quality) select
(画質切換)
Press to select the picture/sound setting that best matches the current program.

映像切換
Picture select
Press to select the desired picture when watching a digital multi-picture program.

画面表示
Display
Press to display or turn off the channel call, etc.

To open the cover
Hold the cover by the projections on both sides and lift upwards.

Familink
Press to operate “Familink” Recorders and AQUOS Audio connected via HDMI cables.

SAVE mode
Press to change to the SAVE mode.

インフォメーション
Information
Press to display AQUOS Information.

Channel select
- Press to select a channel.
- Use to input a number for various settings.

インターネット
Internet
Press to connect to the internet.

選局 **Channel up (∧)/down (∨)**
Press to select channels in the ascending or descending order.

入力切換
Input select
Press to select the input.

Display the Tool Menu

Cursor (up, down, left, right)
Use to select a menu item, column, etc.

決定 **Enter/Confirm**
Press to confirm a selected setting or menu item.

Return
Press to go back to the previous screen.

青 赤 緑 黄 **Color**
Use to operate EPGs and data program screens.

Familink
Press to operate “Familink” Recorders and AQUOS Audio connected via HDMI cables.

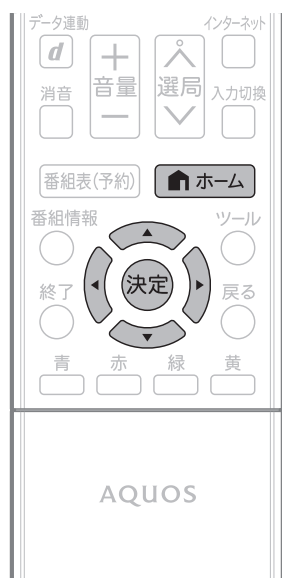
音声切換
Audio select
Press to select the audio.

時計
Clock
Press to display a large clock on the screen while watching.

字幕
Caption
Press to display, select, or turn off captions when watching a digital program with captions.

オフタイマー
Sleep timer
Press to select the remaining time period after which the TV set automatically enters the standby mode.

Switching the Display Language to English
ホームメニューなどの言語を英語にする

- Using the Home menu screen, you can switch the on-screen display language to English.
  ホームメニューなどの画面表示を英語にすることができます。

1

Press ホーム and select with

Select"設定" (Setup) on the Home menu.
ホームメニューから「設定」を選ぶ

2

Select with

Select"(視聴準備)" (View Setting).
「(視聴準備)」を選ぶ

3

Select with / Press 決定

Select "Language(言語)".
「Language(言語)」を選ぶ

4

Select with / Press 決定

Select "English".
「English」を選ぶ

Enter.
決定する

- The menu screen is now displayed in English.
- 画面表示が英語になります。

5

Press ホーム

Finish this operation.
終了する

◇おしらせ◇

誤ってホームメニューを英語にしてしまったときは

- ホームメニューから「Setup」－「(View Setting)」－「言語 (Language)」を選んで決定し、「日本語」を選んで決定すると日本語になります。